Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第二卷 第八號

朝鮮地方行政

八月號

帝國地方行政學會發行

BERKELEY
LIBRARY
UNIVERSITY OF
CALIFORNIA
9891

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

高橋正著

四版

改正メートル度量衡應用指針

菊判全一冊
定價六拾錢
送料四錢

文化の促進は距離と時間とを短縮する。而して又物の統一に依つて人類の利便と福祉とを招徠せむとして居る。世界に於ける言語、度量衡、貨幣の三者は孰れも統一すべきものであり又爲しつつあるのである。就中度量衡の統一は其の最も進歩したるものの一つであつて今や世界を擧げて、メートル法の文明的にして實用の利あるを認め我國に於ても大正十年四月十一日法律第七十一號を以て千二百年來の因襲ある尺貫法を一擲して總てメートル法に統一され愈々來七月一日から實施される事になつた。そして從來の度量衡は一切使用されなくなりそれに違反すると懲役や罰金に處せられる規定があるからして一般家庭は勿論兒童達にもよく〳〵呑み込ませて置く必要があらうと信ずる。

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會
振替口座東京一一三

朝鮮京城府長谷川町九三
同　朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

帝國地方行政學會編纂

朝鮮社會事業講習會講演錄

菊判全一冊
定價二圓五十錢
送料二十一錢

本會は朝鮮社會事業研究會主催の下に開かれたる左記當代の諸名士の講演を編輯したるものである。

開會の辭　矢島總督府社會課長
挨拶　有吉政務總監
兒童保護問題　牧野虎次
社會事業綱領　田子社會局部長
朝鮮社會事業の趨勢　矢島杉造
都市計畫　丸山技師
民衆教化の運動　松村秘書課長
社會事業として基督教青年會　丹羽清次郎
社會事業總論　齋藤書記官

今井學士譯

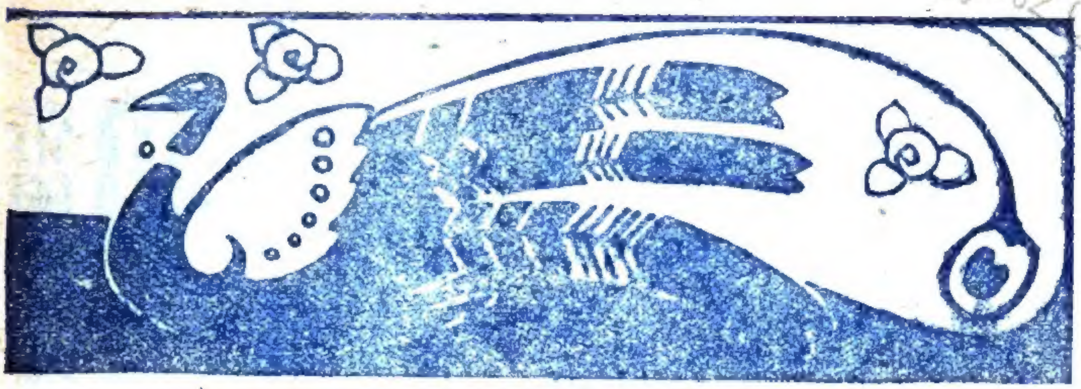
人口と統計

菊判全一冊
上三圓二十錢
並二圓八十錢
送料各二十一錢

本書はホイップル博士の原著を忠實に譯したもので統計の妙味と眞髓とを容易に穿ち得べし。

朝鮮京城府長谷川町九三
帝國地方行政學會發行
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



朝鮮地方行政第二卷第八號目次

大正十二年八月一日發行

口繪　元全羅南道知事と光州

○嚴正なる批判を要す…………一

○朝鮮統治の將來…………貴族院議員伯爵　副島道正…二

○朝鮮に於ける農村の振興…………貴族院議員　石塚英藏…八

○朝鮮の小作問題に就て…………朝鮮生命保險常務取締役　元悳常…一三

○朝鮮に於ける農業及漁業移民の現況…朝鮮總督府殖產局農務課　河合忠治…二三

○地主對小作關係の改善…………京畿道高陽郡守　吳台煥…三〇

○咸北水產の現勢…………咸鏡北道知事　中野太三郎…四二

○郵便貯金と民衆經濟…………朝鮮總督府遞信局監理課　近藤確郎…四四

○家族制度…………東京帝國大學教授・法學博士　穗積重遠…四九

4788.1
4740
v.2:8 (1923)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○青年團に就て……財團法人協調會理事　田澤義鋪…五三
○自治の開發訓練……六一
■寄　書……六六　■海　外……七一
■內地だより……七四　■鮮內通信……七八
○副業品共進會開催の趣旨……朝鮮總督府殖產局技師　石塚峻…八三
○朝鮮の特殊部落……朝鮮總督府內務局社會課　李覺鍾…八四
○面吏員の內地委託講習……京畿道內務部長　佐藤七太郎…九五
○元山に於ける露國避難民……九九
○黃海道面吏員選獎事績概要……一〇四
○眞實に生くる爲に……米村青波…一〇九
○常夏の國より……守屋榮夫…一一五
○畫　題……西小門人…一一八
○錦心繡膓……一二六

東265989
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

京城地方法院民事部長 伊東淳吉校閲
京城地方法院民事戸籍主任 山口吸一編

再版

朝鮮戸籍屆書式 附關係法令

定價一圓五十錢
送料八錢

本書は七月一日より施行せられたる朝鮮戸籍令關係法令及其屆書式を詳細に記載し各事件の初頭には其事件に對する形式上の要件を列擧し別に朝鮮古來の慣習と相接觸するものに付ては其慣習の要項を摘録しありて戸籍事務に從事せらるゝ諸士は唯一の參考資料たるべし。

朝鮮總督府編纂(大正十二年度)

朝鮮總督府職員録

菊判全一冊
定價一圓七十錢
送料十錢

朝鮮京城府長谷川町九三

帝國地方行政學會發行

振替口座京城一〇一七五四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

元全羅南道知事と光州

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社會局校閲
帝國地方行政學會編纂

社會法令集

菊判加除綴全一冊
定價三圓八十錢
送料二十七錢

現時に於ては所謂社會事業は最早少數の富豪若くは慈善家の道樂的獨占物てはなく爲政者の深く考慮すべき事柄てなければならない。然も此の根本をなすべき社會事業に關する法規集の未だ公刊せられなかつたのは甚だ遺憾に堪へない。本會は社會局の多大なる後援の下に之に關する法律勅令は素より各種の通牒類を網羅し當局の嚴密なる校閲を經て公刊することとなりました。

行政裁判所判版藏

行政裁判所判決錄

年十二回發行
一部四十錢
一ケ年分
三圓八十五錢

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

內務省社會局長 田子一民著

社會事業

忽九版

我國社會事業の現狀並に將來の新事業を力說せる唯一の權威ある著書である。

四六判全一冊
普及版
定價一圓八十錢
送料（內地十八錢 朝鮮三十錢）

―內容目次―

●緒言、一、社會連帶の思想、二、社會事業なる言葉、三、社會事業の意味合、四、現代社會と社會事業

●第一章 出生幸福事業（胎兒保護事業）一、出生幸福の意義、二、姙婦保護による胎兒保護、三、親の義務としての禁酒運動、四、親の業務の宣傳事業、五、出生自由の諸問題

●第二章 教育幸福事業（兒童保護事業）一、人間最初の幸福、二、養育保護、三、敎育保護

●第三章 職業幸福事業 一、職業自由の意義、二、自發的職業選擇機關 三、職業指導、四、職業紹介制度、五、失業保險制

●第四章 生活幸福事業（防貧事業、救貧事業）一、生活自由の意義、二、日用生活品供給（公益市場消費組合）三、住宅供給、四、軍事救護、五、恤救規則、六、行路病人、七、罹災救助制、八、公設浴場、九、簡易食堂、一〇、宿泊保護、一一、公設質屋、一二、公設洗濯場

●第五章 精神幸福事業（敎化矯風）一、精神幸福の意義、二、積極的精神保護、三、消極的精神保護

●結言、●餘韻、社會事業功勞家

東京市京橋區私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一一三番
朝鮮京城府長谷川町九三
同 朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

水野内務大臣序　法學士　末松偕一郎先生著

地方自治制要義

菊判全一冊　定價四圓五十錢　八月十五日限り　特價三圓八十錢
送料二十七錢

本書は最近改正せられたる市制町村制及府縣制（本年の總選擧より實施せらるべきもの）の逐條註釋書にして著者が數年前發行したる市制町村制正義及多年明治大學に於て講義したる自治制大意を改訂修補し正確なる用字と簡明なる文章とを以て適用上起り得べき諸般の問題を網羅詳説したる有益なる著作なり。

第一編總論には國家の統治權及行政組織より行政官廳公共團體營造物の觀念竝自治の意義を解説し、第二編には普佛英諸國の地方制度の沿革及現行制度、第三編には日本地方制度の沿革及内地朝鮮臺灣樺太關東州南洋等の現行地方制度を説明し、第四編を本編として改正市制町村制を事項別になし之に逐條註釋を施したるを以て一般實務家の便益至大なるを疑はず。

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

行政裁判所藏版

行政裁判所判決錄

毎月二十五日發行
年十一回一部四十錢
一ケ年前金三圓八十五錢

判例は法源となるや否の問題は暫くおき判例を度外視して現行法の何たるかを論ずることは出來ない、成文上明瞭に規定せられ一見何等解釋上疑義の餘地なしと思はれる樣な規定ですら一度實際問題となつて裁判所の手を經ると其の適用上種々複雜な作用を現はして居る況や成文の不備又は缺陷のある事項に付いて判例は最も重要な意義を有つて居るものである。
本書は行政裁判所の行政事件に關する判例の全部を輯錄したもので從來中央大學で發行し來つたものであるが當局が更に廣く地方に普及せしむる希望により今回第三十四輯第一卷（四月二十五日發行）より弊會て發行致すことになりましたから有志諸彥は豫め御申込を願ます。

登載概要
件事

郡會議員當選の效力に關する訴、所得金額決定に對する不服の訴、縣參事會の裁決に對する不服の訴、縣税賦課に對する異議の訴、村會議員當選の效力に關する訴、國有土地下戻請求の訴、巡査退隱料確認請求の訴、郡會議員失職に關する裁決不服の訴、縣税戸數割賦課に關する訴等他二十餘件

東京市京橋局私書函第八號
振替口座東京一一三
帝國地方行政學會發行

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

拓殖局著

沼波瓊音先生作歌

島崎赤太郎先生作曲

朝鮮の歌と滿洲の歌

文部省

檢定濟

殖民地の智識を擴く内地に紹介し以て拓殖の思想を涵養せん目的を以て本書を著され弊會に發行を命ぜられました多大の好評を博し忽ち三十七版を發行致しました。今般更に本書の普及を計る爲め特に並製を發行し破格の廉價を以て提供します、是非御採用を願ひます。

定價　上製金十二錢　並製金六錢　送料各二錢

（一時に百部以上の御申込は送料不明）

東京市京橋區私書函入號

帝國地方行政學會發行

振替東京十三番

朝鮮京城長谷川町九十三番地

同　朝鮮本部發賣

田子靜江女史著

女性のために

◆四六版全一冊
◆定價金壹圓
◆送料十三錢

理想の結婚、幸福なる家庭生活、誤つた結婚、涙の一生、實に量り知れないものは女の運命である、百花咲き亂るる樂園に我が心の歡びを感じて暮すも、惡魔棲む深谷の底に住む樣な悽慘な感じを以て其日〳〵を送らねばならぬも、すべては結婚の鍵によつて開かるゝ奇しき世界である、吾人は斯樣なことを泌々と考るとき女としては結婚問題については、本當に深く思を凝らして見ねばならぬことを感ずるのである。本書は女史が日頃此の方面について考へ感じた事や之に關聯してゐる感想などを纒めて世の若き人々の爲めに捧げたものでこれから結婚せんとする者、既に家庭の人となつた者とを問はず是非讀まなければならない著書であります。

女史曰く、この小さな一篇は私の空想でも議論でもない。私の人生、私の生活の體驗を透して世想をありのままに觀察し、ありのままに述べるに過ぎない。

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三

朝鮮京城府長谷川町九十三番地
同朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社會局事務官 清水玄著

健康保險法釋義

四六判全一冊
定價壹圓拾錢
送料十三錢

健康保險は本邦に於ける社會保險制度の權輿たり。事一般社會と相關渉する頗る切實なるものありと雖其の制たるもと前人未踏の境地に立てられたる所なるの故を以て坊間其の本質の何たるを解する者甚だ稀なり。著者夙に之を遺憾となし該法律の逐條的註釋をなすと共に各種の參考法令を採用註記し併せて歐米各國の制度にも言及せり

地方行政叢書第四卷出づ

第一章　社會保險概說

健康保險ノ概念及分類
社會保險ノ性質
社會保險ノ目的及効果
社會保險ノ名稱
社會保險ノ沿革
各國ノ立法

第二章　本法ニ於ケル社會保險

健康保險ノ本質
健康保險ノ目的及効果
健康保險ノ沿革
健康保險法梗概

各論

總則、被保險者、保險者、保險給付
費用ノ負擔、審査ノ請求、
訴願及訴訟、罰則、附則

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座一三

朝鮮京城府長谷川町九三
同 朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

內務省土木局道路課編纂

忽五版

道路法令輯覽

三五判全一冊
定價一圓五十錢
送料內地十一錢

道路に關する法規は多岐にして複雜なり之が編纂又容易の業にあらず、本書は範を獨逸式に則り、勅令、省令、訓令、告示、通牒等苟も道路法の運用に關するものは悉く之を收め道路事務に從事する者の執務に便すると共に道路法制研究家の好參考資料たるべし。

內容大意

道路法、道路施行令、國道路線認定の件、道路に關する工事取締に關する件、道路法に依り橋錢又は渡錢を徵收することを得る橋梁又は渡船場設置に關する件、道路及其の附屬物の占用の許可又は承認に關する件、道路法第三十九條の規定に依る占用に關する申請手續の件、道路構造令、街路構造令、道路維持修繕令、道路工事執行令、道路管理職員制、道路法第三十三條第三項の規定に依る道路に關する費用負擔の件、道路公債法、道路費國庫補助規程、道路取締令、北海道道路令、道路會議議官制、道路元標に關する件。

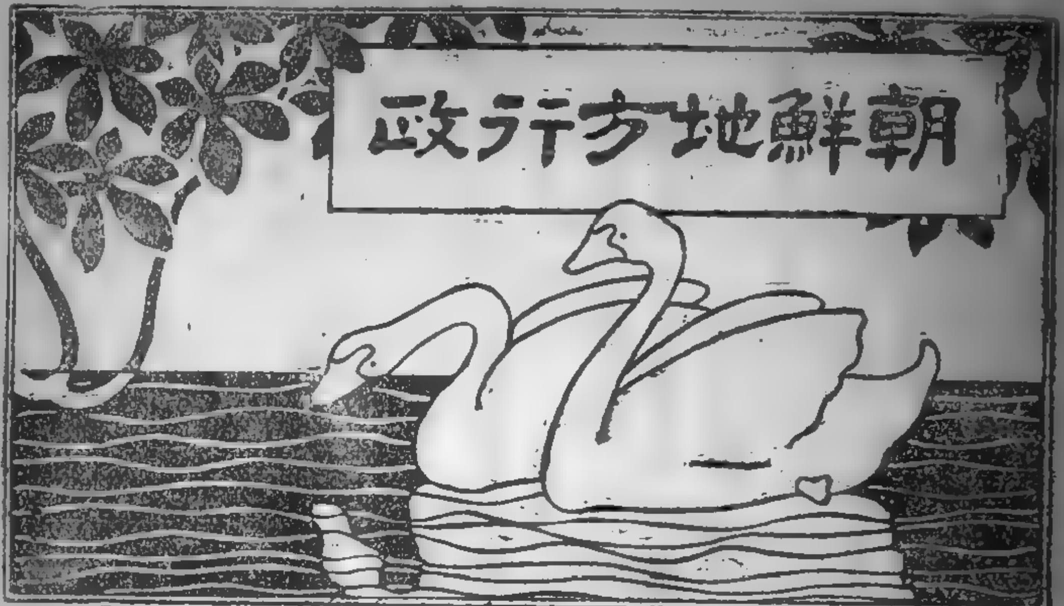
附錄

道路法制定の沿革、道路會議答申

東京市京橋局私書函八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三

朝鮮京城長谷川町九三
同 朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



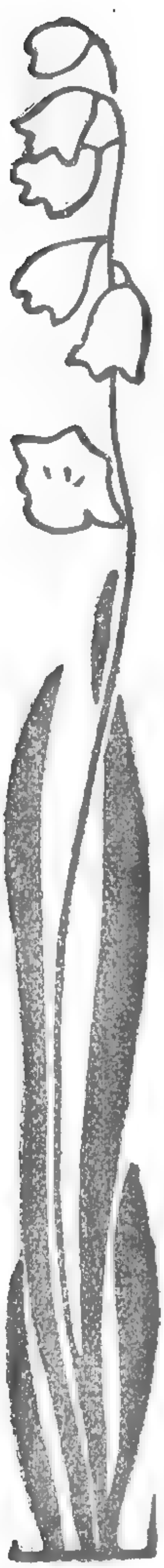
朝鮮地方行政　第二卷　第八號

◎卷頭

嚴正なる批判を要す

近時社會の嚴肅なる批判はその跡を斷ち、ある事象をありの儘に報導する新聞雜誌ありて、之に對して、敬虔の態度を以て之を裁斷する言論甚だ乏しきは社會の爲め之を慨歎せざるを得ない。最近に世を騷がしつゝある有島氏情死の如きに至りては殊に然るを見る。有島氏は人生観に徹底せんとしたる文士として、傑出したるは之を認むるも、その有夫者に對する無禮、その子女教育を等閑視し、親をして傷心せしめ、その家風を破り、社會風敎を紊る點に於て一點寛恕すべきを見ない。彼罪を犯して死す、何等之を許すべきを知らず。大罪に墮ちて死す、田夫野人と雖も當然とすべく、たゞ、世の斯の如き墮落漢あり、而も洒々として生を享樂する者の存在するあるに、彼れ能く死を解するに同情する者多きが如し。然れども、同情すべきもの必ずしも、之を是認すべからず。有島氏の死は同情すべきも、彼の死せざるべからざるに至る動因、行爲等は斷じて之を許すべからず、何種の事象に拘はらず、嚴肅なる批判を加へ、世をして惑はしめざるを要す。

Google



朝鮮統治の將來

貴族院議員　伯爵　副島道正

貴族院議員副島道正伯は夙に國民外交の不言實行家として、わが國朝野の間に重きをなしてゐる、又英米の外交界、言論界にも交友多く、同伯の朝鮮問題に關する意見は絶へずロンドン、タイムス等に寄書されて、かの國朝野の視聽をあつめてゐる。左に掲ぐるは最近月餘に亘つて鮮滿地方を旅行した同伯の歸來談の一節である。

朝鮮視察の目的

私が今回朝鮮視察を思ひ立つたのは外でもない、私は從來から朝鮮統治の事は難しい業ではないと信じて居るが、世間には極端な悲觀論者も少くないから、果して私の考へが間違つてゐるのであるか、それとも世間の人々が觀方を誤つてゐるのであるか。それをたしかめるについては具さに實地視察を遂げ、又親しく各方面の人々にも膝突き合せて見るに限ると考へたからである。渡鮮後京城だけに二十日間程滯在して、此の間には内地人排斥をやつてゐるといふ米國人とも意見の交換をすれば、極端な考へを有つてゐる鮮人とも語

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

り、加ふるに獨立運動かなにかて入牢までしたことのある鮮人とも會つて見た。斯樣な次第てあつたので、内地人の一部からは『副島はあまりに不逞鮮人にばかり接近してゐて困る』といつたやうな苦情も出た位てあつた。

米人に對しては

わが國が朝鮮併合以來、米國人のある者が直接に朝鮮人を使嗾し、若くはわが朝鮮統治に關し虚構の中傷を世界に宣傳して、以て間接に鮮人不逞の企業を煽動しつつありといふことは、わが國に於ては久しきに亘つて專ら傳へられてゐる風說てある。故に私は京城に入るや、先づ以て可なり多くの米國人と會見して彼等の意見を聽きもしたが、それよりも積極的に私の方から

足下達ちは如何の理由に依つて日本の朝鮮統治を非とせらるるかを知らないが、これを現實の問題として果して日本の朝鮮統治上には如何なる缺點又は秕政が實在するのであるか、批評は如何樣にもなし得るてあらうが、足下達ちは冷靜に米國の過去及び現在に於ける殖民地政策、並に其の現實に對して省察一番せられんことを冀望せざるを得ない。

と事實を指摘して彼等の蒙を啓き、一轉して將來のわが朝鮮統治について諒解を求めたところが、流石の米國人もこれを諾と肯かない譯には行かなかつたのてある。

鮮人に對しては

わが國の統治に服することを喜ばないで、朝鮮獨立の企てを敢てするのは時代を解せざるの愚擧てある。而して同時に斯ゝる擧措は之れを不逞行爲といはねばならぬことも勿論てあるが、しかしながら立場をかへ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て觀るとき、朝鮮人が獨立を冀ふの情や愚かにも亦憫むべきものがないでもない、だからわが朝鮮統治の實際行政にあたる者はいふまでもなく、我々內地人は朝鮮人の心情を諒とするの同情を有つて、彼等の融合同化に從ふことが最も必要であり、且つ此の統治上に同情を有つことは、畢竟統治有終の美を濟す所以であることを信じて疑はぬ。玆に於て私は會ふ每の鮮人に對して陳べた。

朝鮮人諸君が朝鮮獨立を冀望せらるるのは、情に於て無理からぬことである、故に私は諸君の行動に對しては斷然非なりとするけれども、其の心持ちに對しては大に同情するものである。さりながら諸君は、過去を顧るとともに現代を識らねばならぬ。諸君は只一圖に、わが國に依つてのみ朝鮮を併合されたかのやうに思ひ詰めてゐるであらうが、それは甚しき誤解と申さねばならぬ。抑も內鮮同治以前に於ける朝鮮の國情乃至國力はどうであつたか。わが日本にして日淸、日露の兩戰役に多大の犧牲を拂はなかつたならば、當年の情勢は朝鮮は必ずや或は支那に併合せられ、或は露西亞に征服されてゐたであらう。然も今日其の支那其の露西亞が諸君の眼前に暴露してゐる國情はどうであるか、それを思ひ、これを想ふとき、諸君は果して肌に粟の慄然たるものなきや否や、更に又諸君は、爾今若干年月の後に於ける朝鮮人口の增加を豫算して目的の貫徹を夢想してゐるかも知れぬが、假令、今後三十ヶ年の後に至つて朝鮮人口が幾何かを增すとするも、其の節には日本の內地人口は一躍一億にも達して、今日世界三大强國の一に伍するもの、更に躍進して二大强國の一ともなれば、最優秀國ともなり得るであらうから、到底固有朝鮮人の能く對抗し得らるべき筈はないのである。されば諸君並に諸君の子孫は斯ゝる徒勞の企てに沒頭することなく、只管に內鮮融合、共存共榮の目的に向つて進んではどうであるか。畏くも明治大帝の大御心は百世の後に至る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も澁りないのであるから、諸君は宜しく時代を洞察して輕擧妄動すること勿れと、露骨なる意見ではあるが、赤心を披瀝して懇説したところ、私と會つた程の鮮人諸君の多くは、心の奥で少からず首肯いたもののやうであつた。

困らされた質問

右の如く鮮人との會見に於ては、私も忌憚なき腹いつぱいのことを述べたのであるが、鮮人からも亦腹藏なき意見や質問が連發された、其の質問のうちで二つだけ答辯に困らされたのがある。一つは敎育上について、總督府の新制度であるところの普通敎育の第一年から內地語を用語としたことを難詰せるもので、要は全く無理な制度である。朝鮮に於ては斯ふてあるが、內地の制度はどうであるか。今假りに內地に於て、尋常一年生から英語其の他の外國語を課せんとしたならば、議論なしに實施され得るであらうか、又實施されたところで、家庭に依れば自國語のみを用いられてゐるのに、果して幾何の效果が擧るであらうか、徒らに兒童を泣かしめ、延いて普通敎育の目的を滅却することゝなりはしないか。

といふのであつて、私は殆と答辯に窮せざるを得なかつたから

一應最も至極な意見である、惟ふに總督府の考へは、朝鮮人は內地人に比すれば先天的語學に堪能な性能を有つてゐるところから、內地のそれとは行方を異にして、所謂內鮮同治の一日も速ならんことを期したものであらう。

と辛うじて慰諭して置いた、是等は治鮮當局の大に稽首すべき點であらうと考へる。又他の一つは、名を盜むは貨を盜むより其の罪重しといつた意味の質問であつて、それにも私は答辯に苦しんだのである。惟ふに鮮

人の言ふこと悉くが必ずしも不可ではない、私は彼等の言はんとするところを言はしめ、而して其の言ふところは深き省察を以て聽いてやるが良いと思ふ。

治鮮現狀に就て

治鮮の現狀を一言にして盡さば、先づ大體に於ては、理想に近く進みつゝあるものと許し得るであらうと私は観て來た。就中其の教育施設――特に初等教育は內地に比するに遜色ないまでに行はれてゐるし、道路の如きも能く開鑿改修を施されてゐる。只今後に於て力を傾倒せねばならぬのは產業である。由來李朝三百年の後を承けて、山は禿げ野は荒れ果てたる朝鮮のことであるから、殖林、農耕の開發は最も急務で、歷代の當局亦玆に著眼せざるはないのであるが、遺憾ながら農業についても、牧畜についても、今後の大なる努力に俟つべき點が多々あることを認めたから、私は卑見の存するところを總督府の當局に呈言して來た、が朝鮮に於ける養蠶業の將來は頗る囑望するに値ひすることは、內地人も亦注意すべき點である。然り而して朝鮮開發上眞先きに必要なる物は資金であるが、此の資金の融通について甚だ遺憾に存ずるのは、朝鮮銀行や東洋拓殖の營業方針である、鮮銀でも東拓でも、貸出しをするのは內地人に限られ、鮮人に對しては一切貸出さないから、鮮人は之れを不滿となし、我等には不安なりとして貸さないでゐながら、內地人相手に營業した結果が、數百萬圓の大穴をあけてゐるのはどうしたものであるぞと、憤慨は今や冷笑と變じてゐる。私はこれは其の營業方針を革めて、確實なる擔保、信用のある限り、內鮮人の差別なく、否鮮人に對してはより多く貸出し融通するのが、有らゆる方面から打算して、背綮を得たる治鮮上重要なる一策ではなからうかと考へるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

齋藤總督德化す

朝鮮は數代の統監總督を經て、現總督齋藤實男に至つて、はじめて黃金平和の時代を迎へた。勿論米國人の排日行爲も、或る種鮮人の不逞行動も、全然根絕したとは言はれない、彼等は心てはどう思つてゐても、夫等の行爲行動を敢てすることは、卽ち彼等の生活なるが故に。然れども齋藤總督の德化は偉大なるものて、齋藤男の總督たる限り、不穩不逞の所作は終熄してゐるのである、朝鮮人は善良なる者も、所謂不逞の札附けられたる徒輩も、異口同音に『齋藤男爵に對しては危害を加へられない、若し誤つて同男に危害を加へる者あらば、それは全朝鮮人の不名譽である』と切言し、又米國人は『我等の憂ふることは、齋藤男爵が內閣組織の大命を拜受するやうなことがありはしないかといふ一點である』とまで同男の朝鮮を去るべき日の來らざらむことを祈つてゐるのである。これといふのも、齋藤男は赴任以來一身を投げ出し、死生命あり君恩重しとの意氣を以てし、先帝の大旨を奉じ、至誠を鮮人の腹中に植へて、以て治鮮の任に當つてゐるからのこととて、同男は出入共に敢て警護をつけることとなく、殺さば殺せ予は只誠意を傾けて內鮮共榮の實を擧げんのみと、歷代の總督の如く威壓せんとせず、一に德化主義に出てゐるからのこととてある。私が京城滯在中、一日多數の鮮人と會見してゐる折柄、單身私を訪問された其の沈勇振りには私も敬服したが、それよりも來訪中の鮮人一同は一層驚歎し『これだから齋藤總督には危害が加へられない』と囁いてゐた。聞けば同男は、京城市中ばかりてなく、不逞鮮人の出沒する國境方面視察の際ても、猶且斯くの通りてあるさうな。

朝鮮統治の將來

終りに臨みて朝鮮統治方針てあるが、由來鮮人の希望を大別すると三種類になる。其最過激なるものは例

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の獨立運動である。次は參政權の要求である。次は自治制の宿願である。而して此の問題については、お互に最も愼重なる研究をせねばならぬことて、私も姑く意見の發表を留保する者てあるが、之れを概觀して、獨立運動に對しては素より言ふの限りてないから、是非得失は後の二者に繫るのてあるが、朝鮮人に對して帝國議會に列する參政權を附與することは、之れを英國の愛蘭に對する關係の現狀に鑑みるならば、容易に可否を言ふ譯には行かず、結局私は自治を許すことが最も適當しはすまいかとも思ふ、但し自治制を布くについても、其の時期及び方法如何は自ら別個の問題にして、深き考慮を拂はねばならぬのは勿論てある。

朝鮮に於ける農村の振興

貴族院議員　石塚英藏

一

農業は總ての產業の基礎てある、米國商工業の盛大は、其の農業の發展より生じ來れること、學者の認むる定論てある。佛國は歐洲文明國の中心てある、然かも佛國は、何事よりも先つ農業の發達を重しとすとは佛國人の云ふ所てある。日本としても、農業の重んずべきは云ふ迄もない、而して朝鮮に於ては、其の農村

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

振興は、朝鮮在住人民の幸福の爲めに、最も重大の問題てあるのみならず、本國在住の日本國民の爲めにも、食糧供給問題として、又工業原料供給問題として、重要なるものてある。

朝鮮は然らば日韓併合以來、其の農業に付て如何なる狀況に在りて、其の農民の生况狀况は又如何なるかの問題に付て、日本國民は、常に之を詳知し、之れに對する適當の考慮を費すを要する。

余は多年朝鮮に在りし上、東拓總裁として多年朝鮮の農事に關し詳知する所あるを以て、朝鮮に於ける農村の開發進展せる狀況に付て、其の綱要を左に述べ、以て國民の參考に提供する。

二

朝鮮に於ける農事の改良發達を圖る爲め、朝鮮總督府は、夙に水原に勸業模範場を設け、又各地に其の支場を置き、各道には種苗場を設置し、尙模範畓、模範桑園等を府郡及面に至るまて各所に之を設け、或は農業技術員を各地方に配置し、或は水原に高等農林學校を、其の他普通農學校を漸次各道に設置し、又朝鮮農會を組織せしめ、之に補助金を與へて、活動を期せしむる等、勸農機關としては略完成せるの感がある。一面品種の改善を圖る爲め、隨處に原採種畓を設け、優良種子の普及に努め、又施肥の奬勵に付ては、大豆粕を主とし、金肥の施用を奬勵し、或は綠肥の栽培、或は堆肥の製造方法を改良し、及其の施用量を增加せしめた。其の他耕種法の改善に付指導督勵を加へて、米及び畑作物の改良竝增殖に努むるの外、南鮮地方に於ては、多年盛んに陸地棉の栽培を奬勵して、更に第二期計畫に移り、實棉收穫高二億五千萬斤に達せんことを期し、西鮮地方の適地には、甜菜の栽培を奬勵して多量の製糖原料を產出せしめ、其の他朝鮮には、從來其

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の産出を見ざりし甘藷、馬鈴薯等を新に栽培せしめて食糧の補給に資せるもの亦尠くないのである。更に養蠶の奬勵に付ては、多大の力を效し、本年春蠶のみにても、掃立數約四十三萬枚、其の産繭高十五萬五千餘石に達する見込なりとのことである。

家畜の改良增殖に付ても、優良種牡牛の充實、牧馬牧羊場の設置、或は優良家禽の配付等、夫々施設を爲し、其の他農家の副業に付ては、各地の狀況に適應し、大に之が奬勵に努め、以て種々に收入の增加を圖りつゝある。

朝鮮の產米增殖上最も緊要とする水利灌漑事業は、近時各地方に其の企業熱勃興し、既に工事の竣功せるもの、及び目下著手中のものを合せ其の面積約七萬町步の多きに達し、又干瀉地の開墾、其の他未墾地の利用を企畫し、既に美田と化したるもの約八千町步を算し、兩者倘益〻擴大せられんとするの狀況にあるは、朝鮮の開發上洵に喜ばしき次第である。

而して是等の農事改良及び水利開墾事業の資金に充て、朝鮮殖產銀行、東洋拓殖會社、其の他特殊の金融機關を通じ供給せられたるもの、大正十年末に於て實に壹億萬圓の巨額に達し、其の効果多大なるものあるを認むるのである。

三

今其の成績の一班を觀るに、米の產額は、施設當時の明治四十三年に於て、千四十萬石反當收穫高七斗二升なりしもの、大正十一年に於ては千五百一萬四千石、此の反當約一石に上り、倘其の輸移出高は、十一年中

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三百二十余萬石にして、之を施政當時に比すれば約六倍の增加を示して居る。其の他逐一數字を掲ぐることを省くも、大豆、麥、棉花、繭、生牛等の產額增加又は輸移出の增進せることは驚くべきものがある。

如上の各施設に由る効果に付ては、素より當局の指導奬勵に因る所甚大なるは言を須たざる次第なるが、各地方に於ける農事經營者、其の他當業者の努力に負ふ所も亦尠なからざるものありと信ずる。

尙又東拓の取扱に係る移住民は、現在四千戸に近く、此の移住民は、殆んど朝鮮各道に分布せられて、朝鮮農民に農事改良の範を示し、兼て內鮮人の融和を圖り、產業の改發に資しつゝあること、蓋し尠少ならざるものと思はる。

尙又米の消費量に付て之を見るに、精確なる統計は得難きも、朝鮮人一人當りの量、施政當時に在ては六斗二升なりしものが、大正十年に於ては約六斗六升を示し、郵便貯金の高は併合當時に朝鮮人一人當り僅に壹錢三厘に過ぎざるものが、大正十年に於ては十五錢六厘を示す等、如何に朝鮮農家の收入增加し、依て以て生活狀態の改善せられ、朝鮮人の經濟力が大に發達せることを窺ふに足るべく、卽ち農村振興の實顯著なることを知るを得るものと思はる。

四

朝鮮の農村は、舊時に比して面目一新の觀がある、之れ併合の効果であり、人民の幸福を以て悅びとなす文化主義者としては、內外人を問はず、大に慶賀して然るべき事柄である。素より進化政善には限度なし、日鮮人協同して朝鮮農村の爲めに努力し、國民の爲めに、利福を增進することを益々心掛けねばなるまい。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

朝鮮の小作問題に就て

朝鮮生命保險株式會社　專務取締役　元　悳　常

現下の我朝鮮は農業朝鮮なり。過去も農業朝鮮たりしが、將來も亦農業朝鮮たるべきなり。故に現在の我小朝鮮をして、將に大朝鮮たらしむる最先急務は我農產業の改良發達を期するに如くはなし。從つて我農產業の振否は、我朝鮮をして或は大ならしあ、或は小ならしむる最適の營養物にして、且我朝鮮をして或は活かしめ、或は死せしむる最良の醫藥とも謂ふべし。されば其營養物と其醫藥とは、之を如何に求め得べきか。其求むる方法は唯其原產物たる農村及其生產者たる農民より之を求むる外なし、是農民は營農上原素の主なる勞力の供給者にして、農村は是等農民をして安居せしむる住家とも稱すべければなり。故に我朝鮮をして大ならしめ且活かしむる唯一の方法は、農村の振興を圖り且農民をして其農村に安住せしめ、其の天職に忠實ならしむるに在るべしと信ず。

眼を轉じて我十三道二百十八郡二千五百七面二萬五千餘個所の農村と、二百七十餘萬戶千四百七十餘萬人の農民の現況を觀察せば、果して如何なる狀態に在りや。

現下の農村は金融梗塞に基き其頂點まで荒退し、現下の農民は經濟上の維持力を失して將に動搖せむとしつつあり。殊に農民の八割五分强の多數を占むる小作農民は、既に動搖を來しつゝあり。現に未だ動搖を來

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さところ自作農も、獨立の經濟を維持すること困難なる者多きが爲、日常愛惜せし耕作地を、一時の高價に眩惑して賣盡し漸次小作農に變態しつゝあるもの多きに到れり。依て農村は年と共に自作農民の數を減ずる反面に於て、小作農民の數は每年增加しつゝある狀況なりとす。故に將に起るべき農民の動搖は、農村の總動搖に化すべきを知るに足るべく、之が動搖たるや、實に我社會を灰盡せしむる銳彈にして、且又民族を溶葬せしむる毒藥なりと謂ふも過言に非らざるべし。

近時各地の農村に於て頻發しつゝある小作爭議は、是卽ち小作農民の動搖せる事實を語るものにして、且現在の朝鮮をして、將に小朝鮮たらしめ死朝鮮たらしむる唯一の原因と謂ふべし。故に當局に於ては今や大に農村に於ける小作慣行を調査し、相當なる對策を考究しつゝあるが如し。

且日本內地に於ては、早一步進みて小作法案の公布を見るに至る。其の何れたるを問はず、之が動搖を救濟せむとするものにして、且進んでは動搖に先ちて之を豫防せむとする方策に外ならざるなり。

故に我社會の一部を構成する我等は、當局のみを惱ますことなく、相互に之が小作爭議の原因及狀況を考察して其對策を案出し、以て當局施設の一助たらしむるは、決して無爲の擧に非らざるを信じて疑はず。

元來小作問題は廣狹の二義を有す。廣義に於ける小作問題とは、土地の貸借關係に基き地主對小作人、小作人對地主の主張乃至要求の一致せざる爲に起る所の諸種の難問題を指稱するものにして、卽ち農村問題社會問題の一に屬するも、狹義に於ける小作問題とは卽ち小作爭議にして、玆に所謂朝鮮小作問題も、此の狹義の小作問題卽ち小作爭議に就き述べむとするものにして、殊に現下の朝鮮の小作爭議は、其最密接の關係ある彼の日本內地に於ける小作爭議に比し、一層其の範圍及程度の限局されたるものにして、卽ち從來小作

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

慣行に伏在せる弊風を匡正するに依りて其の解決を告ぐるを得べき程度の繫爭なり。故に現下の農村狀態に照比して小作爭議を觀察せば、一時の經濟的刺戟に反應されたる地主對小作人の繫爭にして、一般的に社會運動に基きたる小作問題とは認め難し。

從て玆に述べむとするものも、專ら朝鮮農村の現狀に對照して其對策を考究せむとするものにして、學理的に考究すべき一般の小作問題に及ばざるを努めたり。而して其の對策を案出するには、先以て其の狀況及原因を考案するを順序とすべきに付、以下(甲)小作爭議の狀況、(乙)小作爭議の原因、(丙)小作爭議の對策の三項に區分して說述すべし。

甲、小作爭議の狀況

現下の朝鮮に於ける小作爭議は既に述べたる如く、彼の日本內地に於ける小作爭議とは其趣を異にし、單に一時的の經濟上の刺戟に反應せられ、小作人より地主に對し其經濟的苦痛を緩和すべく主張又は要求を爲し、地主は是を容れざるが爲に起る所の繫爭にして、純然たる社會運動に依る小作問題には非らざるも、從來單に彼等の胸裏のみに潜伏せし其の不平が、今や彼等の胸裏より離れて外部に現露するに到りたるは、是れ畢竟時勢の推移に伴ひ、彼等間に社會觀念の發達せる徵候を認むるに足るべし。而して其の爭議の主なるものは小作料に對する不平、卽ち分配問題及小作權の紛爭卽ち小作權の存續問題、並公課負擔問題に大別することを得べし。而して當然地主に於て負擔すべき公課負擔の問題の如きが、我朝鮮の小作爭議の原因を爲せるが如きは、是從來の慣行に對する因襲力の强大なるを知るに足るべく、且又其の爭議の程度未だ幼稚なるを認むるに足るべし。今最近朝鮮小作人相助會に於て、其解決方に付て干涉せし小作爭議の種類別件數を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

擧ぐれば

種類別	大正十一年中	大正十二年六月迄	計
小作料不平	二一、六八一件	一一、三二二件	三三、〇〇三件
小作權紛爭	八、八三七	二二、一九三	三一、〇三〇
公課負擔不平	一五、〇六六	一七、〇二六	三二、〇九二
計	四六、五八四	五〇、五四九	九七、一二五

右の表に依り朝鮮の小作爭議の件數も實に驚くべき數に上り、且大正十二年は半年間に於ける發生件數が、昨年に比し一割弱の增加を來たしたるを見ても、其の件數逐年激增すべきを豫想することを得べし。

右表に依て小作爭議の地方別件數を案ずるに、昨年及本年六月迄に起りたる總件數中、特に小作人相助會に於て干涉せし件數九萬七千餘件の內、慶尙南道の三萬九千七百餘件を最大とし、全羅北道の二萬七千五百餘件を次とし、京畿道及全羅南道並に黃海道の各七千三百餘件を其の次とし、忠淸南道及同北道の各三千四百餘件を最小とす。尙其區域の擴大程度を案ずるに、全羅北道の十三郡を最高とし、京畿道の十一郡を次とし、忠淸南道の七郡及黃海道の六郡並全羅南道及慶尙南道の各五郡を其次とし、忠淸北道の三郡を以て最低とす。

右の外小作人相助會の未だ干涉せざる慶尙北道、江原道、咸鏡南北道及平安南北道の六道も、事實に於ては多數の件數と廣き區域とを有するは言を俟たざるも、畓の面積少き江原道咸鏡北道及平安北道は、他の道に比しては其件數稍少きが如し、是現在の我朝鮮農民は畓作を以て重要の經濟を支持しつゝあるが爲、小作爭議も畓作地方に激しく、田作地方に緩ければなり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

而して從來の小作爭議は、概して地主對小作人の個人的對抗最多く、小作人相團結して地主に對抗するが如きは甚だ少く其解決方法の如き當該里洞の洞規に依り、又は面、警察署、郡等に於て双方の讓歩を促すを普通とし、道又は本府に於て直接妥協の任に當る程の爭議は極めて少數なりしが、最近慶尙南道密陽郡に於て發生したる小作爭議の如きは、其の程度比較的大にして、郡は勿論道に於ても解決せしめ得ざる爲、其の代表者が本府に迫り解決を求めたる實例あり。是に依て觀れば、朝鮮に於ける小作爭議も、漸次濃厚の度を加へつゝあるを認むるに足るべし。

從來小作爭議の結果を察するに、其の大多數は概して何等の結著なく、單に小作人不滿の儘有耶無耶に終熄するを常とするのみならず、却て小作人は地主の反感を受けて、其の小作權の剝奪を受くるが如き例亦少しとせす、然れども今後の爭議が果して從來爭議の軌範を超越せざるか、又爭議の結果は果して有耶無耶の間に終結し得べきやは、今直に斷案し能はざるも、或は他の先進社會の成功せる小作運動を模倣する爭議に出づるなきや頗る憂慮せざるを得ざるなり。

乙、小作爭議の原因

小作爭議の狀況に於て既に述べたる如く、現下の朝鮮に於ける小作爭議は未だ社會運動的爭議に非ずと雖、時勢の推移に伴ひ、社會的階級觀念の發達が亦其一因となるは明かなる事實なりとす。今小作爭議の發生原因を綜合するに、一は問題發生の根本條件を爲せる遠因と、二は問題を具體化せしめ發生の動機條件を爲せる近因とに二別することを得、左に其の原因の主なる二三を擧ぐれば、

A 遠因

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一　自作農の減少と小作農の增加すること　總農家戶數の二割弱の少數なる自作農は、每年其數を激減して無産階級の小作農に墮下しつゝあり、其の激減する理由は、一に現下の營農方法の如き粗放式の農事收入を以ては、其獨立の經濟を維持すること困難なる爲、其日常愛惜し來りたる耕地を止むなく賣拂ふに由るものにして、其根本原因は、農村の金融不圓滑に在るものとす。耕作地を失ひたる農民は、止むなく其農村に仍住して小作人に變態するに依りて、無産階級の數は年と共に增加するなり、有産階級の周圍に、此の多數の無産階級の存在するは、實に本問題發生の基礎的原因を成すものに非ずして何ぞや。

二　小作制度の不完全なること　農業朝鮮たる我農村の其小作制度、即ち從來の小作慣行が、言語に絕する程不備不完全なるは全く珍奇の事と謂ふ外なし。

從來の小作制度は、單に當事者の自由契約に基き、唯舊來の慣行を踏襲するに過ぎず。而して其慣行たるや、今尙慣習とも認め難く、且不明確なる舊慣行も、地方〳〵に依て相違す。尙近時に至り民事令の施行と共に民法(賃貸借の規定)の規定を適用するに依て、多少之を救濟するを得たるも、是亦地主對小作人關係の全部を規定せるものには非らざる爲、且又一部の有識地主階級を除く外は、依然として舊來の慣行を墨守するを常とするが爲、地主對小作人間の權義不明となり、紛爭を惹起すること多く、且其他に於ても之が制度の不備に基き、小作爭議の發生の導火線となる實例は擧げて遑あらず。其詳細は「丙小作爭議の對策」の項に於て述べむとするも、兎角朝鮮に於ける小作爭議の根本原因は、一に之が制度の不備不完全に基くものと謂ふも過言に非らざるべし。

三　小作料の高率なること　現在の小作料は事實に於て高率なり、但し高率なりとて、必ずしも地主の暴慾

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ど搾取とに依りたるものとは速斷すべからず、卽ち現在地主の其所有地の取得原因を考究せば、概して過去に於ては大多數の自作農民の耕作地及小數の地主の所有地の買收に依るものにして、經濟的支持力を失したる爲、其愛惜の耕作地を賣却せむとする自作農及金融梗塞に依り其所有地を手離す地主は、概して時價以上の代金を受取らむとすること常にして、且買主たる地主も亦時價以上に非らざれば己が手中に入らざるを察して、概して高價にて買收しつゝあり。時價以上の價格を以て購入したる地主は、購入資金の利子を償却する程度に於て、高率の小作料を以て貸付けざれば收支不償となるべきや明かなり、且舊慣上土地賣買價格の算定を、收量を以て標準とする例亦多きが爲、賣主は不實に其土地の收量多額なるを主張するも、小作料額の算定が亦土地の賣買價格に正比例（但し賭租法にのみ）するの例あるを以て、買主は多少高値の嫌ありとするも、小作料額の增徵を豫期して之を買收しつゝあり、故に地主に異動を生じたる小作地は、其異動の都度小作料の增率を來しつゝあるもの亦少しとせず。

尙小作人中には大に同情に値すべき者もあり、又中には我利一偏に、不實申告に、瞞著主義を以て生計策とする奸惡なる小作人も亦少しとせず。例へば打作法の收穫物折半法に於て、常に目睹する收穫物の束量に多寡の別を附し置き、束を分配するに際し、多量の束は己の所得とするが如き、又同法調製分配法に於ても脫穀に巧みなる小作人は束の外部のみを打落し、內部の穀粒は殘存し置き、地主去るを待ちて更に打直すが如き等の不正なる行爲を敢てする者亦尠からず。故に地主に於ても亦默認し難く遂に打作法より定賭法に改め、打作法の分配率より稍々高率の小作料額を每年定徵するもの多きを加へ、今や朝鮮の小作法は定賭法を以て其の七割の多數を占め、從て小作料は一般に高率の觀を呈しつゝあり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

以上は單に小作料の高率なる原因の主なるものを擧げたるに外ならざるも、又地主中にも暴戾の地主ありて、搾取主義を以て唯一の致富策とする者なきに非らず、其の原因の何たるを問はず、小作料の高率問題が現下の朝鮮に於ける小作爭議の主なる原因を爲すは事實にして、前に表示せる、小作人相助會の調査に係る種類別件數に依りて見るも、爭ふべからざる事實なりとす。

四　地租其他公課の負擔を小作人に轉嫁すること　過去の地租制の未だ整理せざりし時代に於ては、或は是が負擔不明定なりし爲、小作人をして負擔せしめたることありとするも、今や之を整理して數年を經過し、且法定に依り當然地主に於て負擔すべきものを、依然として其の負擔を小作人に轉嫁するが爲、小作爭議の約三割を占めしむるが如きは、甚不穩の事と謂ふべく、之れ我農村に於ける事實とは云へ、他の社會に紹介して忍び得ざるものと謂はざるべからず。

B　近　因

一　小作權の異動頻繁なること　小作權の異動頻繁は、地主及小作人の相互の損益問題に直接影響するものなり。卽ち小作權の異動頻繁なる小作地は、每年其の生産方を減退しつゝあり。故に其の生産力の減退は、分配量の減少を來すや明かなり。而して小作權の異動は地主に於て萬止むを得ざる場合に於て始めて取る手段なりと雖、小作人の唯一の生命とも稱すべき小作地を剝奪されたる者は、己が生命を絕たると同樣の悲痛に遭遇するものなれば、玆に始めて不平を懷き、抗議を申込むに至る。

從來の小作權異動狀況を考察するに、小作地の拂底に基き小作權の爭奪に依りて異動するもの約五割の多數を占め、舍音の更迭又は情實に依りて異動するもの約二割を占め、小作料の滯納又は營農上不誠實を理由

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

として異動するもの約一割を占め、雑種の負擔又は其他地主の命に從はざる爲異動するもの約一割を占め、其他の原因に依り異動するもの約一割を占む。而して最近の調査に依り一ヶ年の異動割合を見るに、其の六割の多數を占めつゝあり。即ち小作農民の六割が、小作權異動に依りて一定の期間即ち他に代位の小作地を得る迄苦痛を受くる事となるなり。小作權を異動する理由の正當なりや否や、且異動に基き紛爭を來す責任者の地主なりや小作人なりやを批判するは、本項に於て述ぶべき限りに非らざれば之を次に讓り、兎角小作權の異動頻繁が小作爭議の最大原因を爲すは事實の證する所にして、且右に表示せし小作人相助會の調査に係る種類別爭議件數を參照するも明かなり。

二　不作減收の場合に小作料減免問題の起ること　不作減收は地主及小作人の損失にして、殊に蓄財なく、單に農事收入を以て唯一の經濟を支持する小作人に取りては、其の苦痛や名狀すべからず。

朝鮮の小作慣行上不作減收の場合に於ては、其の都度地主小作人間に損害程度を觀測して、小作料の減免を爲しつゝあるに反し、本問題が小作爭議發生の原因と爲るは、單に損害程度の觀測方に兩者の意見一致せざる場合及其の程度微小なる場合に於て、小作人の減額要求を地主が容認せざる場合に起るものとす。而して減免程度の如き如何に完備せる小作程度の下に於ても、之を公平に且明瞭に算定するは到底望むべからざる事と謂ふも過言に非らざるべし、是各自が分配率を大ならしむるに汲々たる、遂に兩者の意思は到底合致せざるべければなり。殊に針小棒大の申告を以て、不正に減免を受けむとする無謀の小作人も亦少からず、且小作人の不勤勉を口實として、當然減免すべきものを之が容認を爲さゞる無理解なる地主亦なきに非ず。

三　小作人間に社會的階級觀念の發達せること　以上に於て、之が爭議の發生原因として主なる者數種を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

擧げたるも、是等のみを以てしては、小作爭議は未だ發生せざるものなり。即ち從來の例に徵するも、單に不平として又は苦痛として小作人の胸裏を惱すに過ぎざりしなり。

然れども時勢の推移は、彼等小作農民の腦裏に一變化を與へ、彼等も亦何時の間にか自由平等機會均等等の叫を耳にし目にするに至りたり。即ち社會的階級の打破の觀念の漸次發達するに從ひて、地主は必ず天選の優民に非らず、小作人又必ずしも天賦の劣民に非らざることを覺るに至れり。

如斯時勢の推移を意識したる小作人は、到底從來の如く盲目的に柔順なるを肯ぜず、生產の分配上及其他利害相反するを知得するや、直に己が意見を表示し、己が苦痛を訴へ、進んでは個人的の對抗のみを以ては其の效果少なきを覺りて、同階級相團結を爲すに至る。（未完）

朝鮮に於ける農業及漁業移民の現況（承前）

朝鮮總督府殖產局農務課　河合忠治

四、移民の生活狀態（一箇年の收入支出）

（一）農業移民（東拓移民を除く）　生活狀態は資本の多寡土地の情況年の豐凶に依り一樣ならざるも、移民は第三項は於て述へたるが如く多少の資本を有する中農階級なるを以て思慮に富み、先づ其の鄕關を出づるに當り一種の覺悟を以て渡來するが故に勤勉力行の觀念厚く隣佑相誡めて治產の要を爲すが如し、從て勞農

方法の如きも概して集約的なるが上に專家副業に精勵し、只管收益の多からむことを念とし相當餘財を積み堅實なる基礎を築きつゝあり、然れども中には良好ならざる者ありて營々苦心の結晶を蕩盡するものなきにあらず、左に各道に於ける移民の大正十年の收支及之が一二の事例を擧ぐれば左の如し。

農業移民收支計算

道名	上 收入	上 支出	上 差引損益	中 收入	中 支出	中 差引損益	下 收入	下 支出	下 差引損益
京畿道	圓 二、四二五	圓 一、六六一	圓 七六四	圓 二、二一六	圓 一、七〇五	圓 五一一	圓 一、三七〇	圓 一、二四七	圓 一二三
忠清北道	五、五〇〇	三、一〇〇	二、四〇〇	二、九七二	一、四一六	一、五五六	三〇〇	二五〇	五〇
忠清南道	一、三〇〇	一、二〇〇	一〇〇	八〇〇	八〇〇	―	四〇〇	四四〇	△四〇
全羅北道	二、八〇〇	二、〇二〇	七八〇	一、八一五	一、四〇〇	四一五	九五〇	九一五	三五
全羅南道	二〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	五、〇〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	五〇〇	一、二〇〇	九〇〇	三〇〇
慶尙北道	一、五〇〇	一、〇五〇	四五〇	一、〇一六	七三〇	二八六	六一〇	五〇〇	一一〇
慶尙南道	四、二八〇	四、〇三四	二四六	一、七二三	一、五九八	一二五	九二二	八六六	五五
黃海道	一、一一二	六八五	四二七	七七五	三九八	三七七	四三七	一六七	二七〇
平安南道	六、四三三	三、八六〇	二、五七三	二、六三六	二、〇〇三	六三三	一、五三三	一、〇五〇	四八三
平安北道	八七五	六〇四	二七一	六五〇	五三一	一一九	―	―	―
江原道	三、六三〇	二、九八〇	三八〇	二、五一八	二、一五五	三六三	一、三二〇	一、二一〇	一一〇
咸鏡南道	二、五〇〇	二、一五〇	三五〇	一、三〇〇	一、〇二六	二七四	七〇〇	六一二	八八
咸鏡北道	一一、二八〇	七、七八〇	三、五〇〇	九、二二〇	八、〇〇〇	八、二四〇	二、六二〇	二、六四〇	△二〇
全道平均	四、八七四	三、八二四	一、〇五〇	二、二四三	一、七五一	四九二	九五一	八三一	一二〇

備考

一、本表は各其の道に於て移民を上中下の三階級に分ち調査したるものにして、各道に於ける移民の資力異る爲、全道を統一したる一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

定の標準なきも、大體に於て(上)は地主、地主兼自作、(中)は自作、(下)は自作兼小作にして、各階級の中庸を得たる移民に就き調査したるものなり。

二　本表の收支は投下資本に對する利子、自家供給勞力の賃銀を計上せず。

是に由て之を觀るに、移民の收支は一に收支相償はざる者あるが如きも、多くは其の收入より生活費を支持し尚多少餘裕を存す、然も此の計算たる一ケ年に於ける現實收支にして、投下資金の利廻、自家供給の勞銀を加算せば蓋し利潤として見るべきものなるべきも、斯の如きは農民として既に自覺せる所なるべし、更に前表に對する收支計算の細別一二を擧ぐれば左の如し。

事業　道	上	中	下
土地　所有土地	畓一・九町　田五・〇〇　山野二・〇〇	畓二・〇町　田〇・三〇	田〇・九町
土地　小作地	田畓の一部を自作し大部を小作せしむ	畓二・〇　田〇・七〇	畓一・二
家族數	三人　全部勞働に堪ゆ	三人　同上	三人　同上
收入			
穀類	六三二圓	一、六九四圓	五五九圓
蔬菜類	六六八	一二九	四五四
家畜家禽	三二七	五七	一六〇
副業收入	二〇	一六三	九二
薪炭收入	七八	四六	三五
自給肥料	六八	七五	四二
貸付金利子	七二	三六	—
勞働賃	—	一六	二八
小作料	五六〇	—	—
合計	二、四二五	二、二一六	一、三七〇
支出			
小作料	—圓	四八六圓	二八〇圓
種子代	九四	三二	三七
料代	二四〇	一八九	一〇六
公課及諸掛	一五六	一〇九	四二
農舍農具修理費	七六	三三	三三
傭人費	三二〇	四八三	二〇〇
食料費	四一九	二八五	二七五
交際費	一五三	二二	一〇八
被服費	四五	九	二〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

雜費	一五八	五七	一五七
合計	一、六六一	一、七〇五	一、二四七

全羅北道

土地　所有地	畓 三・三町　田 〇・五	畓 一・五町　田 〇・三	
土地　自作地	畓 三・三　田 〇・五	畓 一・五　田 〇・三	
土地　小作地		畓 〇・七	畓 一・二町　田 〇・二
家族數	壯年 三人　老幼 四	壯年 三人　老幼 四	壯年 二人　老幼 三
農業收入	二、八〇〇圓	一、八一五圓	九五〇圓
支出　營農費	四〇〇	二五〇	一四〇
支出　公課	一五〇	五〇	一五
支出　小作料	—	二一〇	四一〇
支出　生活費	一、四七〇	八九〇	三五〇
合計	二、〇二〇	一、四〇〇	九一五

江原道

耕地　所有地	一八・〇町	三・五町	— 町
耕地　自作地	—	三・五	—
耕地　貸付地	一八・〇	—	—
耕地　小作地	—	—	一八
家族數	五人	七人	四人
收入　小作料收入	三、〇〇〇圓	—圓	—圓
收入　農作物收入	—	一、五七五	一、一二〇
收入　副業收入	—	七〇〇	二〇〇
收入　貸付金利子	三六〇	—	—
收入　其他雜收入	—	一七三	—
合計	三、三六〇	二、五一八	一、三二〇
支出　耕地管理費	四〇〇	—	—
支出　未墾地開墾費	五〇〇	—	—
支出　殖林費	三〇〇	—	—
支出　生活費	一、〇八〇	八四〇	七二〇
支出　被服費	五〇〇	三一〇	一三〇
支出　營農費	一二〇	五一〇	三〇〇
支出　公課	八〇	六五	二八
支出　醫藥費	—	一三〇	—
支出　雜費	—	三〇〇	三二
合計	二、九八〇	二、一五五	一、二一〇

（二）漁業移民　漁業移民の多くは當初出稼漁業等に依り其の根柢を造り同、郷者等を糾合して移住するが故に少數ながらも集團的に居住し一個の移民部落を形成せり、殊に全羅南道、慶尙南道の如き島嶼の多き地方に於て其然るを見る、而して稍〻多數の集團地にありては純然たる內地式家屋を建築し小市街を爲せる者

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あり、移民の多くは中流の漁撈者にして多少の資本を有し漁船漁具を所有し自ら漁撈に従ひ或は自ら船頭となりて鮮人漁夫を雇傭して漁業に従事する者を主とするも、相當資本を有する者にして漁船漁具を貸付し船主として生活する者少からず、從て其の生活狀態は殆んど一定せざるも各相當の生活を爲せるもの丶如し、而も漁業移民は農業移民に比し生活放漫なるを以て其の收益の大なるものあるに拘らず著しき成功者あるを聞かざるも、中には堅實なる者ありて年々多少の蓄財を貽し、或は漁具漁船を新調し或は耕地を購入して生活の基礎を鞏固ならしめつ丶ある者なきにあらず、左に二三の道に於ける大正十年の收支狀況を示さむ。

漁業移民の收支

道名	上 收入	上 支出	上 差引損益	中 收入	中 支出	中 差引損益	下 收入	下 支出	下 差引損益
忠淸南道	二、五三三	六三〇	一、九〇三	一、一〇〇	四六五	六三五	三五〇	二五〇	一〇〇
慶尙北道	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	七〇〇	三〇〇	六〇〇	五〇〇	一〇〇
慶尙南道	五、〇〇〇	四、五五〇	四五〇	三、〇〇〇	二、八六〇	一四〇	—	—	—
黃海道	八、〇四五	七、一二四	九二一	六、〇七五	五、三三三	七四二	一、二七八	八二六	四五二
平安北道	二、八五〇	二、〇九七	七五三	—	—	—	二、二〇〇	一、九四八	二五二
江原道	九、五〇〇	八、〇六〇	一、四四〇	六、〇〇〇	五、二四八	七五二	一、三二〇	一、三〇〇	二〇
咸鏡北道	二三、〇〇〇	二二、〇〇〇	一、〇〇〇	五、〇〇〇	二、九八〇	二、一一〇	七〇〇	六五六	四四
平均	七、五六一	六、四九四	一、〇六六	三、六九六	三、〇九八	七八〇	一、〇七五	九一三	一六一

以上の如く漁業移民の收益は農業移民に比し稍優れるが如きも、年により豐凶甚しきを以て之に依り移民の生活狀態をトすれば聊か早計の感なき能はざるも、其の一班を語るの資料ならずとせず、尙前表收支に關する一二の事例を擧ぐれば左の如し。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

成績　北道

一、家族數

- 上　壯年老幼　三三人
- 中　壯年老幼　一五人
- 下　壯年老幼　四二人

二、所有財產

上

住家	四棟	五、〇〇〇圓
倉庫	一棟	二〇〇
製造場	一棟	三〇〇
宅地	五〇四坪	五、〇〇〇
漁船	九艘	一、八〇〇
巾着網	一反	四、〇〇〇
延繩		一、三〇〇
現金		一、二〇〇

中

倉庫	一棟	二〇〇圓
製造工場	一棟	一五〇
漁船	三艘	九〇〇
漁具延繩	三具	六〇〇
製造具	一	三〇〇
現金		一、〇〇〇

下

漁船	一艘	五〇圓（一人乘）

	上	中	下
三、收入			
漁獲物	一、二〇〇圓	三、〇〇〇圓	七〇〇圓
製造物	八、〇〇〇	二、〇〇〇	―
其他副業收入	三、〇〇〇	―	―
合計	二三、〇〇〇	五、〇〇〇	七〇〇
四、支出			
食料費	三、〇〇〇	三〇〇	三二〇
被服費	一、〇〇〇	二〇〇	八〇
漁業資金	六、〇〇〇	二、〇〇〇	一五六
製造資金	五、〇〇〇	一五〇	―
住宅費	三、〇〇〇	六〇	―
公課	五〇〇	八〇	一〇
雜費	三、五〇〇	一〇〇	九〇
合計	二二、〇〇〇	二、八九〇	六五六
差引益	一、〇〇〇	二、一一〇	四四

（三）東洋拓殖株式會社保管移民　移民の生活狀態は移民の素質、割當地味の良否、年の豐凶、穀價の騰落準備金の多寡等各般の事情に依り一樣に之を律すること能はずと雖概して移住の當初は住家納屋の建設、農具家畜の購入等所謂創業費の支出多きに加へ種々の事情の存するありて經營上意外の支障を生じ不慮の失敗を招き會社に對する年賦償還金の如きも倘屢次滯納の余儀なき狀況なりと雖年を經るに隨ひ漸次農法の經驗を積み特に餘裕ある生活を營む程には至らざるも年賦金の償還に支障を來すことなく營々其の業に勵み居る實況にして就中大正七八年に於ける經濟界の好況に際し相當の餘剩を生じ其の蓄積金若は準備金を以て年賦

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を償還したるの外割當地以外に土地を購入し、益々其の收益を增加し餘裕ある生活を營み堅實なる根蒂を形成せる者亦尠しとせず、左に大正十年に於ける二三の收支計算を掲げ以て生活狀況の一斑を示さむとす。

移民の收支計算表（大正十年中）

（A）木浦支店管內

等級特の部

收入

科目	金額	附記
畓	一、八四八・二三〇圓	割當地九町三反自作一町五反籾三十七石小作七町七反籾七十五石藁三四〇把代
田	八〇・〇〇〇	自己買收田一反三畝雜穀蔬菜見積
副業	八一一・四〇〇	繩叺賣買
計	二、七三九・六三〇	

支出

科目	金額	附記
種苗	一〇・二〇〇圓	籾其の他
肥料代	四四・四〇〇	大豆粕十枚過燐酸石灰四十貫棉實十六貫糞尿六二負
人夫賃	一一八・五五〇	常傭　一人　　日傭　九〇人
其の他	六〇・〇〇〇	小作人保護（種子肥料補給見積）
生活費	六八八・七六〇	家族五人食料薪炭其他
教育費	二〇・〇〇〇	就學　一人
衛生費	六一・〇〇〇	藥價
修繕費	四六・七〇〇	住家納家買入費
雜費	二六五・〇〇〇	寄附金九圓六十錢母死亡の爲內地旅行二〇五圓九八錢其他四九圓四二錢
公課	五二・六五〇	割當地二五圓五錢所有地一二圓學校組合一五圓六〇錢
年賦金	七八・〇五〇	
計	一、四四五・三一〇	

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

差引益一千二百九十四圓三十二錢

等級上の部

收入

科目	金額（圓）	附記
畓	一、二三六・五〇〇	一町八反玄米三六石藁一七〇把麥四石五斗代
田	一二一・〇〇〇	一反歩蔬菜雜穀・桑葉代見積り
副業	一八〇・〇〇〇	繭（春 三〇貫 一五〇圓／秋 一〇貫 三〇圓）
小作料	二五二・〇〇〇	小作料一八石一四圓替へ
其他	五〇・〇〇〇	貸金預金利息
計	一、八三九・五〇〇	

支出

科目	金額（圓）	附記
種苗費	二〇・五五〇	籾一石二斗麥一斗五升其の他
肥料代	二一七・八〇〇	大豆粕六〇枚過燐酸六叺堆肥刈草三〇〇〇貫
人夫賃	一八・五〇〇	
飼料	一七五・〇〇〇	牛一頭　九〇圓　蚕　八五圓
生活費	六八一・五〇〇	家族八人の食糧米一四石七斗三十一圓替へ薪炭副食物類
教育費	三〇・〇〇〇	就學一人
衛生費	六五・〇〇〇	藥價
修繕費	四〇・〇〇〇	
雜費	六〇・〇〇〇	
公課	五二・六五〇	割當地二五圓五錢學校組合一五圓六十錢所有地一二圓
年賦金	七八・〇五〇	
計	一、五六二・二五〇	

差引益四百圓四十五錢

等級中の部

收入

科目	金額（圓）	附記
畓	九〇七・五〇〇	二町七反玄米二八石麥二石五斗藁一、二五〇把

支出

科目	金額（圓）	附記
種苗費	一七・四〇〇	籾一石一斗其他蔬菜麥

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

田	七〇・〇〇〇	麥、大豆、蔬菜、藁見積
副業	九〇・〇〇〇	繭、藁細工
計	一、〇六七・五〇〇	

肥料代	一五八・〇〇〇	大豆粕三十枚運搬賃二十叺堆肥刈草四、〇〇〇貫
人夫賃	七七・五〇〇	
飼料	一一〇・〇〇〇	牛一頭馬
生活費	三四五・〇〇〇	家族四人
教育費	一	
衞生費	三五・〇〇〇	藥價
修繕費	四〇・〇〇〇	屋根葺取替
雜費	五〇・〇〇〇	
公課	三一・六〇〇	割當地一六圓六〇錢組合費其他一五圓
年賦金	七八・〇五〇	
計	九四二・五五〇	

差引益百二十四圓九十五錢

等級下の部

收入

科目	金額（圓）	附記
畓	五八六・〇〇〇	二町三反 籾四十二石藁一、〇〇〇把
田	九〇・〇〇〇	麥、蔬菜、雜穀見積
副業	八〇・〇〇〇	海苔製造
計	七五六・〇〇〇	

支出

科目	金額（圓）	附記
種苗費	一五・〇〇〇	籾一石其他
肥料代	九三・〇〇〇	大豆粕二〇枚 堆肥刈草三、〇〇〇貫
人夫費	二〇・〇〇〇	
飼料	六〇・〇〇〇	牛一頭
生活費	三五九・〇〇〇	家族七人（籾二三石其他）
教育費	三〇・〇〇〇	就學二人
衞生費	一五・〇〇〇	

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

修繕費	一五・〇〇〇
雜費	二〇・〇〇〇
公課	三〇・二五〇
年賦金	八七・五四〇
計	七四四・七九〇

差引益拾壹圓二十一錢

五、移民の教育状況

(一) 自由移民　朝鮮移住者の最も苦痛とするは子女の教育なりとす、殊に移民の如き業務の性質上僻陬の地に居住する者に在りては一層其の感を深からしむるものあり、現今に於ける移民が都邑の地を中心として移住し僻陬地を厭ふの風あるは、生產物の處理其の他經濟上の關係等其の一因たるべきも、學校設備の完全ならざるに因するもの蓋し大なるものあるを認む、現今移住者子女の普通教育に付ては、都會地附近にある者は汽車通學其の他の方法に依り公立小學校に通學するの便あり、又多數移住者の集團地に於ては學校組合を設けて公立小學校を設立し、兒童の教育上著しき困難を感ぜざるも、僻陬地に點在する移民にありては全く之等の設備なきを以て、或は母姉と共に最寄の都邑に移居せしめ或は鄕里に託して教養するの已むを得ざる者少からず、殊に之等の事情の許さゞる者にありては、公立普通學校に鮮童と共學せしむるものなきにあらず、斯くて移民は漸く兒童の教養に努めつゝあるを以て幸に不就學者を出すが如きことなし、故に總督府は移住民の教育に付ては出來得る限り公立小學校の設立を助成し移住者の不安を除去するに努めつゝあり、又前各項に於て述ふるが如く朝鮮移住者は概して相當の恒產を有する者なるが故に、其の子女を中等以上の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

學校に入學せしむる者亦少からず、然れ共移住地に此の種學校の設備あるは極めて稀なるを以て、是等は多く汽車通學を爲せるも、事情の許さゝる者にありては內地に歸還せしめ、或は最寄學校所在地に寄宿せしむるを例とせり。

（二）東拓移民　敎育に付ては會社は其の集團の大なる地方に於ては、寄附支出して公立小學校の設立を助成する等相當の施設を加へつゝあるを以て、全道を通じて其の成績概ね良好にして就學步合は大正五年度に於て八割四分なりしもの、大正九年度には九割七分に達し、在鮮內地人の就學步合に比し纔に二分の減少に過ぎず、今大正五年より同九年に至る就學狀況を示せば左の如し。

就學成績表

事項	大正五年	同六年	同七年	同八年	同九年	摘要
移民學齡兒童數	二、〇七〇人	二、一七〇人	二、五二二人	二、一九七人	二、一九七人	大正九年は京畿慶北を含まず（調査未濟の爲）
移民就學者數	一、七三一	一、九六八	二、三八七	二、二六七	二、二六七	同上
移民就學步合%	八四	九〇	九一	九四	九七	
在鮮內地人學齡兒童數	三二、二三七	三六、二〇二	三八、四三正	四一、七三五	四四、〇七九	
在鮮內地人就學者數	三一、一五五	三五、四〇三	三七、八九三	四一、〇三八	四三、五五五	
在鮮內地人就學步合%	九七	九八	九八	九八	九九	

六　移民の衞生狀態

朝鮮民衆の衞生思想は之を內地に比すれば未だ幼稚の域を脫せず、爲に都鄙の別なく衞生的設備を缺如し、今尙官憲の嚴密なる指導督勵に依り漸く其面目を維持するの狀態にあり、從て移民を收容するが如き僻

陬の地方に於ては特に其の不完全なるを見る。殊に醫師產婆の開業者なきこと、浴場の備なきこと、各戶厠の完全ならざること、飲料水の不良なること等の如きは、殆んど一般の通弊にして、內地より渡來したる者に對し其の當初に於て最も不快を感ぜしむるものなり、然りと雖內地人移民は概して衞生思想發達せるが故に、其の移住の當初に於て先づ自家に於て設備し得べき事項は專ら之を整へ、又一般的設備に付ては其の部落內鮮人を糾合して衞生組合を組織し之が改善に意を用ふる等、啻に移民個々の衞生狀態を改善するのみならず地方に於ける朝鮮人の衞生思想向上に寄與する所甚大なり、而も醫師及產婆等は、朝鮮の現狀に於て之を僻陬の農漁村に開業者を望むが如きは至難の事なるを以て、移民中患者發生の場合は最寄都邑の開業醫の治療を受け、或は朝鮮醫生の診療を求むるを例とするも、輕症のものにありては各戶應急藥品を準備し一時の急に應ずるの用意を爲せり。

　移民の居住する家屋は移住當初は先づ朝鮮在來の溫突式建物を買入れ又は借入るゝ者多きも、年所を經るに從ひ多少餘財を積むに至らば內鮮折衷式建物を新築するもの少からず、要之移民の衞生狀態は四圍の環境に制せられ未だ完全なりと云ふを得ざるも、所謂內地人特有の潔癖性は彼等の間にも發露せられ、比較的良好に維持せられ、從て傳染病發生の際の如き部落內朝鮮人に率先して豫防制遏に努め公衆衞生上多大の貢獻を爲せり、幸に移民は其の業務の性質上概して身體强健なるが故に、土地に馴るゝに從ひ衞生設備の不備に付ては著しき不安を感ぜざるものゝ如し。（終）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

地主對小作關係の改善

京畿道高陽郡守　吳台煥

新政以來、諸般の事業は著々進歩發達しつゝあるが、殊に朝鮮に於いては、産業の主たるものは農業で、所謂農業國なのであるから、總督府も主力を農業方面に注いで居る。新政前に比べると、農業は著しい發達を遂げたが、併し未だ〳〵改良の餘地が澤山あるやうに思はれる。之れを改良するの方策如何の點になると、人に依り各其の見を異にするけれども、自分の見る所を以てすれば、農業の圓滿なる發達を企圖せんにはどうしても地主對小作人の問題がうまく解決されなくては駄目だと信ずるのである。既に京城には「小作人相助會」と云ふが組織され、其の他各道に「大地主會」或は「地主會」が澤山にあるやうてあるが、併しながら率直に言へば、具體的に充分其の效果を擧げて居るものは、餘り無いやうに思はれる。是等のものは、何れも小作制度の不備不合理の點を矯正することを目的とするには相違ないが、「小作人相助會」と、「大地主會」や「地主會」とは全然利害の反するもので、個々別異のものの如き感を一般に與へて居るやうてあるけれども、決してさう云ふ別異のものでなく、双方相倚り相助けて、共に農業の進歩發達に寄與す得べきものであり、又爾かあるべきものと思ふ、即ち此の種の團體のあるに依つて、地主の利益も、小作人の利益も相共に增進せらるゝのであつて、兩者決して枘鑿相容れざる底のものでは無いのである、一方は卽ち小作制度の惡弊を芟

除矯正し、一方は徹底的に農業の改良を期することになると思ふのである。

朝鮮に於ける小作制度の弊を極論する人が世間多く之を見受ける。素より私も或る程度までは同感であるけれども、併しながら單に其の非曲が地主に在りとする見解には與することが出來ないのであつて、其の原因を繹ねて見るに、私は第一歩に於いて小作人が惡いのである、小作人が目前の利益の爲めに、地主を誤まり、而も小作人自らは、今度は逆に地主より苦しめられる結果に到達して居ると言はねばならぬ。私は赤裸々に小作人が惡いと云ふのは、實際親しく地方の實情を見て、自ら深く之を體驗して居ればこそ、之れを率直に述べるのである。

私は曾て田舍で農業をやつたことがある。私は儒生の出であつて、鄉里で實業をやつた（自ら手を下したのではないが）經驗から言ふと、場所は江原道の華川郡であつたが、地主は大抵京城の者である。所で彼の地方は、土地の割合に小作人が多いものであるから、小作地は中々に得惜いと云ふ事情がある。二三斗落の小作をやらうとすると、あつちこつち運動をしなければ、容易には得られない。其の運動をやる爲めに若干の費用がかゝる、或る者は舍音に鷄を持つて行き、或る者は雉を持つて行き、或る者は蜂蜜を、或る者は敷物を、其の他色々な物を持つて行つて、只管其の御機嫌をとる。而かも土地管理者たる舍音より、斯くの如くにして容易に小作地を貰へるかと云ふに、決してさうではないのである。即ち舍音は小作人の此の心理を利用し惡用して、成るべく品物を多く持つて來た者に小作をさせやうとするので、小作人は遂に競爭的になつて、更に多くの物を持行き、又其の小作料にしても、甲が一石を納めると言へば、夫れを搜り知つた乙の小作人は、一石三斗を納めるからと言ひ、更に丙は一石五斗を納めるから、是非土地を貸して呉れと云ふ風

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て、唯吸々呼として小作地を得んことを運動すると云ふ陋態は、見るに忍びないものがある。斯くの如き狀態であるから、其の間の事情は殆ど知らずして、甚だしきは小作人が目前の利に眩惑して、舍音の歡心を買ふと云ふ結果は、毎年其の土地の小作人が代ると云ふ有樣で、小作料のせり上つた量は、中間の舍音が自分の收入にして了つて、單に毎年一定量を地主に納めると云ふことになる。而かも唯斯くの如くして終はるなら未だしも、斯う云ふ不自然なることをやる結果は、地主に一大不利が及んで來るのである。夫れは何であるかと云ふに、小作人は前述の如く無理算段して小作契約を舍音と結んだ爲めに、愈小作をすることになつてからは、契約だけ量を納めるのが苦しい所から、打租(ダソ)の時に唐箕で充分ゴミをはねのけると石數が少くなるので、ゴミを除去せず、唯石數の多きことを希つて盛にごまかす。何も知らぬ地主は舍音の送つて來る籾を其の儘受取る。而かもゴミを取つたのと取らぬとでは石減りの差が甚だしいものであつて、地主は表面百石なら百石を受取るが、正味は遙かに少ないものになつて了う。既に無理な契約を小作人自らがやつて居るので、迚も正直に其の履行が出來ぬので、勢ひ斯う云ふことになるのである。故に直接ではないが、小作人は間接に地主を惡るくして居る。事實そんな無理な契約をやるのであるから、小作人は苦しまぎれに更に又惡いことをするのである。夫れは何であるかと云ふに、小作人は秋の收穫後になると、マダル……何んと言ふか「場所」即ち稻の刈つたのを置く場所、其處で稻を盜むのである。大概朝未明に行つてコツソリ盜んで來る。併し之れはやかましい管理者になると夫れを知つて、小作人の行くよりも早く行つて見張りをやるので盜めない。开で又小作人は狡智を紋つて、稻の束を作る際に、目に見えぬ所を稻を半分位にへし折つて疊込んで了うから、束は如何にも大きく見えるけれども其の實分量は少ない。之れが地主の處に屆くが、何

時か之れが判明するので、地主は怒つて其翌年あたりは稻を縛るなと厳命して來る、小作人は奸策が思ふ通り行かぬけれども、何んとかしてごまかさなければ立行かんものだから、今度は田の中に窃かに瓮を入れて置いて、稻を刈る時にチョイ〳〵籾を入れる、之れも馬鹿にならぬ量である。

凡そ斯くの如き方法の下に地主に納まる所の籾は、其處に小作人に何等誠意の無く、其處に一脈の溫情の通ふものなく、唯虛僞あるのみである。であるから唯地主が量の多からんことを小作人に求めるのは、實質に於いて反つて減量の結果を招來し、地主は小作人に求むること多ければ多いだけ、地主の損失を招ぐと云ふ奇妙なる現象が現はれて居るのである。私は今大體論として小作人に其の非あることを直言したが、彼の「小作人相助會」の如きは、宜しく斯かる點に向つての小作人の省察を促すことを、私は希望して止まないが、時代思潮の影響もあらうが、唯徒らに小作の權利を主張し、地主の横暴を罵つて快とすると云ふやうな傾がないではないのは、痛嘆に堪へぬ所である。私は曾て「小作人相助會」の幹部の一人に「君等は唯地主が惡い〳〵と言ふことをやめよ、自ら省みて小作人の惡い所を矯正せよ」と言つたことがあるが、一部の者からは私の意見を以て地主に諛るものとて攻撃を受けたが、批評は其の人に任せるとしても、神の裁判では小作人が惡いぞと云ふ判決の下されることは疑ひのない處であらう。

私は大體論として小作人に其の非のあることを述べたが、素より地主中にも甚だ不心得の者のあることは否定すべからざる事實である、併しながら何んと言つても、地主は相當の財産を有し、從つて所謂恒心を有し得る地位に在るのである。朝鮮の俗語に

無い者の豊金持の人足にまける

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と云ふことがある。幾ら金持がけちだ、道理が解らないと云つても、相當の財產があり、地主の地位に在るのだから、惡いと云ふ程度、摸樣が小作人とは違ふ。小作人は先づ無資產であるから、よくしやうと思つても出來はしない、金持が人足をしても誰も使はない、矢張其處に分界があり、程度がある。私は小作人に求むる所あると共に、地主に求むる所も甚だ多いのである。世間一部の人が、私を以て唯小作人を攻擊するを以て能事畢れりと爲すものの如く思惟し、批評するは甚だ當らない。之れを大局より見るに、今は地主は小作人を、小作人は地主を、各誹謗し攻擊する時代ではない。相對關係に於いて、共に協調を全うして行かねばならぬと思ふのである。「小作相助會」の如きが、第一番に小作制度の改正を標榜して居るとか云ふことであるが、私は退いて前述小作人の弊を自覺し、先づ內より改善の方策を講ずるの賢なるに如かざることを感ずる。

　私は深く思ふ所ありて、高陽郡大地主會なるものを組織し、去年も其の會合を催したのであるが、其の趣旨は、各官廳が、諸般產業上の獎勵に努力して居るけれども、其の結果を充分に收めることの出來ぬのは、一體誰に罪があるか、官廳と人民との間に、郡が立つて色々斡旋をして居るけれども、其の徹底しないのは人民が其の趣旨を解して實行をしないからである。併しながら熟ら考へて見るのに、農事上の改良などは、官廳自ら之れを爲せよ、彼れを爲せよと言ふよりは、寧ろ小作人に對しては、地主が言ふほうがきゝめがあるので、どうしても友の指導と相俟つて、地主會が目的を小作人の利益の上に置いて努力する必要があると云ふ見解から、地主會を組織したのである。之れが組織の第一の趣旨である。

　第二の目的は、地主會の直接の利益を擁護するが爲めに拵えたのではない。素より小作人を虐める爲めて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は毫頭ない。結局は地主の利益になるけれども、先づ第一に小作人を愛護することを考へねばならぬ。小作人は物質的に貧弱である、地主は能く小作人を可愛がつたならば、小作人は其の土地を愛護することになる一體人間は感情の動物であるから、愛さるれば愛すのである。一たび地主の德に感じた小作人は、どうして小作量を誤魔化すことが出來やう、どうして田の中に瓮などを入れることが出來やう、彼は能く肥料もやるてあらう、除草もするであらう、隨て赤米や稗はなくなり、收穫は増すであらう。小作人の利益は地主の利益となり、其處に渾然一體親みの關係を生ずるに至る。官の色々な施設は、そろ〳〵と實效を擧げて行くことが出來るのである。此の前私は出張の途次、慶尙北道の村井農場を親しく視察して、其の外形も實質も中々うまく行つてをるのに感じたのである。彼處には內地人農民が三百人許りと、朝鮮人農民が千二百人許り居るが、子弟教育の爲めには或は小學校を設けるとか、其の他萬般のこと能く行屆いて、小作人が安心して仕事が出來、自然農場の爲めに懸命の努力をすると云ふことになる。彼處は內地人農場として、其の設備が第一とは言はれないが、其の內容は餘程立派に出來て居ることを見て、私は非常に愉快に思つたのである。

私は地主、小作人の關係に於いて、何よりも望ましいことは、兩者の間に眞の親子の關係が生ずることである、斯く言へば或は夫れは單なる理想論であつて、兩者の關係の根本はそう云ふ精神的結合に依つて成ることは、到底望み得べきでないと言ふ人があるかも知れぬが、又現今世は徒らに物質に走つて居るから、實際問題としてさう云ふ關係を生ぜしめることの至難であるは、私と雖之れを知つて居るのであるが、併しながら、私共が唯現實に許り立脚して、理想を忘れ眞理を透見することがなかつたならば、世は末である。現實は現實とし、より高き所に之れを導いて行かんとするのが、我々の國家社會に荷ふ責任であると思ふのであ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る。

大地主會は右の目的の下に組織したのであるが、其の出發點は精神的であるが、其の仕事は更に色々物質的方面にも現はれて來るのである。卽ち原因が結果となつて、地主が小作人を愛護せば、小作人は益々農事に勵むてあらうし、斯くて或は模範農民として地主會より推薦して、官廳より表彰をして貰ふとか、其の他色々小作人を物質的又は精神的に向上せしめることが出來るてあらう。若し今日の儘て地主對小作の問題が推移したならば、思想は惡化し、必ずや大いに憂ふべき結果を招來するてあらうと思ふのである。我々の組織したる大地主會にして、幸ひに今述ぶる如き方面に充分の效果を現はし得たならば、近代喧しく唱へらるゝ文化生活の內容が、農村に充實されるのではあるまいか。

地主會と小作會の如きものを對立せしめるのは、朝鮮の現狀から見て注意すべきことてあると、我々に忠言して吳れる人もあるが、夫れは皮相の見解であつて、兩者決して相對して爭ふべきものではない、もと〳〵地主と小作人とを各別個の位地に立たしめ、利害相反するものの如くに取扱ふのは、根本に於いて誤りてあつて、兩者は車の兩輪の如きもので、其の一つ計りで立つて行けるものではなく、相提携しなければならぬ性質のものてある。故に小作人相助會に對して大地主會が出來たとて、決して爭の端を發せしむるものてなく、却て相助會の如きものは、地主會のあるありて其の目的（正しき目的）が達成せらるべきものてある。

本郡には二十町步以上の土地を所有する大地主が凡そ八十名あるが、之れを召集して農事改良に付いて意見の交換を爲した、其の時勸業事項を印刷したものを渡し、郡は今後此の方針で農事を進めて行きたいと思

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふが、諸君には小作人を指導するの上に如何なる方法があるか、一つきかして貰ひたいと言ふたが、別に發言する人がなかつた、幵て諸君が郡の此の方針に賛成のやうであるから、之れから一意此の方法でやつて行きたい、諸君はどうか其の小作人に之れを徹底せしめて貰いたい、そして其の結果を秋の收穫時に徵して見たい。各面に農業技手を巡回さす、其の時は部落の區長戸長と云ふやうな人と一緒に巡回する、懶けた者の結果が直ぐ判るのであるから夫れを報告さす。そうすれば誰の小作人か判るので、地主は懲罰的に其の小作權を取上げる位のことはやつて貰ひたいと言つて、地主が一齊に之れを承諾したので、之を道に報告した所、當時の工藤知事は、夫れは趣旨は宜しいが、小作人が反感を有つては大變だからと大層心配され、又東亞日報などは、高陽郡守は大地主會を組織せしめて小作人を虐めるのであるなどと、無稽な記事を書立てたので、社長に嚴談して其の曲筆に對して抗議を申込んだのであるが、私は場合に依れば嚴乎犯すべからざる威嚴を示すと云ふことが、行政の上にも必要なことと信じて居るのである。

凡そ如何なる善政でも、其の方法の巧拙に依て結果に相違を來たすものであるが、本郡の此の方法も一部世間の誤解を招いだ感があつたので、更に小作人に對して如上の方法が、一に小作人の利益の爲めにすることであることを徹底せしむることの必要を感じ、私自身各面に就いて、小作人の生活の向上、精神的安定の必要を力說して廻はつたのであるが、小作人は能く私の意中を察して呉れて、其の地主に對し、其の社會に對する自己の努むべき點果して何れに在りやと云ふことを深く自覺して呉れたやうであつて、小作人は大地主會の設立趣旨を充分に諒得し、今までとは全く違つた心持て農事に從事する者が、漸次多きを加へつゝあるのを見て、私は衷心唯感激の情に溢れるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

咸北水産の現勢

咸鏡北道知事　中野太三郎

本道の産業中、最も重要視すべき水産業の一班に付いて、其の概要を述べて見たいと思ふ。

一、沿岸の地勢　本道の沿岸は北豆滿江より西南に走り、其の延長は二百七十餘里に達して、其間大小港灣三十有餘と、重要河川湖沼十有七を容れ、懸崖は直ちに海に迫つて、崖下十數尋の水深を有するあり、或は砂濱連亙して海底の勾配が緩なる等、相交互して地勢を形成して居り、沖合に卵島、洋島の如き島嶼が孤立し、實に天惠の好漁場を包藏して居る。

二、潮流　沿岸の狀勢は概ね斯くの如くてあつて、本道は朝鮮半島の最北端に位置して居るけれども、寒暖兩流適度に其の岸を洗つて、即ち四月下旬より十一月中旬迄は暖流南より北に流れ、十一月下

旬より翌年四月上旬迄は寒流北より南に流れるから、隨つて寒暖兩性の漁類を誘致し、而かも沖合の深所には、四季絶えず寒流性漁族が棲息して居る。

三、海底の模樣　海底は概ね砂泥にして、海岸線延長二百七十餘里中、鏡城郡漁大津以南、殊に明川郡舞永端に至る約十哩の間は、斷崖絶壁海に接し、百尋線以内の區域は從て狹小てあるが、南進するに從ひ漸次擴大し、又漁大津以北に在りては白砂連亘の地が多いから、海底の勾配緩にして、百尋線以内の區域又狹くないのてある。而して大體に於て淸津以南の海底は砂質て、夫れ以北は泥底てある。

四、海岸の交通狀況　海岸に沿ひ貫通せる一等道路既に完成し、慶興郡雄基より鏡城郡漁大津に至る間、及び明川郡舞水端附近より咸鏡南道界に至る區間の道路は、就中海岸に接近し、路面概ね平坦、車馬の交通は便利てあるが、鏡城郡漁大津より、明川郡の舞水端に至る間は山岳起伏し、人馬の通行は困難てある。そして豆滿江口西水羅から雄基に至る海岸道路、或は梨津、連津、龍渚、獨津、漁大津、泗浦等の物資集散地より一等道路に通ずる道路は、概して平坦にして、淸會線或は雄基琿春間の道路は、支那間島との取引上有力なるものであつて、殊に沿岸樞要地には汽船の寄港するものあり、交通運輸上には大した不便は感じない。

五、漁業の狀況　本道沿岸は寒暖兩性漁族に富み、且つ定置運用兩漁具の使用に適せるを以て、漁業著しく進歩し、明治四十四年日韓併合當時に於ては、漁船數五百四十隻に過ぎなかつたものが、大正九年末には一千三百五十一隻に上り、又漁獲高十四萬圓てあつたものが百九十二萬一千餘圓、卽ち約十三倍したのを見ても其の一斑を窺ふに難くないてあらう。現在免許漁業場の數は大小併せて四百五十六、漁業許可證を發給したもの二百九件、又屆出鑑札を給したる數四百六十七件て、重なる漁業は鯖、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鰤、鰈、大敷網、明太魚、鰊角網、鮭、巾着網、地曳縄、鯖流網、鰆、鯖延縄、鯱、蟹刺網、其の他捕介採藻等であつて、大正九年の漁獲高は七百五十萬二千七百八十九貫、其の價格百九十二萬一千六百七十圓である。

六、水產物製造の狀況　本道は人口比較的稀薄で、内地人の居住が多くない關係上、道内に於ける鮮魚の消費は清津、羅南、城津、會寧、雄基、明川、吉州等の内地人集團地に於て消費せられるに過ぎない。故に漁獲物の大部分は鹽藏乾製となし、或は鑵詰、節類に加工し、大半は内地に移出するのが普通である。近時對内地の運輸機關漸く完備するに至つて、斯業益々盛況を呈し來り、明治四十四年の生產高五萬五千圓に過ぎなかつたが、大正九年には百五十九萬二千餘圓を算し、卽ち僅かに九年間に約二十九倍の增加を來した。殊に本道は夏期製造物の貯藏に適し、又支那に接近して居るから、販路擴張の上に極めて好都合である。

七、水產物輸移出の狀況本道に於ける漁獲物並に製造物の中で、生鮮の儘管外に輸移出するものは、主として鏡城郡漁大津以南の沿海に於て大敷網類の漁獲に係る鯖、鰆、鰤、目近鰹の如き魚類であつて、是等漁獲者が内地若くは釜山方面の在住者である關係から、其の漁獲物は一切地捌をすることはなく、自己の運搬を以て直接内地、關門、元山、釜山方面へ搬出するのが普通であつて、道内を通じ一部は近時浦鹽、或は對岸北陸地方へ輸出するに至り、又清津より鐵路に依り會寧を經由して間島地方へ輸出するものもあるけれども、其の量は孰れも未だ多くない。而して製造加工品の輸移出には、仕向地の内鮮別を問はず、清津雄基を中心として汽船便に依つて運送するものが大部分を占め、一部は清會線、或は雄基より支那間島に輸出してる。(完)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

郵便貯金と民衆經濟

朝鮮總督府遞信局監理課長　近藤確郎

一　朝鮮郵便貯金の現況

イ　最近十年間の貯金成績

朝鮮の郵便貯金は、漸次穩健なる發達を遂げ來つて、本年六月末日現在の貯金高は將に二千百萬圓を突破するの盛況を呈して居る。而して昨秋、中央政府並に朝鮮總督府當局が、物價の調節、消費の節約を提唱されたことは、特に最近に於ける郵便貯金の健實なる發達を見るに至つた原因であらうと考へる。元來民衆の貯金思想は、時代思潮に主もに支配されると云ふことは、勿論であるが、夫れと共に其の當時に於ける種々の社會的事情の影響を受けることは著しいものである。又一面には政府當局の奬勵上に於ける施設なり、努力なりが大いに與つて力のあることは、疑の無い所であると思ふ。併しながら郵便貯金の消長と云ふものは要するに時の一般經濟界と密接なる因果連絡を有することは言ふまでもないことであるので玆に、郵便貯金と、民衆經濟との關係に付いて一應の考察を試みたいと思ふ。

ロ　預入金額に依る貯金の考察

朝鮮の郵便貯金に付て最近十ヶ年間に於ける進步發展の跡を繹ねて見ると、實に在表の如く、寔に健實性を帶びた成績を見出すことが出來るのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

郵便貯金各年度末現在高 △ハ減

年次	内地人 人員	増減歩合	金額	増減歩合	朝鮮人 人員	増減歩合	金額	増減歩合	合計 人員	増減歩合	金額	増減歩合
	人	割	圓	割	人	割	圓	割	人	割	圓	割
大正二年度	一六〇、五三三	一・一八	四、六五四、五五五・三〇二	〇・七〇	四八〇、七九八	六・五五	一、〇一七、七〇三・三四七	五・六七	六四一、三三七	一・二〇	五、六九二、〇五八・六四九	一・二〇
大正三年度	一五三、〇七四	〇・三五	五、三三七、九三五・九〇五	一・一八	五四八、〇九〇	一・四〇	一、一三一、六八四・三三三	一・一三	七五〇、一六七	一・一七	六、三五九、六三〇・三三八	一・一七
大正四年度	三三一、三三四	三・八六	六、五七四、五八三・八三三	三・五八	六四九、五三八	一・八五	一、四七〇、六八二・六三五	三・〇〇	八七〇、七五一	二・六五	八、〇四五、二六四・九〇七	二・六五
大正五年度	三四五、〇九七	〇・九四	八、三九四、六二四・六九四	二・六三	八三七、三一五	二・七四	一、八九三、八〇〇・三四〇	二・八八	一、〇六九、一三三	二・六六	一〇、一八八、四一四・九三四	二・六六
大正六年度	三五五、四五八	〇・三五	九、八三七、一三三・四五一	一・八五	九九八、〇四三	三・〇七	二、一七六、一三五・一七五	一・四九	一、三五五、五〇一	一・七六	一三、〇〇五、二五五・六二四	一・七八
大正七年度	三七一、八〇七	〇・六四	一一、七九一、九三五・〇六五	二・〇〇	一、一一〇、五七一	一・一四	二、四七〇、四五三・九二三	一・八一	一、四八三、五七八	一・九七	一四、三六三、三五七・九八五	一・九七
大正八年度	三六七、三三一	〇・五七	一三、四三七、八九七・一五三	〇・五四	一、一一九、〇三八	〇・〇八	二、四九八、〇九三・〇〇六	△〇・二九	一、四〇六、三五九	〇・三三	一四、九三五、九九〇・二五八	〇・五四
大正九年度	三〇五、九六八	〇・六五	一四、七六七、四〇五・一七八	一・八八	一、〇七七、一六〇	△〇・三七	二、五三六、一六五・七五三	△〇・六九	一、三八五、〇〇八	△〇・一八	一七、〇九五、五七〇・九一〇	一・四五
大正十年度	三三一、八四一	〇・八五	一六、〇六九、七六七・八三〇	〇・八八	一、〇八四、四八四	〇・〇七	二、六五六、五七〇・一六六	一・四三	一、四一六、三三五	〇・三四	一八、七三六、三五八・〇〇八	〇・九六
大正十一年度	三九三、三六六	一・八五	一七、一二一、〇五五・五六九	〇・六五	一、一九八、〇七五	一・〇五	三、七六四、〇五三・五六八	〇・四〇	一、五九〇、四七一	一・三五	一九、八七五、〇八七・九三七	〇・六一

更に之れを預入者の金高別に調査して見るのに

預入者百分比例

五十錢未滿預入者	四八%六八
五十錢以上三圓未滿預入者	三二%一八
三圓以上五圓未滿預入者	四%八八
五圓以上十圓未滿預入者	四%三七
十圓以上五十圓未滿預入者	六%五三
五十圓以上五百圓未滿預入者	三%〇四
五百圓以上預入者	〇%三二

即ち五十錢未滿の預入者が全體の四割九分、約半數に近い部分を占め、夫れに亞いては五十錢以上三圓未滿が全體の三割二分、全體の約三分の一の數を占め、殘りの僅か三割足らずが三圓以上の預入者と云ふ數を示して居るのである。此の金高の統計の上から見ても、朝鮮に於ける郵便貯金は、實に庶民金融機關と言ふべきか、或は民衆貯蓄機關と言ふべき地位を占めて居ると言ひ得るのである。今玆に最近内地の郵便貯金に付いて金高別に其の割合を取つて見

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ると五十錢以上二圓までの預入者が最も多く、全體の三割を占め、五十錢に滿たぬものは一割內外に過ぎないと云ふことが、統計の上に現はれて居るのであつて朝鮮とは少しく趣を異にして居るのである。之れは畢竟するに、內地と朝鮮とは富の程度に於いて相違があることを語るものであつて、此の程度の相違は、朝鮮の現狀に於いて實に已むを得ない次第てあるが、一般に朝鮮人經濟狀態が、內地人の夫れに比較して甚だ低位に在ると云ふ關係に基因するのは否定し能はざる處てある。

ハ、職業別に依る貯金の考察

然らば、郵便貯金の利用者は一體如何なる方面に、あるか、其の利用の狀態が果して郵便貯金制度其のものの本質に合致したる狀況に在るかと云ふことに付いて、更に少しく考慮を廻して見たいと思ふ、之れを見るの便法として、試みに職業別に依て、貯金預入者を選別けて、朝鮮と內地とを比較して見ると

預入者職業別百分比例

職業別	百人中 朝鮮人	百人中 內地人
農業者	六一	三五
商業者	八	一〇
工業者	二	四
其の他雜業者	二	三
被傭人	六	六
官吏軍人	九	九
學生	九	七
漁撈業船夫	一	二
無職業	一	五
社寺其の他團體	一	三
職業不詳	—	九

遉かに朝鮮は農業者が全人口の八割を占めるだけあつて、農業者の貯金預入者が、全體の六割を占める有樣て、之れに亞いて官吏軍人及び學生である。內地、朝鮮共に農業者が其の第一位を占め、又官吏軍人、被傭者の預入の割合が、何れも同樣であることとは、甚だ面白い現象であつて、是れ郵便貯金が大なる資本の運轉機關てなく、矢張零砕なる資金の貯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

蓄機關であることを明かに語つて居るものと言はなければならぬ。隨つて此の狀態から見るも郵便貯金に關する總ての施設は、此の點に立脚して行ふべきものであり、又此の點を重要視して凡ゆる企畫を爲すべきてあらうと思ふのである。

二　貯金事業創設の理由

郵郵貯金制度の沿革を繹ねて見るのに、我が國に於てこれを創設したのは明治八年であつて、當時民間貯蓄事業が未だ發達して居らず、又其の取扱方も圓滑を缺き、事業の基礎の如きも安全確實と言ひ得られない狀況にあつたのと、殊に貯蓄機關が多くは都市のみに偏在して居つて一般に普及して居なかつた爲めに、是等の凡ての缺點を補充して且つ專ら下層の細民をして零碎なる資金を貯蓄せしめ、由つて以て國民一般に勤儉貯蓄の美風を涵養することを主眼として、當時既に社會政策的目的を以てこれが實施せられたものであることは、其の當時に於ける事業の創始の狀況を見ると、明瞭にそれを語つて居るのである。郵便貯金制度の創設せらるゝに當つて、內務卿から太政官に伺ひ出た文書を見ると、其の冒頭に創設の理由が述べてある。

細民をして節儉の餘金を蓄積せしむるは、其の資產を保し、窮厄を讙し、且つ風俗を厚うするの一端にして、卽ち政務義務上の一部分と被存候間、英國政府「ポストオフイスセーブイングスバンク」の法に模擬し、別册貯金預規則相撰、右施行の事務は驛遞頭に任じて可爲掌と存候云々

卽ち當時我國の國情が泰西の文物輸入に急であつたことをこれに依つて察知することが出來ると共に、一面には、如何に庶民の金融機關たるべき貯蓄機關の完全なるものが存在して居なかつたかを知り得るてあらう。併しながら、其の時代に於ては未だ國民は郵便貯金の何物たるかを知らなかつた。仍て政府は屢〻諭告を發して貯金利用を勸誘した次第て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あつて、當時の狀況は時の前島驛遞權頭の發した諭告の一部を見るとよく判る。:其の諭告に曰く

凡そ窮巷陋衢に住する小民も皆萬物の靈として之れを貴む所以のものは、健康にして豫め疾病の患を防ぎ、壯時に方つて老後を慮り、能く其の生計を經營し、各獨立の權を保存するを以てなり。然るに下等一般の民人、朝に在て夕を謀らず、得れば卽ちこれを費し、甚しきは節儉蓄積を以て恥となすの風あるに到れり。故に一旦病に罹り、或は老て親族なければ妻子を餒し、其の身を凍し、自ら窮厄の極に陷り、遂に他人の累を爲す。實に嘆息の至りならずや。豈萬物の靈たるべけむや。因て今般小民の爲め貯金預局を設けられ。此民人をして能く節儉の風を興し、餘金あらばこれを貯蓄し、其他健時莊時に在て凍餒の難を防ぎ、兼て產業資本を堅うし、其獨立の生を畢へ、人の靈たる所以のものを大に滿足せしめむ爲め、老少男女何人に限らず金十錢以上は預け得べく、且其元利共增殖すべく、何時に於ても請求し得べく、最も自由にして安全なる規則方法を御制定、內務卿の保證を以て驛遞頭これを掌り、差向き明治八年五月一日より左に記す郵便役所に於て事務を開き、漸次京都大阪より各地に廣く施行すべし。請ふ區戶長、教員及び傭主たる者篤く此擧の盛意を體き能くこの規則を辨知し、小民生徒僕婢を教諭し、以て恒產あらしめ、以て風俗を厚うせむことを。

と言ふて居る。甚だ古い記錄を此處に掲げるやうではあるけれども、併し貯金制度なるものが如何にして生れたかを窺ふには、この諭告は明かに其の間の消息を語つて居る。又今日と雖政府が郵便貯金を經營する理由は昔も今も少しも變らぬからである。卽ち專ら重きを道德の見地に置き、細民の勤儉貯蓄を獎勵して、制度施設の趣旨徹底を期するといふのが、郵便貯金本來の根本の性質なのである。（未完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家族制度

東京帝國大學教授
法學博士　穗積重遠

第一、家族制度の基礎

先づ第一に家族制度は如何なる基礎の上に立つて居るかを申上げるのでありますが、家族制度に付ては色々の議論が今までありまして、今日我國の學者實際家の間には大體二説あると言つて宜しい。其一は多數の説て、家族制度は將來長く維持しなければならぬと云ふ説、今一つは家族制度は過去のものであつて、將來には必要のないものであると云ふ説、之は何れも理窟の付き得ることでありまして、其どちらが正しいかと云ふことは、將來我國の家族制度の運命の定まる問題でありますが、兩方の議論を段々伺つて見ると、甚だ僭越な申分ながら、私としては何だかまだ物足りない點があるやうに思はれるの

であります。家族制度を將來維持すべしとする議論の最も強い論據とする所は、我が國古來の制度であるから、卽ち我が國體の基礎は家族制度にあるから、之を維持すべきは當然であると云ふのである。成程他の諸國では我國のやうな家族制度の問題はないのに、我國では民法で儼然と之を認めて大變重きを置いて居ることであるから、過去の議論としては至極尤もの議論であると云はなければならぬのであります。併しながら將來の議論としてはそれだけでは充分説明にならぬやうな氣もする。成程今日まで我國が出來上るには、家族制度が土臺になつて居たてあらうが、段々時勢が變つて來ると共に、將來に於ては家族制度を賴りにせずしても、我國體には變りのないかも知れぬ。例へて云へば、家を建てるには足場が必要であるが、すつかり出來上つてしまへば、足場は却て邪魔にもなるかも知れない。故に昔からの慣習であると云ふことは、一面の説明にはなるけれども、徹底的の説明にはなり難い。併しながら又他方の議論は、家族制度が將來廢れる傾向があると云ふ點にのみ眼を著けて、何故さうなることが當然であるかと云ふ説明に乏しい。卽ち一方は昔からあるものだから必要であると云ひ、一方は昔のものだから必要がないと云ふのであるが、此二つの議論は、將來の議論としてはいづれもまだ本當の要點に觸れて居ないのではあるまいか。家族制度なるものが、人間に取つて必然のものであるか、否かと云ふ根本の點に、今一歩踏込んで考へて見なければ十分の説明にはならぬのである。古來我國に家族制度が盛であつたのが全然偶然のことであつたならば、將來に於て家族制度はなくても宜いかも知れない。併しながら家族制度に何か深い意味のあることならば、將來に於ても大に盛にして行かなければならぬであらう。そこで家族制度の基礎が問題になるのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

先づ結論から申しますと、家族制度にも色々の種類がありますが、兎に角一家一族の者が打寄つて生活をすると云ふことは、決して我國だけの問題ではない。人類一般の傾向であると思ふ。即ち家族制度の基礎は、人類其のもの丶性質に存するのである。人類は何等かの形に於て、家族的共同生活を營まなければならぬものである。これは人間其もの丶問題であるから、將來に於ても人間其のもの丶性質が變らぬ以上は、其形式や種類は別として。兎に角家族制度の必要は變らぬものであると云ふことに歸着するのであります。即ち家族制度を必要なりとする根本の基礎は、單純なる歴史論では物足りないから、人間の性質と云ふことから考へて見たい。然らば人間はどう云ふ性質を持つて居るかと云ふことは、色々の學問で研究するのであつて、玆で一言にして申上げることは甚だむづかしいのでありますが、ちよつと一言で説明の出來るやうな面白い言葉を、私は自分の專門の書物で見出したのであります。現在の獨逸の學者中の第一人者たる「ギールケ」(Gierke)と云ふ人は、殊に法人のことに關する議論で有名な人でありまして、種々の著書がある中で『獨逸國體法論』と云ふのが最も有名であります。なぜ此書物が價値があるかと云へば、それまでは人の團體がそれ自身一人の人なる如く、即ち法人と認められるのは、法律が人でないものを假りに人として取扱ふのであると云ふ、所謂法人擬制説が行はれて居つて、誰もそれを疑はなかつた。所が「ギールケ」が出て來て、それは根本から間違つて居る、法人なるものは決して假りのものではなくして實のものである。人間が團體として集つて仕事をする時には、それを組立て丶居る一人々々の個人の人格を超越した團體人格といふものが儼として實在するのであつて、それ故にこそ法律がそれを人と見るのであると論じた。而して其書物の第一頁は『人の人たる所以は人と人

との結合にあり』と云ふ一句で筆を起して居る。之は實に人生を道破した所の名言であつて、人間のすべての問題を解決する爲めの鍵である。殊に法律家が法律問題を解決するに付ての金科玉條たるべきものと考へて、私は自分の法律學を組立てるに付ては、常に此觀念を基礎に取つて居るのであります。然らばそれは一體どう云ふ意味であるかと云ふに、人間は一人々々て居るから偉いのではない、人間が萬物の靈長と云はれるのは、互に結合して團體的に生活する點にある、又昔から團體的の生活を續けて來たから、今日の如き優等な人類が出來上つたのであると云ふのであります。而して此「ギールケ」の言葉は決して空想的のものではなくして、社會學者等が段々研究した結果斯う云ふ結論が出るやうになつて來たから、そこに眼を着けて「ギールケ」が其言をなしたのである。御承知の通り第十八世紀末から第十九世紀の初めにかけての思想家は、一人々々の人間と云ふものに重きを置いたのであつて、それが當時に於ては其以前の考を打ち破つて、人類を一段の進歩に導いた卓見であつたが、併しそれが結局の眞理ではなかつたのであります、而して其當時の學者は、一人々々の人間が寄り合つて、國家なり社會なりを作ると考へたのであつて、其議論で最も有名なのは、即ち「ルッソー」の民約論であります。即ち國家は一人々々の人が約束して拵へたものであると云ふ議論て、それが大に人心を動かし、結局佛蘭西革命の源となつたのである、所が社會學者が段々研究して見ると、どうもさうでないらしい。人間が寄り合つて約束をして國家を作つたと云ふ實例は先づ無いと云つて宜い。どの國家も其成立の源を考へて見ると、人間が約束して拵へたものではなく、何時の間にか出來上つて居る。抑も人類がどうして出來上つたかと云ふことはむづかしい問題であるが、これは結局進化論で說明され得るのである。人間は初め

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

から人間ではなかつた、今日の禽獸と祖先を同じうするものである。而して、我々の祖先が其同胞たる禽獸と離れて、兩者の岐路が分れる頃には、後に人間となるべき動物はもはや社會生活をして居つたのであつて、其社會生活の御蔭で、人間としての素質が養はれたのである、斯ふ云ふことを段々社會學者や動物學者が證明して呉れるのであります。そこで其結果を纏めて見ると、結局人が社會を造るのではなくして、社會が人を造るのであると云ふことになる。即ち人間が萬物の靈長と云ふ立派なものになつたのは、我々の先祖が社會生活をして居つたからである、外の動物も社會生活はするのであるが、我々の先祖はそれ以上進歩したる社會生活をして居たのである、そこで他の動物との競爭に打勝つて人類と進化したのである、斯ふ云ふ風に動物學者社會學者は説明するのである。人が社會を造つたのではなくして、社會が人を造つたのであると云ふことは、數學的に考へると可笑しいやうであるけれども、事物の進歩して行く有様は、寧ろ全體から部分が分化すると考へる方が正しいやうてある。

之と丁度同じやうなことは、此頃の言語學者も云つて居る。私は言語學には頗る疎い者てありますが、言葉と云ふものは單語が元てあつて、それが幾つか集つて文章になると云ふことが當然のやうに考へて居つた。所が段々研究して見るとさうてはない、文章が先に出來て、それが發達した結果單語が出來たのてあると云ふことてあります。人間以外の動物にも言葉はあるので、猿の如きにも言葉はある。併しそれは一つ々々の言葉てなくて文章てある、腹が減つたと云ふことを云ひ現はすのに、今日の人間は「腹」と云ふ字と「減つた」と云ふ字を集めて「腹が減つた」と云ふのてあるが、猿のは唯「キャッキャッ」と云ふ連續音の文章て、腹が減つたと云ふ意味を現はすだけて、腹と云ふ語と「減つた」と云ふ語

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と別々にあるのではない、所がそれが段々發達して來ると、始めの「キャッ」と云ふのが腹と云ふ言葉に進化し、後の「キャッ」と云ふのが減つたと云ふ言葉になる、斯ふ云ふ風に説明されるやうになつたさうであります。それと同じやうな理窟で、社會が先づ出來て、其爲めに其中の分子が段々完全になつて今日の人間が出來た、而して又分子が完全になればなる程全體の團體生活が進み、全體の團體生活が進む程、分子が完全になると云ふ原因結果の關係で、遂に今日の人間が動物と懸け離れた萬物の靈長と云ふことになつた、從つて今の人間が出來上つた源は、我々の祖先が社會生活をして居たと云ふ所にあると云ふことになる。そこを「ギールケ」が捉へて『人の人たる所以は人と人との結合にあり』と云つたのであつて、其根本になる考は社會生活、即ち共同生活をするのが人類自然の性質であると云ふ所にあるのであります。此人類自然の性質は、昔からさうであつたし、今日もさうであり、又將來は益々さうでなければならぬと思ふのであります。例へば今日の問題となつて居る國際聯盟とは何であるかと云へば、諸國家が寄り合つて共同生活をしやうではないかと云ふのである。今迄は共同生活は國家の範圍内でなくては行はれなかつたのが、今度は數國家が寄つて共同生活をして、更に進んでは人類全體が共同生活をしやうと云ふ風に、共同生活の範圍が段々擴まつて行くのであつて、それと同時に其範圍内の個々の小共同生活が益々盛になるのである。人類全體の共同生活、國家間の共同生活と云ふやうなことは、今日の國家觀念と矛盾するやうに考へる人もあるけれども、それは誤解であつて、全體の共同生活の範圍が廣くなり益々盛になるには、其全體を形作つて居る一つ々々の分子が益々しつかりしなければならぬのであつて、國際聯盟が完全になるが爲には、各國が一つ々々の國として立派な共同生活をする完全な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

團結でなければならぬのであります。即ち人類の共同生活には大小色々の範圍があり、又其組合せにも様々あつて、決して一個であり一様でなければならぬと云ふとはない。國家だけが人類の共同生活であると考へる國家主義も誤りなれば、人類全體の共同生活だけでなくてはならぬと考へる世界主義も誤りである。人類の共同生活なることを考へない個人主義の誤りなることは云ふまでもない。詰り共同生活の大きいのや小さいのが色々に組合はされて、益々複雑になるのが人類の進歩であります。(以下刪出)

青年團に就て

財團法人協調會理事　田澤義鋪

青年團に就て御話をすることになつて居りますが、青年團に就ては度々講習會でも御話を致しますし又近縣などには土曜、日曜に於きまして、罷出まして度々御話をしたことがありますので、或は私の愚見を御聴き下すつて居る方も可なりあると思ひます、別に變つた御話もございませぬので、又例の通りの話かといふやうな御考もあるかも知れませぬが其點は前以て御諒承を願つて置きたいと思ひます。

青年團は私考へますのに、明治、大正に亘りまして、いろ〳〵の事業が行はれました中に就ても最も國家の實際に貢獻したるものゝ一つだと私思ふのであります。明治初年から小學教育が盛に行はれて參りましたけれども、此小學校を了へた者が、高等の學校に參ります者は暫く措きまして、高等小學校なり、尋常小學校なりを了へて、自分の家庭に在つて地方に於て生活致して居るといふ人々は、多く同時

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に教養のない、修養の無い青年の群に投ずることを餘儀なくされて、さうして何等の希望もなく、何等の信念も無く、唯だ醉生夢死或は酒に耽り女に戯れ、極めて卑俗な生活を送ることを餘儀なくされて居つたのであります。斯くの如く小學教育は、此普通青年の低級であるが爲に、餘程其の效果を減殺されて居つた、斯ういふ形勢でありましたから、明治二十年前後から內外相應じて、さうして青年團運動といふものが勃然として起つて來ました、いろ〳〵の沿革を經まして、此青年團といふものが上下共に重大なる問題であるといふことを諒解されて、さうして今日見るが如き秩序正しい、而かも一種の信念を有つて社會に處するといふ腹の出來た青年が地方に滿溢れて來たといふことは、明治大正の間にいろ〳〵の事業が行はれて居りますけれども、其中でも最も社會の進運に貢獻した事業の一つであらうと、私考へるのであります。是は全く地方の當局に御出になる皆樣の御盡力と思つて、私共青年團關係者は常々感謝の念に堪へない譯であります。

斯の如く青年團は非常の功績をいろ〳〵に擧げて來ましたけれども時としては其方向がいろ〳〵に迷つて、或は右に傾き或は左に傾き、いろ〳〵針路に迷つた事もあるやうに思ふ。又政府の方針と雖も絶對に變じなかつたとは言へないと私考へます。時としては青年團に對する態度が變つたこともあると思ひます。斯ういう點を將來と雖も大に考へて青年團の指導をして貰はなければならぬかと思ふのであります。

然らば青年團に對する一定したる方針といふものは何に依つて發見するかといふことになりますと、どうしても私は過去に於ける日本の青年團の歷史を顧る必要がありはしまいか、沿革を研究する必要がありはしないかと思ふのであります。日本の青年團の歷史沿革は古いことは判かりませぬが、餘程古いものであつたかのやうに考へられるのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

聖徳太子が大和の青年を率ゐて立たれたといふことは歴史上明な事實であります、其青年が青年團といふ組織になつて居つたかどうか分りませぬが、降つて鎌倉時代になるといふと、此の青年が團體として活動して居つたといふことは文献上にも明なことであります、鎌倉時代には既に社會的に認められたといふことは文献の上にも見えて居るのでありまして餘程古くから行はれて居つたやうに思ふ。それから段々推し移りまして、南北朝、室町、或は戰國時代といふやうな兵馬倥偬の間に於きましては青年團といふやうな文化的事業は恐らく其事績を擧げることが出來なかつた事であらうと思ひます。其後徳川の太平になりまして、五人組とか地方の村役人の制度であるとかいふやうな地方制度と共に、青年團といふ文化的事業が大に發達して來たのであります。天領と云はず各藩の藩領と云はず青年團といふものが無い所はない。津々浦々まで普及致して居つた若連中若衆組の名稱の下に全部庶民階級に行はれて居つたのであります。此徳川時代の青年團はどういふ事業を主としてやつて居つたかといふと、二つの方面があるやうに思ひます。

第一は社交、娯樂の方面、當時の年中行事と相應じて地方生活を青年團が如何に豐富にして居つたかといふことは、顯著なる事實であります、神社の祭典を中心と致して、五節句、豐年祝といふやうな地方の年中行事に相應じて青年團が活動して、日本の地方生活を趣味あらしめ、裕かならしめて居つたといふことは、今日想像以上であると思ふ。人生を呪ひ社會を思ふといふやうな考でなくして、のんびりとして人生を愉快に樂しむといふ積極的な光明的な青年團の影響が、地方生活を趣味あらしむるに與つて力あるものと思ひます。

もう一つの方面は公共事業に關係がありますが、主として警備の事業水防であるとか、火防であると

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

か或は泥棒を防ぐとか、さういふやうな町村警備の事業是は多く青年團の事業となつて居つたやうに思ひます。今日でも尙ほ消防組などといふものは青年團と區別の出來ないといふやうな地方もありますが此等は德川時代の舊習が其の儘遺つて居るものと見るより外はないのであります。此式の青年團は一面には斯の如き事業をやつて居り、一面には非常に結束が固い。部屋と稱する倶樂部を有つて居つて、其所に出入して居つて、長幼の間極めて秩序が正しい、這入る時は酒を一杯買ふといふやうな不都合の風習もありましたけれども、それにしても兎も角も長者と幼者の間に秩序正しい結束が行はれて居つた。青年團から除名されるといふことは生命を取られるといふやうな、さういふ威力のある結束を有つて居つたのであります。今日から見ると風紀の點に於て無論如何はしいことはありましたが、是は青年團の罪といふよりも當時の社會道德の標準が低かつた爲である、社會全體が低級だつたのであります。今日の社會道德の標準に比べて、當時の青年團の風紀が紊れて居つたといふことを攻擊するのは穩當ではないと思ふのであります。

　斯の如き庶民階級の青年團に對して武士階級にも青年團があつたのであります。是は庶民階級の青年團の如く廣く一般に普及致しては居らなかつた、僅に二三の藩に存在して居つた位で一般に普及しては居なかつたのでありますが、其質から云ふと非常に優秀の成績を擧げて居つたのであります。鹿兒島の青年團の方限の如き、實に今日から考へて見ても、採つて以て模範とすべきものが非常に多いのであります。既に御承知のことであらうと思ひますが、方限りの青年團の遣方を簡單に二三申しますと、十二月十四日の四十七士の討入りの晩に皆倶樂部に集つて義士銘々傳の輪讀をやる、さうして夜の明け方に粥を啜つて歸るといふやうなこともやつて居ります

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

し、それから島津義弘が關ヶ原の戰に大勢利あらずといふ時に、敵に背を見せて退却するのは武門の名折であるとして敵の翼背を突破して身を以て京都の方に引揚げた、其日を記念する爲に、妙恩寺といふ寺まで徹夜で行軍する、甲冑を著ながら義久の墓前に詣でゝ、關ヶ原の御無念を何時かは晴らしますぞと云ふ强い敵愾心を養成する樣な事もやつて居る。獨逸のやつて居るやうな敵愾心の養成は鹿兒島の青年團の綱領の一となつて居る。或は曾我兄弟の討入りの記念日になりますと、青年團が皆集つて、さうして曾我兄弟が笠を焚いて松明としたといふ故事に習ひまして、鹿兒島市中の古笠を貰ひ集めて、さうして海岸に行き、河原に出て其笠を焚いて、炎々たる焔を揚げて曾我兄弟の靈を慰する、さうして兄弟互に相助け合ふ悌の道を諄々と說いたといふやうなことが今日迄も遺つて居るのであります。又其の他には三月三日の雛祭に至りましては、女の遊日であるといふやうな關係から、鹿兒島の市中の青年は悉く朝未明に起きまして、山野を跋渉して夜遲くならなければ歸つて來ない、今日で言へば婦人デーであつて、鹿兒島の男子の青年は一名も見えないといふ狀態であつた、是はどういふ譯かといふと、女の遊びを男が見て居つては士氣に關係するといふ關係もありませうが、鹿兒島は尙武の所でありますから、男が居つては女が遊べないといふので同情といふこともありませうし、旁々總て未明から夜遲く迄山野を跋渉して女に家を明け渡すやうなやり方もやつて居ります。

斯ういふ風にいろ〳〵擧げて參りますと、鹿兒島の青年團のやり方は今日から考へて見ても非常に參考とすべきものがある。或は十里の道を鎧を著ながら徹夜で往復するといふやうなことをやつて居る。唯今日露戰爭の記念日の三月八日にどんな記念日の送り方をして居るかといふことを考へて見ますと、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今日の青年團が武士階級の青年團に比して如何に遜色があるかといふとが解かると思ひます。折詰めを開いて酒に醉拂つて日露戰爭の記念日を送つて居るといふやうな生溫いやり方が、如何に劣つて居るかといふことを考へて妙に思ふのであります。さういふことは暫く措きまして、我國の青年團は兎に角是だけの立派な歴史を有して居る。明治維新後は庶民もなく、武士もなく、悉く一の階級になつたのでありますから、明治維新後の青年團、は宜しく維新以前の庶民階級の青年團と、武士階級の青年團との特色を合せて組織しなければならぬと思ふのであります。然るに明治以後の青年團は明治當初の百事更改の時に際會したる結果斯の如き事務なり、事業に手を著ける人が無かつた爲に、餘程墮落して、德川時代の青年團にも及ばない位の青年團が出來たのであります。隨て青年の風習が衰へて、一度青年の群に這入れば元の木阿彌、餘り教養の無い低級の者と同一になつて仕舞ふといふ状況を來たした、そこで二十年後になつて此青年團といふものが目醒めて、青年團の復興が行はれたといふことになつて居る。（未完）

新刊紹介

健康保險法釋義　清水玄著

地方行政叢書の第四巻として發行せられたるものにして、其内容は最近發布せられ近く實施せられんとする健康保險法の逐條的解説なり、社會保險制度の權輿として此法令の發布を見る、而も我國に於ける社會保險の解説に關する著書の存するものなく、本著者淸水君は社會局事務官として、此の制度の研究立案に從事せられ、嚢には歐米を遍歷し學理と運用との委曲を攻究せられ、今平明簡潔の筆を揮はる、蓋し其内容推して知るべきのみ、

（定價一圓十錢本會發行）

公民物語　我が村　森恒太郎著

畏くも攝政宮殿下の御前に御下問の光榮に浴したる愛媛縣溫泉郡余土村は全國唯一の優良模範村であることは言までもない、而し此の余土村が今日に至るまでには涙の物語がある、著者は其物語のヒロキンとして、一巻の本書は讀む人をして感激の涙に堪えざらしむ、著者は年若うして兩眼の明を失し、失望と落膽は、一粒の飯に乾坤一擲迷夢を破つて燃る聖愛の熱情と、深遠なる農村經營の理想となつて湧き上つた、この現實の大地に血と肉との文字を以て書き出された人生行路は今此の書に現はれて、吾等の前に示された、見よ諸士の明らかな目を以て見よ、而して盲せる心の目を啓けよ

（定價二圓發行所東京小石川雜司ヶ谷青潮社）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自治の開發訓練

○地方事務の要綱（二）

五、執務者の心得

一第一には執務者が責任を重んずること、即ち自己の起案したる事柄に就ては、充分上官に説明して之を貫徹するの覺悟を要す。第二には事務の簡捷を期すると同時に、親切を以て其事に膺ること必要なり、第三には事務の處分は適切なることとなり。法令なき場合には先例を追つて處分すること普通なるも、先例にも往々惡例あり。先例を重んずると同時に、一面先例を研究すること肝要なり。

二執務時間の確守は當然の事柄にして。更めて言ふの必要なきも、宮崎縣の延岡町長が執務時間中は一切公務以外の面會を謝絕し、又面會時間は可成短縮し、面會簿を作りて面會人の氏名と其要領とを書留め、後日の參考となすが如きは倣ふべきの事なりとす。

三事務の簡捷、事務の整理は一時的のものにあらず、恆久的のものなり、恰も汚物掃除の如く絕えず掃除すること肝要なり、然らずんば前日迄は必要なりし書類も、翌日は不用に歸する場合あり。

四町村長が寄り合ふて研究し置きたる事務の打合をなすは、事務の改善に必要なると同時に、一面事務を執る人の訓練となるべし。

五事務の局に當る者、事務上の障害とならざる限りは、成るへく廣く他地方を視察せしむること必要なり。秋田縣町村吏員が赤十字社總會の機を利用し、四百有餘人一團となりて各所を視察せるが如き適應の方法なり。

六廣き意味に於ける事務講習は、往々弊を伴ひ易きが故に、之を警戒すること必要なるも、直接執務に關係ある事項を研究講習するは、執務者の訓練上缺くべからざるの事柄なり。

七後繼者を訓練すること、即ち事務見習を養成し、進んでは收入役助役、町村長の後任者を讓め養成すること必要なり。模範と稱せらるゝ町村も、町村長更迭すれば忽ち事務亂れ、事業衰ふるが如き一大痛恨事なりとす。

八福島縣に於て開始せる事務の講習は、其主とする所は監督にある

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も、一面には事務員訓練の方法たり。即ち内務部長は部内各課の適任者を伴ふて、郡役所に就き、勸業、土木、教育、及地方監督等各方面より事務の視察を遂げ、又當局の郡長郡書記と意見を交換し、其の結果を講評して、是なるものは之を賞し、非なるものは之を誡む、是れ事務の整理を圖り、事務の監督を有効ならしむる上に於て適當なるのみならず、事務の訓練上勘からざる利益あり。以上の事柄は、實務に從事するもの丶常に考慮し研究する所にして、敢て珍しき事例なきも、總て言ふに易くして行ふに難きこと多し。要するに常套語として之を棄てず、充分に其實行方法如何を熟慮せられんことを望む。尙ほ積極的事業の基は地方事務の整理にして、地方事務の整理は事業經營の根底をなすことなり。地方事務の整理を爲さずして、徒に積極的事業の經營に從事するは、恰も砂上に樓閣を築けると同一にして、必ず崩壞を來すの結果を免れず、然るに地方の風潮は、積極的の華麗なる仕事に汲々して、地味にして内輪なる事務の整理は、往々後廻しとなるの傾あり、其危險なることは既に業に世人の熟知する所にして、今日時勢の進運に伴ひ、我國の發展を圖るが爲めに、自治團體の積極的經營を旺ならしむるに方り、特に此點に注意を要す。

六、事務整理の實例

一受付にて受付たる文書は郡長に於て之を檢閲し、同時に大體に於て處分方法を授く。例せば別に照會を要せず郡衙の材料にて取調へ得るものは「内部處理」の印を押し、示達を出すも各町村に發するに及ばざる場合は「部分關係」の印を押し、出張して取調又は處分を要するものは「出張處理」の印を押し、注意を要するものに就ては、朱書を以て文書欄外に其處分の要旨を示す。回答の迅速を期する爲めには、往復用紙の調製、經由文書交付簿、指令命令の類にて寫を取らず、本簿に發送年月日文書の要旨を記し、會議案に代ふ。會議用紙は成るべく半切を用ゆ。

一和歌山縣西牟婁郡は町村數八十三、小學校七十八の多きに及ぶ爲め、訓令、告示、通牒、照會等は郡報を發して之に登載す。一週間に一回の發行なり。

一滋賀縣愛知郡にては郡役所又は町村役場より上司へ報告又は進達するもの、或は郡役所、町村役場、學校限り整理すべきもの丶内、重要なるものを類別し、之に法令、規則、通牒、照會等、其基く所を付記し、向ふ五ケ年間の欄を設け、處分毎に其年月日を入れ、之を郡役所にも町村役場にも備へ置く、巡視の際にても之を一見すれば直に其遲速延滯を知ることを得。

一錯雜なる地方事務に從事するには身體の健全を必要とし、又一面に於て吏員不健全なるが爲め公衆に迷惑を及ぼすが如きことありては不都合に付、此見地よりして縣廳吏員の健康診斷を行ふこと丶なし、警察の醫師をして之を施行せしめたり。診斷は健康者、痼疾者、疾病の初期に在る者、傳染性の疾病者の四種に分類せしが、其結果に依れば、官吏、吏員、給仕、小使を通じ、總員百五十七人の内、傳染性の疾患ある者七名を發見したり。此等の疾病者中已むを得ざるものは官を辭して退職せしめ、又疾病の初期にある者は相當の治療を施して健全なる身體とならしむるの方法を採れり。(德島縣)

一縣廳所定の出納規定に基き、每月一日出納檢査報告を爲さしめ、之

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と同時に町村税の徴收額收入額、未納額をも報告せしめ、之を調査し未納の多き部分には督促を加へ完納を期せしむ。(石川縣羽咋郡)

一納税奬勵の爲め、黄と白との旗を授與し、之を區長の門前に樹てしむ。白旗は納期迄に完納したるもの、黄旗は納期後二日迄に納めたる者とす。之に依りて各部落競爭心を生じ成績良好なり。(群馬縣)

一大分縣南海部郡を見るに徴税令書が配付せらるれば、其日の中に税金を伍長の所に屆け十何年の間變らぬ者一村中五人あり。中には年齢七十にして歩行不自由なる者あり、而かも子供の不在なるに拘らず、克く繼續して今日に至れり。此等に對して村長は納税模範者と云ふ番傘を與へしに同人は爾來之を家寶として保存せり。

一長崎縣壹岐郡内箱崎村は從來滯納者多かりしが、滯納處分の際差押へたる動産は總て役場に引上げ、其人夫賃は之を滯納者に支拂はしむることゝ爲し、尚植林奬勵の爲め青年會に無代下附する苗は納税成績の佳良なる部落に多く配付することゝせし爲め、納税の成績良好なるに至れり。

一福岡縣浮羽郡にては戊申詔書煥發の翌年より、紀念研究會なるものを起せり、毎月第三の土曜日に開き、吏員の出張視察談を爲し又は雜誌圖書を繼續して、之に依り感じたることを談話す。又飲酒の弊を防ぐが爲め、茶菓會をも此會にて之を行ひ、又忘年會の如きも簡單に此會にて濟すこととせり。會費としては各自給十五分の一つゝを積むこととせり。

一福井縣にては毎月第二土曜日に縣廳内に於て談話會を開き、縣廳員は勿論、福井市内の縣立學校職員等集合して談話をなし、或は視察の結果を報告することゝなり居れり。又足羽郡にては郡長は毎週土曜日に郡役所員を集め、漢學及法律の研究を爲し、法律の講師は郡長之に當り、漢學の講師は師範學校より招聘す。

一京都府にては勸業茶話會を設け、毎月一回開會せり。此會にては名士を聘して高説を聽き、又出席會員を指名して五分間演説を爲さしむ。又勸業課中に共同會なるものを設け、信用組合の實務に通曉せしめんことを期せり。而して之に依りて各自の信用程度を定めらるるを以て、各自相戒めて謹厚自重するに至れり。

一新潟縣西蒲原郡にては毎年一回郡長以下郡役所員相集りて研究會を開く。其方法は前回に於て講義すべき人を指名し置き、其指名せられたる人は講義を爲し、他の人は質問を爲すことゝせり。右の外讀書會の設けあり、毎月十五錢宛出金して雜誌及書籍等を購入し、之を回覽することとせり。中學校職員及役所員主となり、町村役場員も之に加入せり。

一德島縣に於ては縣廳内に研究會を組織し、知事を會長とし、各課員總て會員たり。本會の目的は官吏たるの品性を修養せんとするに在り。而して總會は必要ある場合に限り之を開き、部會は毎月一回開會し、事務に就ての打合せ或は學術の攻究を爲す。又講學式なるものあり。屬官及雇員より成り、事務官等に依頼して憲法、行政法、法學通論等の講義を、毎日退廳後又は執務時間前に受けつゝあり。又給仕の教育に就ては、縣屬、縣視學等教師となりて、毎日退廳後より普通學科を教授しつゝあり。以上方法は各郡に於ても漸次行ひつゝあり。

一同縣にては毎年一回以上郡役所事務檢閲の爲め、内務部長は地方學務、農商、會計各課の屬吏を引率して出張し、部門を分ちて各調

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

査せしめ、縣郡吏員一同を集めて、内務部長より檢閲の結果を詳しく講評し、優良なる事務は之を賞揚し、整理を要する事項は一々之を指摘して、改善の方法を授くる等專ら指導誘掖に努めつゝあり。

一學校の建築を公債に依らしむるときは、華美に流るゝの弊あらんことを畏れ、群馬縣多野郡藤岡町にては、之れを繼續事業となし毎年三千圓位の金を積立て、一棟宛新築へる方針なり。

滯納矯正の一策として群馬縣多野郡藤岡町の例を擧ぐれば、同町にては日掛切手の方法にて納税貯金を行ふ、一日二三錢なり。目下加盟戸數八百餘戸、毎日小使二人を遣して切手を貼らしむ、一ヶ年の所要切手は七千二百圓に上るといふ。而して其手數料として二百五十圓收得するを以つて之にて事務員及小使の給料及筆墨料を支辨す。

一地租名寄帳一人別有所の土地を明瞭ならしむる爲めに、厚紙にて短册形の小票を製し、之に一筆毎の土地を記載し、異動の都度該小票を抽挿若は加除するの方法を採るものあり。（愛知縣西加茂郡）

一北海道に於ては租税の滯納を矯正する策として、諸税完納票なるものを作り、納期内に完納したる者に附與し、之を戸外に揭出せしむる所あり。北海道松前郡吉岡村にては該票は幅三寸長八寸計りの木札にして、金文字を以て「諸税完納票」と記す。

一區長、農事委員、衞生伍長の代りに外勤書記を設くる所あり。山口縣佐波郡防府町にては町内七區に各一名の外勤書記ありて、各種令達の徹底、戸別割賦課材料の調査、就學督勵、租税滯納等諸般の事務に當る。同町に於ける外勤書記執務要項左の如し。

毎日區内を巡視し且區の總ての事情を調査す

區内の現住者名簿を備へ異動の都度加除す

毎年四月一日及十月一日には各戸に就き特別調査を行ふ

常に轉戸者の資産及生活狀態を詳細に調査し戸數割等級を定むる適確なる材料となす

常に營業者の營業狀況を調査す

納税者に對し令書を傳達す

滯納者あるときは之が督促整理の任に當る

學齡兒童就學奬勵及出席督促の任に當る

町役場各係諸般事務の實施補助をなす

人民より提出すべき願屆書にして急を要せざるもの丶取次をなし便宜を與ふ

毎月三回町役場に出勤す

一都會地に於ては借家人の出入常なきを以て、之が公租怠納の豫防策を講ずるは極めて必要なり久留米市にては市内の各町にて組合を作り。貸借家法と稱する規約を締結す其方法は大略左の如し

借家へ居住するときは身元保證金を組合に差出さしむ

家主は借家人の身元保證人たる義務あるものとす

借家人諸上納は勿論町内の費用を期月内に出金し能はざるときは身元保證金より差引く

規約に係る諸般の事務は區長に於て取扱はしむ

一事件の重要ならざるものにも一々指令を交付するは稍々煩に失すべし。宮城縣にては此趣旨により桑苗木交付申請の如き、事の簡易なるものに就きては、其不許可の場合に一々指令書を交付せず、願書の餘白に單に（年月日不許可宮城縣知事）と刻せる護謨印を押捺して出願人に交付す。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

公民教育調査委員
社會局部長 田子一民先生著

再版

現代青年の眞生活

四六判總布製
定價壹圓六拾錢
書留送料十八錢

青年の爲めに說けるもの洵に多し。しかも未だ眞に青年の心情を解し心眼を開くに足るもの殆んどなし。著者は青年を愛すること最も深く殊に其の青少年時代は眼底涙を覺ゆるの苦闘に生き、具さに人生の辛酸を嘗めたるの人、青年を知ることの多き著者の如きは蓋し稀に見る所なり。

本書は實に著者鏤骨の作にして、青年修養書中の白眉なり。說く所は現代青年の眞相にして枯葉擦るゝ音に心をひかるるの夜、靜に寒燈のもとに危坐して綿々と語るもあれば春のひかりに浴して萌ゆる若草の如き清新さを以て說くもあり、しかも言々これ血、句々これ涙、實に著者をして今日立志傳中の人たらしむるに至るまでの奮闘史たり。苟も青年たるの誇を語らんとする全國三百萬の青年諸君は必讀を要す。

登載目次

寒燈危坐、自己發見、人間味、苦學、青年斷酒、微笑する三個の思想、大德禾山和尚、世に處する途、秋風一夜、男子青年團と女子青年團、學窓の青年へ、原平民宰相の風容、社會維新、政治の改造、著者より讀者へ。

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三
朝鮮京城府長谷川町九三
同朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鐵道大臣官房編纂

鐵道法規類抄

加除自在

▲六版　總則　定價四圓　郵税三十六錢
▲三版　工作　定價十圓　郵税三十六錢
▲十三版　運轉　定價一圓七十錢　郵税十八錢
▲八版　電氣　定價四圓　郵税十八錢
▲十四版　營業　定價六圓五十錢　郵税四十五錢
▲八版　帳表　定價九十錢　郵税十八錢
▲改版　會計　定價二圓廿錢　郵税十八錢
▲五版　倉庫　定價一圓廿錢　郵税十八錢
▲四版　工事　定價二圓二十錢　郵税二十七錢

●工事附錄圖面・船舶・何れも品切

▲工作一六號　定價八十二錢　送料六錢
▲總則二一號　定價八十錢　送料八錢

原本は何時御注文あるも最近發行追錄まで加除訂正して御送本可申候

規程類抄

▲會計一〇號　定價一圓八十三錢　送料八錢
▲營業五三號　定價一圓四十六錢　送料十一錢
▲運轉一九號　定價四十二錢　送料四錢
▲工事圖面七號　定價三圓二十錢　送料八錢
▲電氣一一號　定價一圓八十七錢　送料六錢
▲倉庫一〇號　定價十七錢　送料四錢

▲神戸鐵道局　定價八圓五十錢　送料三十六錢
●追錄三一號　定價二圓二十一錢　送料六錢
●追錄三二號　定價二圓三十三錢　送料六錢

▲仙臺鐵道局　定價八圓　郵税三十六錢
●追錄一二號　定價二圓　送料四錢
●追錄一三號　定價一圓七十錢　送料十一錢

□□□ 本書分冊御希望の方は表紙一組金三十五錢送料四錢にて御送付仕候 □□□

東京市京橋局私書函十一號
鐵道共攻會發行
電話 特 六六一・六六二・六六三
振替貯金口座東京八五八五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

廣島縣廳編纂

廣島縣史

第二編 社寺志

菊判天金總布製全二冊
紙函入美本
定價六圓
送料二十七錢

廣島縣事業の一として八年に渉る星霜と努力とを費してなりしものにして本志福山志料藝藩通志に記載なき舊幕領中津藩領の記事と前二書の編纂後約百二十餘年間に於ける社寺の興廢由緒等を記述したるものなれば縣下各社志の變遷を知らむと欲するには蓋し唯一の資料たり、教育家宗敎家は勿論苟も廣島縣下の諸士には實に得難き良書なり。

印刷部數に限りあれば有志諸賢は豫め御申込を乞ふ。

東京市京橋局私書函第八號

帝國地方行政學會發行

振替口座東京一三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

守屋榮夫著

增訂五版
地方自治之精神

地方改良に關する出版物の多きに不拘、皆形式的說明に專にして、實質的方面に筆を染むるものに至りては寥々として曉天の星の如き觀あるのは地方自治の刷新上洵に遺憾に堪えない所である。菲才もとより其の任にあらずと雖も、自ら揣らず、平生、抱懷する卑見を集めて之を世に公するに至つたのは、之れに依りて從來に於ける地方改良の缺陷を補ふの一端たらしむる微衷に外ならない。（著者序文の一節）

四六判 全一冊
白布製美本
定價二圓八十錢
送料（內地十八錢 朝鮮三十錢）

增訂五版
地方青年之教養

平和克復後華盛頓會議に至る迄の內外の大勢を敍し、青年が、國家の柱石として忠孝の大義を體し忠良なる臣民、善良なる公民たるの修養を爲す上について、現時の情勢より注意すべき事項平和を東洋に確立し、世界の文化に貢獻すべき我が國の使命を實現するが爲めには、四海同胞の大義に則りて博愛協調の精神を振作すること最も必要なる所以―を力說するに努めた。（著者）

四六判 全一冊
總布製美本
定價三圓三十錢
送料（內地十八錢 朝鮮三十錢）

訂正五版
平凡之善政

手腕ある政治家といへば必ずや大抱負を提げ、巨資を擁して驚天動地の大經綸を行ふものであるかの如く觀じ政治の實體たる國利民福の增進、民衆の人格的向上發展がやゝもすれば輕視せられ或は寧ろ蹂躪せられんとする際には、一層政治の實質的方面に着眼した平凡なる政治の政善を高唱するの切要を感ぜぬ譯にはいかない。由來平凡なる善政は隨時隨所に闕く可からざる政治の根抵である。（作者序文の一節）

四六判 全一冊
白布製美本
定價二圓廿錢
送料（內地十八錢 朝鮮三十錢）

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三

朝鮮京城府長谷川町九三
同 朝鮮本部
振智口座京城一〇七五四

内務省土木局編

十一版

新舊度量衡對照表

本書は度量衡法及同施行令の定むる換算率に基き專ら距離、速度、面積、流量、土坪、重量等の新舊度量衡の對照に資せん爲め編纂されたもので、之等の計算表各千位迄を掲げ其の各數は少數以下七位に及ぶを以て利用の範圍は極めて廣汎なるべく、殊に卷頭には總括表として日、佛、英、米各單位に依る荷量、力率、強度、重量等の對照計算約二百種を添へたれば新舊度量衡對照には頗る便利なものである。

菊判全一冊
強靱紙印刷
定價五十錢
送料二錢

高橋正著　三版

度量衡衍義

曩に度量衡法の改正があつて、將來の度量衡はメートル法に改正されるといふ重大なる革新時代であるから之に關する一般的智識を養成せしむるには難解なる度量衡を通俗的に分り易く説明した書物が必要なのである。本書は卽ちその要求を充す爲め生れたもので現今の時代に最も適應せる好著であると信ずる。

●菊判全一冊●定價三圓六十錢●送料廿七錢朝鮮四十錢●

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三

朝鮮京城府長谷川町九三
同　朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□各巡査教習所教科書用□

五版

警察講習所長 松井博士序

警察講習所元教授法學士 平賀周著

行政警察法

菊判全一冊 定價金三圓二十錢 送料十八錢

本書は警察の意義分類等は勿論殊に保安風俗營業交通等行政警察の事を論ずるに頗る詳密を究む蓋し歐洲戰後の今日にありては此の種行政の發展は最も時代の要求に應ずべきものなり。

五版

警察講習所長 松井博士序

警察講習所元教授法學士 松本學著

警察官用 經濟教科書

菊判全一冊定價金一圓五十錢 送料十八錢

本書は廣く初學者をして經濟學の何物たるかを知らしめんが爲めに經濟財政社會問題に對する概念を與へんとする趣旨にて著されたるものにして、警察官の教科書としては實に本書を以て嚆矢となす。各府縣巡査教習所にては擧て本書を教科書に採用され多大の好評を博す。

好評

警察講習所長 松井博士序

警察講習所元教授法學士 松本學著

衞生行政法

菊判全一冊定價金二圓八十錢 送料十八錢

本書は法律調令通牒等苟も實務に關するものは悉く之を網羅し實に衞生實務家の好資料と謂ふべし近時保健問題は世界を通じ重大なる社會問題にして我邦の衞生行政も今や益〻重要なる地位を占むるに至れり此時に當り本書の出てたるは實に時の宜しきを得たるものと信ず敢て斯界の諸賢に本書を薦む。

東京市京橋局私書函八號

帝國地方行政學會發行

振替東京一三番

朝鮮京城府長谷川町九三

同 朝鮮本部

振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内務省道路課長 佐上信一著

四六版全一冊 金二圓五十錢 送料 内地十八錢 朝鮮三十錢

增訂三版

道路法概要

道路法は其の研究の範圍極めて廣汎にして且つ攻究を要する事項極めて多岐なり著者之に觀る所あり其の制定の精神を務めて平明にすると共に其の運用に關する著者得意の意見を錄したり

內容大意

緒論

一、總則、二、道路の種類等級及路線の認定、三、道路の管理、四、道路に關する費用及義務、五、監督及罰則、六、訴願及訴訟、七、雜則、八、附則、九、特別法として仍其の效力を存する法令、餘論、一、道路法の在來道路に及ぼす影響、二、我國に於ける道路の實質的改良、附錄、一、道路の路線の認定に伴ふ諸問題、二、道路の實施と我國道路の將來、三、郡制廢止と廢道處分、四、索引。

東京市京橋局私書函八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京十三

朝鮮京城長谷川町九三
同朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

昆蟲生捕.攻守自在の活能.公衆衞生上共同驅除用無比の利器

實用新案
第四九二五九號

蠅さらへ

一　此器械を蠅に向けて、きつく振れば風で鉢の底が開き吸ひ込まれる樣に袋の中へ入るのです。使ひなれますと家中のが容易に捕りつくせます。夜天井に居るのを電燈にてらしてとるのは却々面白くあります

一　手數少なくとるには餌に集めるのです一時にたくさんとれます、餌は食パンを細長く切りやいて砂糖みつをよくつけたものを、さしておけばながくもちます

一　ふる時他の器物にあたらぬ樣よく氣をつけて下さい

一　蚊、ほたる、蝶などの蟲もとれますから年中家でも田畑でも調法につかはれますから一戸數本の御使用は御便益と思ひます

一　袋の蠅は二三度ふれば袋の底へ集まるから袋の中ほどを手早くにぎり袋のこげぬ樣遠火にてあぶるかあつき湯をかけて死したる後底のひもをほどきて捨てるのです袋は時々せんたくして下さい

一　蠅を生捕にするのですから、つぶしてとる時の樣によごれることもなくバクテリアの害をふせぐには都合よき器械であります

一　特價金五十五錢送料十八錢、一ダース金六圓送料不要、共同購買等多數御注文の場合は特別の御相談を致します

製造所　荻山商會
東京市牛込區西五軒町三四

販賣元　萬歳社
電話牛込九一六番
振替東京一五〇九四

一宮城縣會にては、農事の實地指導に從事する外勤員よりは別に勤務復命書を提出せしめず、只調査要目を印刷したる手簿を調製して之を交付し置き、日々相當欄に記入せしめ、翌月五日其手簿を切離して送附せしめ、之を以て勤務報告に換ゆ。

一國税中營業税所得税收納簿に、其附加税たる縣税、市町村税を併記し、以て縣税、市町村税の附加税徵收原簿を省略するは、又事務簡捷の一方法なるべし。兵庫縣にては此方法を行ふ。

一地方税制限課税稟請書に就き、經由廳にて其副本を留置せず、市町村に留置する副本を主務省に提出する二通に止め、稟請の際は正副とも縣廳に差出さしめ、主務省より指令ありたるときは、其副本を添付して返戻し、各經由廳は唯其摘要錄を製し、以て監督の用に供する所あり。(兵庫縣)

一滯納の弊を防ぐには納税をなるべく簡便ならしむる事の必要を感じ。靜岡縣濱名郡積志村にては、役場より徵税令書を村内金融の中心たる積志銀行へ配付し、銀行は預金者各自の預口より納税金を拂戻し、之れを取纏めて直ちに役場の預金口座へ振替計算し、以て現金を動かさずして確實に納税を完了するの方法を採る。尙納税者にして銀行へ貯金せざる者の爲めには、納税前四日間役場最近の部落へ一日宛收入役を出張せしめ、徵税事務を取扱はしむる等專ら納税者の便を計る。

七　統計事務

一產業統計は概して「だらう」的想像調査多し。國家政務の材料たる統計を、此の如き無責任を以て當ることは甚だ遺憾なり。報告を出すに就ても、昨年は如何なる報告を出せしか、其時の調査が如何なる方法に依りしか、又本年は調製方法を如何に改め、又其增減は如何なる事由に基きしかを明瞭ならしむること必要なり。

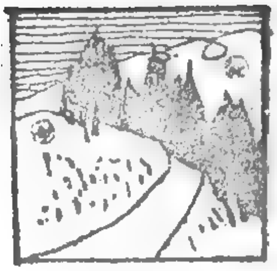
一統計の單位の如きは、一斤なりや一貫目なりや不明のもの多し。特に注意を要す。

一或縣にては屑絲を報告するに、百萬斤とせしものあり。又生絲を報告するに、日本全國の產額なりしものあり。其後年々減少し、遂には一萬斤に下れるものあり、其事由を質問せしに、最初數字に〇の付け方が多かりし爲め。急に之を減ずるを得ず、一つ宛を減じ來りし旨答へたるものあり。

一統計は大部の材料に對して多大の心力を勞しても、其製表として顯はるゝものは紙一枚に過ぎざるもの多し。而も其職業は極めて地味にして、餘り榮達の望みもなし。然れども世間の餘りものにては、到底此事業の發達を期するを得ざるに依り先づ人を養成することに努力せざるべからず。

一人間の養成の爲めには、講習會の如き最も必要なるも。可成鋭敏にして注意深く、特に斯業の趣味を有するの人を選び、給料を增して其待遇を良くし、他に轉ぜしめざるの工夫肝要なり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



寄書

京城に於ける苦學生の現狀

總督府內務局
社會課　阿部虎之助

新時代の要求に促されたものか、所謂苦學の目的て都會地に出て來る者が多くなつて來た。京城に於ては是等多數の苦學生が需むるに職なく、勉學は愚か、其の日の生活にさへ窮して居る有樣である。最近の調に依りて見ると、中等程度の學校に在學する者約八千人で、其の中で學資の充分で無い者が千六百名もあつて、今日辛じて學資を支出したが、來月は月謝の納入さへ不能で、停學せられるか、左なくば自分で廢學しなければならぬといふやうな、頗る不安の狀態に置かれてある者が多い。其の外高等普通學校、又は各種專門學校入學準備の爲めに、夜學講習等に通學する者が約一千名あるが、其の內五百名は苦學生であつて、一定の學資なきのみならず、殆ど職業なく、從前饅頭賣、賣藥、貰行商、新聞配達、煙草箱貼り等をしたけれども、今は職を失ひ、新聞配達其の他一時的の勞働に從事するもの小數あるのみて、他は知人の同情に縋りて寄食をなし、又は物品を賣拂ひなどして其の日を過すといふ窮境に在るのである。

是等苦學生の大多數は、靑雲の志を懷き、或は都會地に於ける文化に憧れて、鄕里を後にやつて來たのであるが、當初は固き決心を以て想像以上の艱難に甘んじて勉強したが、僅少の有合せは消費し盡し、需めた就職も思ふに任せず、勉學に先立ちて生活問題を苦慮する樣になり、四圍の狀況已れに不利

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にして、不愉快と懊悩は次第に思想を變化せしめ、上京幾何ならずして心は荒み果て、刹那の奢侈生活に耽溺し、隨つて惡事を行ひ、若くは極端に蠻風を裝ひて、資産家の打破を高唱する等、看過すべからざる社會問題を惹起しつゝある實況なのである。これが救濟の根本方針は、餘程考究すべき問題であるが併し差當り身の振り方に窮し、浮沈の岐路に立つた幾多の青年を救濟するは寔に焦眉の急と言はねばならぬ。

此の際、この時に於て田邊萬三郎君は共榮社なるものを創設し、浮沈の岐路に立てる是等のものに對して、或は職業を與へ、又は普通教育を受けることの出來ぬ者に對して初等中等の教育を施し、生活の安定を得しむると同時に、智能の啓發を圖らむとするものにして、寔に朝鮮現下の情勢に徵し、極めて有效適切なる施設と言ふべきてある。目下救濟を受けつゝある者百名に滿たないけれども、軈て一波は萬波を生じ、翕然として斯種事業の勃興を見るに至るべき所以なるべしと信ずるが故に、吾人は多大の期待を以て同君の事業を見、其の進展を祈つて歇まないのである。

頻發する勞働爭議と我金融組合の使命

咸鏡南道廳　朴　鍾　漢

「現下思想界の險惡は誠に吾人の寒膽に堪えざる處てある」と、之れ今日に於ける所謂政治家を以て自任し、社會改良家を以て自任し、國家の中堅として自負する或人達の異口同音の卓見てある。由來社會國家は神の創造てもなければ、天國てもなければ、極樂淨土のことてもない、これ正に人間の創業てあり人間の集團てある、故に彼等の幻影したるが如き

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

眞善美のみあるとは觀測し難く、寧ろ善惡、醜美、渾沌交雜して、人間社會の現象として表現されたる處に吾人の善惡の標準があり、活動の誘因としての張合がある、故に社會現象の一端を捉へて其の原因、結果、由來の何たるを熟考せずして、只現在の自分達の良心――我田引水の良心――に顧み、一就して「險惡なる現象と」速斷するが如きは、社會の實狀に通ずると云ひ乍ら、反つて盲目を意味し、人間性の極窮の哲理を知ると云ひ乍ら、煩瑣の街氣に迷ふ者である。

凡そ事物が社會現象として表現されるには、其の原因があり由來がある、社會現象として、量に於ても質に於ても、擴大堅固なればなるほど其が原因由來の根差しは深く、廣く、大きく、現在より過去に亘る時間空間の多くの部分を占めたるものと云ひ得る。然らば現今社會現象として萬人が存在を認め、日常氣遣はるるものは何ぞ、曰く下層階級の勃起――無產階級として覺醒の道程にある勞働運動正に之てある。此れ人事として將又世事として樂觀すべきか悲觀すべきか、慶賀すべきか、說詛すべきか、其の是非の判斷は暫く置き、其の運動の由來と之れが協調策としての我金融組合の使命を一言して此筆を擱く積てある。

由來階級の運動は古代希臘羅馬時代にもあつた、然れども近世に於ける階級運動は、嚴格に云へば利害の共通及階級の意識があつて初めて行動として現はれたるものである。之れ輓近に於ける機械の發明世界市場の擴張、航路の發見、分業の發達は、手工業親方生產の如き、小規模のものが一變して大工場制となり、大企業組織となりて、數千數萬の勞働者は糊口を凌ぎ粗衣倭屋を得んが爲め、一家族を擧げて工場にて機械の轟然たる音と陰氣なる空氣と戰ひ或は大農場にて賃金取りとなり、小作人として地主の鼻息を窺ひ僅に營々として生活を營むに拘らず、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

隨つて一方資本家地主は其の利益を壟斷して其の富の蓄積は莫大なるものとなり、玆に彼等をして富者階級の堅壘を築き上げしめた。於是現代思想に覺醒し人格者として目醒めたる下層民と雖も、如實の如き富の不平等は結局分配の不公平に由來すを悟り、法律上自由平等を認むるも尙ほ階級の對立と自由の束縛あるを看取し、自家擁護の運動を興すに至つた。かくて分配の不公平に眼醒めたる無產階級は、自家の權利を主張すべく結束して起ち、是等環境を同うする同志は互に親和し、同情となりて今や共通利害てふ一點に意識し、强き集團となつてブルジョア階級に對抗し整然として陣營を張り怠業、ストライキてふ武器を以て肉迫しつゝある。斯くして勞資の紛爭は日に益〻滋からんとす。之れ社會國家の一員として誰か憂惧せざるを得んや、然らば此の慘狀の救濟の途なきか、永遠の戰の狀態に於て呻吟すべきか然らずんば勞資雙方の協調妥協に依りて解決すべきか、之れ吾人の一言せんとする處である。

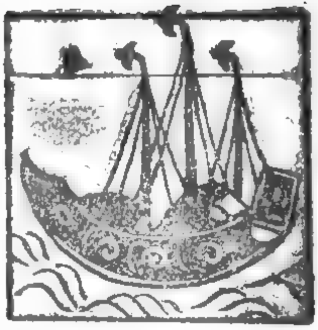
解決救濟の鍵は何ぞ、曰く中產階級の促增之なり、由來此階級は其の性質が中和的なるが故に階級鬪爭の緩衝の作用をなす。抑も他の階級間に於ける衝突の主因は勞働と勞働用具（資本の如き）との分離にあり、然るに中產階級に於てはこの分離を見ず、各人は各自の生產手段を用ひて生產し、其勞働の結果は各人之を收む、故に一社會一國に如斯獨立生產者のみあるときは勞働問題社會問題は初めより起る理なし。何んとなれば鉅富を積まんが爲めには多數人を自己の爲勞働せしむる要あるも、無產者は其財力上企て及ばざる處なるが故に、貧富の懸隔も至つて低き範圍に止るが故なり、不幸にして資本集中の法則は此平和なる階級の存續を威脅し、今凋落の觀あるも之が擁護助長に努むれば、其興起は期して俟つべきである。所謂中產階級とは自作農小工商業者、自由職業者にして、之が促增方法は如何、凡そ

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

下層民は富力に於て、地位に於て文化の程度に於て、之を一言に蔽へば生活準據能力に於て社會的に弱者たるは多言を俟たざるところにして、云はゞカヨワキ赤兒である。此の下層貧民を一躍中產階級とするには何等かの保護、救濟策なかるべからず、此れ輓近各國に於ける社會政策の端緒として各種組合の勃興を見る所以なり、之れ一片の理想よりも寧ろ强力なる實際生活の要求であるが故にそれだけ强味があり、前途洋々たるものである、即ち英國に於ける消費組合、佛國に於ける生產組合、丁抹に於ける農業組合、米國に於ける建築組合或は我金融組合の原型たる獨逸の信用組合其れなり、此等組合の共通なる特色は一に仲介者を排し自給の道を講じ、企業の自由競爭に代ふるに連帶を以てし、私有財產を一般化し、以て資本の暴力を奪ふと同時に、或る階級の人々を經濟的に解放せんとするを目的理想とす。即ち吾人は知る、我組合の使命たるや重大なることを。今や經濟上の黎明期に際した。吾金融組合たるもの組合員の精神訓錬と業務の實蹟と相俟つて我小農民小工商業者下層民の經濟狀態を改良增進することに鋭意努力せなければならぬ。併しあらゆる制度の是非は一に局に當るもの丶運用如何に因るものにして、此の意味に於て少とも直接間接組合業務に當る諸氏は其の責任たるやまことに重大にして、且堂々たる社會問題實行家の一人であり。勇者である。現代はナポレオンやカイゼルを以て英雄だと稱揚するヒロイズムの時代は夢の如く去つた。今や一人一人の英雄を以て理想を實現せんとする時代である。故に社會問題はシザーの如き或はナポレオンの如き偉大なる英雄を要求する時代ではない。一に社會の問題は社會各人の奮鬪、努力を俟つて初めて解決すべき時代である。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

海外



○敵となり味方となる英獨

土國と同盟を結びて英佛に對抗し、大帝國を建設せんとするのは、獨乙の外交政策であつた。土耳古は假に衰微しつゝあるが、然かも其君主は實に回々敎主であるから、宜しく土耳古と同盟し、コンスタンチノープルを中心として獨逸の世界政策を發展せしむべし、左すれば英國より印度と埃及を掠奪し、佛國よりアルゼリアとチユニスをもぎ取る事が出來やう。斯くて汎獨主義と汎回敎主義とを打つて一丸となし、更にジブラルタルの對岸モロツコの一地點、埃及の對岸小亞細亞の一地點及び印度の對岸メソポタミアに於ける一地點を占領せば、以て其野心を達し得られやう。之れが獨逸の方略であつて、彼のベルリン、バグダツト鐵道計畫は實に汎獨主義實現の一手要段に過ぎなかつたのである。

英國豈、之れを感知せざらんや。從來親交ありし英獨は一變して仇讐の間柄となり、遂に一千九百十四年の大戰をも惹起したのである。然し英國は既に獨逸に捷ち、又獨逸を要ふるを要せざるに至つたから、彼は再び其態度を變じ、今度は獨逸に對し寛大ならんとしてゐる。卽ち將來に於て英國は露佛に對抗せんが爲め、獨逸と同盟を結ぶことになるかも知れぬ。

○最近英國の對印度政策

大戰終熄後に於ける英國の對印度政策は益々濃厚となつた。印度の安全を期するため、パレスタイン、アラビア、メソポタミアの委任統治權を獲得した。又華府會議の開催は海軍制限を期するにありしも、之と同時に英國が此の會議を利用して、日米及び爲し得るならば佛の力を藉りて、印度の安全を支持せんとする動機に出でたるものである。日英同盟は廢棄されたが、之に代りて四國協商が成立した。蓋し英國は日佛相提携し、印度の國民運動と調子を合さば、由々しき一大事と思つたのである。卽ち四國協約は英國の地位を安全ならしめたものと云はねばならぬ。かの華府會議に於て英佛の反感を見るに至りしは、英國が佛國の近東政策に反對の態度を持續した爲めである。佛國は希臘を排して土耳古側に立ち、英國は希臘を擁護して之を抑へんとした。之れ希臘の膨脹は地中海に於ける英國の勢力を增大せしむるものであるが故に、英國は佛國の希臘反對の態度を以て快からずとしたのだ。英國が華盛頓會議に於て佛國の海軍を抑へつけた趣旨は、地中海を以て英國の湖沼とし印度への通路を安全ならしめんとするにあつた。又英國が極力大型潜水艦說に反對の意を表したる所以のものは、此種潜水艦が、地中海より印度に到る英國の航路を脅かさんことを怖れた爲である。

英國が愛蘭と妥協を行ふたのは印度の安全を考慮した結果であり、埃及に深甚の注意を拂ふのも、印度を控へて居るが故である。アフガニスタンとの協商を爲せるも、又アラビア人に好意を表したるも、アレキサンドリアよりカラチに軍用航空を初めたるも、チベツトを其保護國となし、南方支那に羽翼を伸ば

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

し、マレー半島殊にシンガポールに巨大なる海軍根據地を設けんとするも、詮じ來れば何れも皆之れ印度の防護から割出されて居るものと謂はねばならぬ、

英國は勞農露國と通商協約をなさんとするに方り、露國をして直接間接を問はず、印度に脅威をなさずとの約をなさしめた。ゼノア會議に於て、英國が露國に要求したる事項の一は、露國が印度に赤化運動を行はざるべしと云ふことであつた。英國がセーヴル條約中に、ボスフオラスを英國管理の下に置き、露土或は露土佛の協商によりて露國の脅威が現はれないやうに條項を定めたのも、印度といふ問題を肚裡に置いて居たからである。

斯くの如く英國の最近世界政策の依りて來れる所は、要するに印度の支持と云ふことである。從て世界各國は今や印度に於ける運動を注視して居る。蓋し印度の出やう一つにて、忽ち世界の地圖は一變し、歐洲の政局はがらりと激變を來すからである。

○ガラスに就きて

硝子が初めて日本へ渡來したのは、何天皇の時代であつたでせうか、今日僅か十四五錢で買へる硝子製の皿も、其昔は御大名の寶藏に、天下の珍寶として大切に保存された事もあるやうである、其皿一枚を破損したる爲に、苟も武士たる者が切腹と覺悟を極めた事もあるやうに聞いてゐる、今から考えてゐると馬鹿氣た話であるが、其當時は頗る眞劍で且つ眞面目であつたのである、して此ガラスなる物は西洋では何時の頃から有つたものか、歷史家にはチヤンと見當がついて居るであらうと思はれるが、可なり大昔からあつたものだけは確である、昨秋以來故カーナヴオン卿が、助手カーター氏と共に埃及古王の墳墓を發掘した事は、歐米各國人誰一人知らぬ著名の事柄であるが、其發掘した器物の中に多色のガラス製の器具が見出されたのであります、三千年前に死んだ王樣の墓から、ガラス製の器具が見出された以上、ガラス細工は三千年以前から行はれてゐた事だけは確になりました、其れが王公の間にのみ使用さるゝ器具の如き、稀有の珍寶であつたか、普通人の間にも廣く用ひらるゝ普通のものであつたかは判然しませぬが、今日の如く僅かな金額で買える平凡の品物には、硝子細工が行はれてゐなかつた樣に思はれます、兎に角德川時代の侍が切腹に値するガラス細工が、三千年前の埃及に行はれてゐた事實は、埃及の文明が如何なる程度のものであつたかを充分物語るものであらうと思ひます。

○英國の現王

英國現時の王樣は非常なる印紙や切手の愛藏家であられます、本年五月中旬でありましたか、王樣は御友人や同趣味の人々をバツキンガムの宮殿に御招きになりまして、各國古今に渉る珍しき印紙や切手の展覽會を御開きになりました、繪畫室に數臺の長いテーブルを置き、其上に約貳百册のアルバムに保存されてある印紙切手を陳列してあり一通り觀覽するのに一時間以上を要したと云ふ事ですから、其數は隨分多い事であつたと想像されます、來客の觀覽後、別のルームにて茶菓をすゝりながら、古印紙切手の事に關し、王樣と來客との間に、有益にして且つ興味ある談話が交換された樣であります、政治上、特に外交上に於て、非常に活躍されてゐられる英國の現王に、斯うした平安なる他の一面がある

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事は、餘程面白い事柄であると思はれてなりませぬ。

○短命内閣

英國前首相ボーナー・ロー氏は國民の輿望を負ふて就職したのであつたが、咽喉の宿痾遂に癒へず、就任後僅かに二百〇九日間卽ち約七ケ月にして辭任する事になりました、我國にも隨分短命内閣はありますが、英國にも今回のボーナー・ロー内閣に劣らぬ短命なものが澤山にあるやうです、過去百ケ年に溯つて考えてみると、

カンニング内閣	百〇六日
ゴデリツチ内閣	百二十五日
メルボーン内閣	百二十八日
ヒール内閣	百〇八日
ダービー内閣	二百九十三日
ラツセル内閣	二百三十二日
デイスレリー内閣	二百七十九日
サリスベリー内閣	二百二十一日
グラツドストン内閣	百七十五日

の如き一ケ年に充たざる内閣がある、我國では

第二回目の伊藤内閣	約五ケ月
第一回の大隈内閣	約五ケ月
第三回目の伊藤内閣	約八ケ月
第三回目の桂内閣	約二ケ月
高橋内閣	約七ケ月

などが一ケ年に充たざる短命内閣である、長く政權を握つてゐるものが、必しも大政治家とは限らないが、病氣以外に早く内閣の倒壞を來すものは、敵の多い事を■語つてゐる。

○流行の婦人用ブツグ

昨年の春頃から、英國のロンドンに新しい婦人の手提革鞄が流行し出した、其れは革鞄を開けると、電燈がパツト點くのである、自動車の中でも劇場の隅でも、革鞄の中の物が悉く明かに見てとらるゝと云ふ便利な品物である由である、日本でも、ハイカラ婦女が懷中化粧道具を處嫌はず使つてゐるやうに見受けらるゝが、遠からず電氣仕掛の懷中化粧道具が三越あたりに見出さるゝ事となるであらう。

○癈兵の巡廻理髪師

日本では癈兵の職業と云へば賣藥の行商と相場がきまつて居るやうであるが、英國などでは色々な事をやる、就中最も奇抜なのは巡廻理髪師である、家毎に理髪の御用はないかと尋ねまわるのであるさうだが、子供澤山の家などでは至極便利だとあつて、頗る歡迎される由である、其外癈兵で活字拾ひになつて居るものもある。兎に角國家が癈兵を優遇するのは當然であるが、癈兵自身も其れぞれ頭を使つて適當なる職業を撰擇する事が肝要である。

○ムソリニの婦人參政權贊成

先頃羅馬て開かれた國際婦人參政權大會の際、伊太利の首相ムソニは、贊成演說とした。其一句に曰く『我フアシスト政府は、先づ地方自治體を初として婦人に投票權を與へ、漸次に國會議員選擧權を與へる積りで、夫れ〳〵準備中であります。婦人は中庸、均衡、智慮に富むものでありますから、之に選擧權を與ふれば、大に政治上寄與する所ありと信じます』と

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内地たより

○山梨縣青年團幹部講習の趣旨

地方自治制度我が國に布かれてより既に三十有餘の星霜を閲す、之れを行政上の形式よりすれば稍々完備せるが如き觀あるも、之を其の實體上よりの活動に徵すれば未だ頗る幼稚なるを免れず、偶々模範町村、優良町村として稱せらるゝものなきにあらずと雖も、深く其の內容を精査すれば、毫も自治の眞髓に觸れざるの感あるのみならず、却て自治の本義に逆行する者少なからず、されば識者は是れが、振興改善の急務を絕叫し、今や社會改良の運動は全國に普及し、諸種の施設經營擧げて數ふ可からざるの觀あり、然れども內容の外形に伴はざるを慨して起れる斯の種の運動も、動もすれば外形の整備に急にして內容を充實し、一般民衆の思想と生活の根柢とに觸れざるもの多く、青年團體の如きも、進步の道程として洵に已むを得ざるとは云へ、之が遺憾少なからず、其の會則、事業は一見間然するところなきが如しと雖も、具さに團體員個々の思想及生活を查察すれば、前途頗る遼遠の感なき能はざるなり。惟ふに地方自治の改善を圖り、青年團體の振興を促すの方法は素より少なからずと雖も、總ての問題畢竟人物の解決は人物の如何に歸着するが故、市町村公民に對する普遍的敎育の充實と中心的人物の養成とは、其の最も重要なる事項と云はざる可からず、近時國民敎育の設備天下到る處に普及し、如何なる僻地にありても無學文盲の者なしと雖も、少しく高等の敎育を受くれば、田舍を捨てゝ都會に走り、加ふるに地方輕侮の風潮と、個人的利己的の思想とは地方の公事に盡すを喜ばず、地方町村及青年團體は益々中心的人物の缺乏を來し、百に長たり千に長として誘導啓示の任に當るの人物に至りては、極めて乏しき憾あるを免れず。山に雜草のみ存して、喬木なければ林をなす能はず、野に群羊のみあつて牧者なくんば禍近きにある可く、市町村に中樞の人なく、青年團に指導の人を缺かば、地方自治改善の法、青年團體振興の道、果して誰に依つて畫策されんや、是れ卽ち本縣が青年團幹部講習會を開催し、世人が雜事に忙殺せられ、或は徒らに屠蘇に醉ひ歡樂に耽る時、心を平靜にし氣を清澄にして、眞劍本氣の修養鍛錬を積まんとする中堅青年を集め、寢食を共にして極めて簡撲なる共同生活を營み、艱苦を甞め缺乏に堪え、所志を談じ、心丹を練り、將來縣下市町村及青年團の中堅となるべき人物を養成し、町村及青年の指導誘掖に從はしめんと企圖したる所以なり。固より時日は僅々一週間にすぎざるのみならず、經費亦乏しく、設備不完全なるを以つて效果の所期に達はざるなきを保せず、而も是れを敢てする所以のものは自治改善、青年指導の狀勢が一層の徹底的施設を要求し、其の遲疑を許さゞるが故に外ならざるなり。

○産業組合で病院設置

愛知縣下の產業組合中はじめて醫院設置の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

許可を得た名古屋市衛塚町名古屋利用組合では、西日置町において名古屋利用病院建築中のところ、此程竣工し近く落成式を擧行する筈であるが、尙渥美郡牟呂吉田村神野新田信用販賣購買利用組合でも今回醫院を設置した、これで縣下は醫院組合は二つ設置された譯で、山間部の村では醫療機關が缺如し應急の間に合はないため、産業組合では漸次醫院を設置する傾向が現れてきた、之は新しい試みで、社會政策上より興味ある企てであると云はれてゐる。

○地力の増進から農業經營の改善へ

福岡縣下に於ける從來の耕地整理は畑を田に改造し、又は濕田を乾田に改善するのが主で、即ち地力増進を目的としてゐた、是は事業の進行に伴ひ收穫を増加する爲め其利益が明瞭で、地主は相當經費の負擔に甘んじてゐたが、此種整地は既に全縣を通じ略終局を告げ、今後は農業經營の改良を目的とする整地に移る可き時代となつた、其爲めには田區を改正し、作道を改修し、土地を集團せしめて勞力を節減し、機械力を使用し得る樣にせねばならぬが、此整地は地主に取つて經費を要するのみで目前利益増進を望み得ないのみならず、在來整地の如く法定地價に關する恩典の規程もない爲め實行頗る至難であるが、政府は此種整地に對し在來整地以上の特典を與へ、其實行を助成する事が緊要であると云はれて居る、現今山門郡に於ては、水田面約五千六百町步の殆んど全部が人工灌漑で多大の勞力を要するのを遺憾とし、今秋御擧行の東宮殿下御成婚記念事業として田面全部の自然灌漑に關する調査設計を試みる計畫を立てゝ居るが、斯の如きは乃ち農業經營の改善を目的とする整地の基本調査で、之が實行期に入れば、勞力節減上多大の效果を齎らすに相違ないと期待されて居る。

○縣教育會が課外讀本の編纂

石川縣教育會では實業補習學校の課外讀本を編纂することとなり、これが經費豫算は曩に議員會で議決し、去月四日の役員會において編纂に關する委員を選定したが、該讀本の目的および内容は、農民的情操を涵養して青年が樂く農村に安定し、土に親しむことを考慮したものである、故にその内容は趣味な本位となし、面白く讀本に引付けしめ、併せて文章、字句の習得を容易ならしむるもので、先づ詩、歌、散文等を集めることになつてゐる、その教材は中學校、實業學校の教師から募集する筈で、近く著手する豫定なるが、農村の荒廢は土を離れて都會へ走る傾向に最大原因を發してゐるので、かかる試みは決して惡いことでなく、教育界がそこに着眼したのは一進歩である、教育界の幹部は將來盆踊の歌までも、興味的に農村的に改善若くは保存し、民謡の保存と風紀の改善と農村の振興に資したいといつてゐる。

○妊婦を探して歩く巡回産婆

靜岡市が昨年六月一日から設置した社會施設の巡回産婆も五月三十一日を以て丁度滿一年になつた、この最初の試みである市の巡回産婆の成績は何うだらうか、過去一年間の統計を見るとその取扱つた總數は二千八百四十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

九件で、之を內譯すると姙婦が八十五人、助產婦が三人、褥婦が五百八十六人、乳兒が二千百七十二人、幼兒が四人で、まづ最初の試みとしては成績が好い方である、右に就き市役所に巡回產婆の杉本そよ子さんは語る『最初の內は各家庭を訪問しても一般が巡回產婆を諒解してゐて吳れなかつたものですから非常に困りましたが、此頃では最う一般的に諒解して吳れるやうになりましたから何かに付けて都合がよくなつて來ました、けれども未だ理想の域には達しません、それは姙婦が此方らから搜して行かなければ、先方から申込んで來てくれぬ事で、產後も大切には相違ありませんが、健全な子供を生むには產前に於ける注意も又肝要で、產前に於ける手當が行屆かなかつた爲に生れた子供が發育不全であるとか、不健康であつたとかいふ例は少くありません、之れを一ケ年中に於ける死亡率から見ても發育不全の嬰兒が第一位を占め、次が呼吸器病、消化器病、乳兒の脚氣、腦疾患と云ふ順序で、主として發育不全の子供が生まれるのは、母親が產前に腎臟炎を患つてゐた關係上子供が早く生れたり、前產の時に出血が甚だしかつたのに起因してゐるやうである、故に私は巡回產婆なるものを諒解されて、此方から搜して行かなくても一般から進んで來てくれる事を希望してゐます、それでこそ其理想とする目的が達しられる譯です、私が巡回して始めてから注意を與へたのは、乳兒胸部の疾患二百六十四名、鵞口瘡同四十四名、同メレナ七名、同膿漏眼六名、同黴毒二名、同脚氣十八名及び褥婦の脚氣廿二名、及同腎臟炎五名で、助產は比較的少く僅かに三名ですが、之れは全くの貧困者に限り助產したからで、兎に角健全な子供を生むには產前の注意が最も肝腎ですから、私は姙婦の檢尿をして少しでも病氣のあるものに對してはそれ〳〵手當をするやうに注意してゐます』云々

〇勞働の爲め移住せる鮮人

現代の經濟界に變動を來すと共に世界的に人類の經濟思潮が大動搖を生じ、之が爲一面勞働界は直覺的に其波動を感ずる樣になり、就中鮮人勞働者に於ては最も著しい現象を示して早くも時代の機運を看取し最近團體的に內地へ〳〵と渡來しつゝある狀況であるが、恁うした鮮人勞働者が目下鹿兒島縣安佐郡內に現住して如何なる狀態にあるかと云ふことを調査して見ると、男子百四十人、女子二十九人であるが、調査後に於ても續々として入郡し、目下水力電氣工事中の安佐郡久地村へ向ひつゝある狀況である、年齡は男女共十歲まで六人、十歲乃至二十歲三十九人、二十歲乃至三十歲六十四人、三十歲乃至四十歲四十四人、四十歲乃至五十歲十一人、五十歲以上五人である。

職業別で最も多數を占めてゐるのが坑夫、土方、仲仕等で、之に次ぎ日稼、農家傭及工場の雜工其他護謨、鑄造、製糸、織工、石販、製針、罐詰等の各種職工に就職し、一定時數に捕はれて骨肉の勞働に訴へ其日々々を糊してゐるのである。日給としては最高なるものが生魚傭人にして一圓八十錢、其他の勞働者は一圓五十錢を普通として、最低なるものが一圓、之を月收に更めると平均四十五圓である。

標準級四十五圓の月收者にして一人一日の生計費が六十錢で、一ケ月十八圓を要し、殘金の中五圓を貯蓄として其他の二十二圓は恐く浪費に歸するのである、又婦人や青年などで月收平均廿八圓を得る者に於ては、一ケ月

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生計に要する實費十五圓で、二圓の貯金をなし、殘餘の十三圓は前記同樣の消費にあるのであるが、家族扶養者に於いては該浪費を節約してゐる、妻子あつて一家庭を構成するもの、中男四十二人、女六人にして獨身者の中男九十八人、女二十三人である。

文字を更に解し得ない者百四十一人、稍解し得る者五人、小學校修業程度十一人、中學校一年乃至二年程度の者僅か一人にして、高等教育者は一名もゐないのであるが、更に渡來後に於て文化的教育の實を增進すべき施設がない爲小兒に對する教育を施すことも出來ず、さりとて現住地小學校へ通學せしめ樣と云ふ文明を認識した觀念も誘發しなければ、又家庭教育をなす樣な組織も認められてゐない單に勞働に生きてゐるのみである。

彼等團隊生活をしてゐる鮮人等の中には、社會を消極的に始め得る宗教などを信ずる者は眞に僅かに止まり、殆ど無宗教に屬し、只二名の青年のみは時代の明に覺醒して讀書の修養をしたり、又基督教信者として聖書を繙いてゐる、本鄉內在住の朝鮮人は一般に醇朴にして犯罪者尠く、目下の處橫領前科一犯が只一名のみである。

彼等は一部落を組織し、そして部落を統治する爲に教育程度優秀にして人格あり、而して團隊を指導し得べき技能のある者を頭長として萬事を　配せしめ、或は下命する等相當秩序を維持して相愛的に團結し、非行爲者へは頭長自ら制裁して彼等の仲間でも安寧を保持しようとしてゐるのである。

○相愛會總會

東京に本部を有し常に內地鮮人のために努力と事業とを繼續してきた鮮人團體相愛會では、今度名古屋に名古屋相愛會本部を設置し七月十五日午後零時半から東瓦町威音院で第一回總會を開いた、會長李延禧氏の開會の辭にこの總會の幕は開かれ、在名鮮人二千名のうち出席者約半數に及び堂に溢れ庭に滿ち墓地を埋めた、經過報告、收支決算、會則決議、役員改選、新舊事業、善行會員表彰と型の如く進行し熱烈なる朝鮮語の演說に場の內外は湧き返つて、何かしら民族的な誇りと榮譽とを漲らせた、かくて午後三時一同汽車辨當に腹ごしらへをして、更に東京總本部會長李起東氏の挨拶と、この日この總會のために來名した顧問肥田景之氏は老軀を提げて萬丈の氣焔の一場の祝辭をのべて午後五時散會した。

○朝鮮問題講演會

島根縣教育會松江市教育會主催、山陰、松陽兩社後援の朝鮮問題講演會を十五日午後九時半より松江市內中原小學校講堂に開會した、聽衆約三百名にして先づ縣教育會常務幹事正井儀之丞氏開會の挨拶に併せて日韓合併後の日朝兩胸關係を簡單に說き終つて、同會の講師たる金昌俊氏を紹介して降壇するや、拍手に迎へられて金氏登壇『合併後の朝鮮眞相並に融和の根本精神』と題し血淚を絞つてその朝鮮民族のために氣を吐き、融和の根本精神は人類愛にあると述べ、現時恐ろしい勢ひで蔓延しつゝある排日思想を如何にするかと慨し、進んで正義人道を高唱して、以て日鮮融合の道を圖れと約二時間に涉る獅子吼をなし多大の感動を與へ盛んなる拍手の裡に降壇し、閉會したのは午前零時であつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鮮内通信

○納税思想の向上鼓吹に關する資料蒐集に對する慶南各府郡の報告（一）

一犧牲的代納に依り町民風を成す

馬山府通町四丁目に代書業を營む朴應道と云ふ者がある、曾て里長に推され、勤勉質實にして信望が有た、大正十年に於ける一般經濟界の不振の結果は延て納税資金の調達に困難を生じ家屋税を滯納するもの續出するに至た偶々此狀況を目撃したる同人は自ら進んで立替納付を申出て差押官吏に迫留し代納を爲した町民は相寄り相會して此の美擧に敬服し以來各自相誡め大正十一年度の如き通町三四丁目に於て一人の滯納を爲す者なきに至つた。

一納税貯金を勵行して他に範を示す

宜寧郡芝正面杜谷里上村と云ふ部落に李率魯なるものがある大正三年穀價暴落し金融梗塞の爲面吏員は各里に出張督勵を加ふるも納税資金の調達不能の爲納税するものがなかつた偶々上村部落に臨みたるに本人は出張員の面前に蜜柑箱樣の小箱を持參し來合したる衆人に告げて曰く「この小箱の中には納税準備金を貯へてあります凡そ税金は人民と義務であります納税告知書を受け納付の期限を愆るが如きは國家に手數を掛け人民をしてなすべきことでありませぬ、故に私は金の手入りたる都度其内より十錢二十錢づゝを納税資金として貯へて居ります夫れ故今日斯る非常の時に際しても私は國民の義務を盡すことが出來ます」とて箱を毀ち十錢又は二十錢の銀貨約十五圓を取出し直に納税せり此を聞きたる全部落民は大に感動し李率魯を模範とし今日に至るまで全部落の各税の徴收成績郡内で最も優良である。

一毎朝三十分間働き納税資金を得

密陽郡初同面金浦里に安星鎭と言ふ者がある大正五年區長となり以來部落民の爲には何事にも勞を厭はず親切にして殊に納税告知書を發布すれば里内の税金を取纒め必ず指定期間には完納するを例とせり、最近其の附近に水利組合の工事創まるや其の工事場に自ら交渉し納税資金調達に困難なる者を集め毎朝引率し三十分間工事に從事せしめ其の勞金を税金充てる事とし熱心に實行せり爲に部落の納税成績頗る良好にして大正五年以來一人の滯納者を出したる事なく附近の部落亦之が爲に感化するに至つた。

一好きな酒を止め極貧者の爲に代納す

東萊郡日光面文東里區長に金仁圭と言ふ者がある文東里は總戸數七十戸計りにして住民は他に生業なく海産物を採取し辛うじて生活を爲せる貧村なるが爲納税不能の者往々あるを見て自己の好める酒を止め其の代金を集め置き納税困難の者の爲に代納せし爲に部落の納税成績頗る良好なり。

一毎日草履二足を作り其の代金を納税の資に充つ

昌原郡熊東面晴安里に李東應と稱する篤農家がある性質温厚にして勤儉每夜草履一足宛を作り其の代金を集め置き之を以て税金

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は必ず納期内に完納するのみならず親族知己の分迄も取纏め納付するを常とせり時に或は面吏員と同行し臨戸納税は大切なる事を説き或は貧者の爲には之を立替へ素平納税に準備をなし置くとの必要なるを説き聞かせる等篤行多し爲めに同里は何税に限らず納期内に完納し滯納者生じたることなし。

一酒食を節し納税の資に充つ

昌原郡昌原面中洞里に金快年なるものがある公共の事に盡し且つ租税其他の公課は未だ曾て滯納したることなきのみならず必ず自ら面事務所に卽納するを常とせり彼の隣家に滯納常習者あり面吏員の出張の度に或は姿を晦まし或は言を左右に託して其場を繕ひ納税せざるを常例とせしが或時面吏員の嚴重なる追及を受け困惑せるを見て自ら代納を申出で面吏員の立去りたる後其の夫婦を顧み懇に其の非を諭して曰く「納國税は民の義務である而して免るべき途なし且つ納むべき金額も苦痛すべき者に非ず平素の心掛に依り其の義務を盡し得ることは甚だ容易である自分は未だ曾て納期を愆たことはない素より好きな酒を節し食を減じて平素準備をしている、向後願くば平素必ず準備せよ」と彼大に感じ善良なる納税者たるのみならず此風部落全般に及ぶに至つた。

一率先納税し他に範を示す

洒川郡昆明面草梁里に李政奎と言ふ者がある地方の大農家にして公共の事に力を盡し殊に租税公課は納税告知書受領後七日以內に必ず面に持參納付するを常とし洞內の集會或は機會ある毎に税金の大切なる事及面の指定期限を守るべき事を懇切洞民に說き聞かせ又洞內の貧困者戸税を代納した事一再ならず爲に部落民の納税頗る良好なり。

一禁酒を斷行し其の代金を税金に充つ

南海郡三東面松亭里裵南鎭は公共心に富み租税公課金は告知書を受領したる二日以內に必ず直納せり斯の如く自ら制するのみならず他を率ふるに熱心にして嘗て其隣家に金富祚といふ者あり毎日酒に浸り家業を顧みず從て常に納税不良にして遂に滯納處分を受くるに至れり彼之を目擊し吾が部落より斯の如き者を出すは不名譽なりとて自己の納税準備金の內より之を代納し懇に平素の不心得を諭せり流石の無賴漢も遂に悔悟し以來斷然禁酒し家業に精勵し租税公課を滯納したることなく全く面目を一新するに至つた加之裵南鎭は目下國語講習會を開き青年の指導敎養に努力して居る。

一納税資金には別途收入を積立て準備せり

南海郡古縣面都馬里李延焃は農事に熱心にして郡より表彰せられたる事一再ならざる篤農家なるが其宅地內に約一反歩計りの竹林あり之より生産する竹の賣却代金は全部貯金し税金に充て告知書受領後數日內には必ず面に持參納付し未だ嘗て滯納をなしたることなし部落風を臨み一般の納税頗る良好なり。

一副業より得たる金を税金に充て告知書の發付を待たず納税す

河東郡良甫面知禮里金箕彩と云ふ篤農家は常時居室の壁に各税の納期を書付け置き其副業とする賣藥業より得たる利益を貯蓄し納期開始するや税金を携帶し事務所へ出張納付するを常とす又同人は青年等に對し「納むべき公金は人より先に納むる樣心掛けねばならぬ又若し納税を怠り官廳に迷惑を掛けるは良民ではありませぬ」と實踐躬行人の模範となつて居るのみならず貧困者の爲立替納付したことも少なくない。

一稼業に精勵し納税義務の履行に忠實なり

河東郡赤良面牛溪里金秉斗と云ふ篤農家は平素公共の精神に富み租税公課の如きは納税告知後三日以內には必ず完納するのみならず常に里民に對し「國民の義務たる納税は必ず履行せねばなりません私は納税告知書を受け納税を終らないと頭痛が起り食事

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に味がなく安眠が出來ません而し何事も餘裕のある身ではありませぬ故に一年中每日家族の食用米の內より三合宛づゝ引去り之を別途貯藏し一年合計一石八升の代金を稅金に充てます然るに近年各公課增加しましたから每晚藁繩十丈を拵へ之を以て不足を補充しやうと思ふ只今實行して居ります」と納稅の大切なることゝ準備の必要なることを他に說き聞かせて居る爲に同里は納稅頗る良好なり。

○咸北師範學校開校式

咸鏡北道に於ては大正十二年度より師範學校を新設することゝなり、四月より創設に關する諸般の計畫に就き準備中の所、各事務其緖に着きたるを以て、六月一日午後一時鏡城假校舍に於て開校式を擧行せり、當日定刻至るや來賓として中野知事繩島內務部長金參與官、下村學務課長下國道視學員等官民數十名、敎員生徒等着席先づ山口校長開式を宣して一場の訓示あり次で中野知事の告辭を朗讀し

告辭

敎育の徹底は醇良信愛の資に富み質實剛健にして、而かも知見高邁なる敎育者の力に俟たざる可らず、本道玆に師範學校を設置し諸子を敎養せむとする所のものも、畢竟するに之の精神の達成を期せむとするに外ならざるのみ、顧ふに方今文運頻に興り敎育の普及發達益々昌ならむとするは、洵に聖代の餘澤にして、慶祝に堪えざる所なり然りと雖も社會人文の進步は必ずしも世の健全なる發達を意味することとなし、卽ち學識如何に深遠なるも其の人にして若し良心明かならず、德操堅固ならずとせば、進て同胞國民の爲に幸福を圖ることなく、反て其の知術を逞うして私利を圖り、或は惰弱遊惰の風を馴致し弊毒を流すに至るなきを保せず、故に敎育の要諦は人格の涵養品性の陶冶を以て第一義となし、之に次ぐに知見の開發を以てするを要す、況や師範敎育の目的たる將來人の儀表たり、世の指導者たる人物の養成を目的とするに於てをや、冀くは敎職員各位並に生徒諸子は須く深く思を玆に致し、克く本校設立の旨趣を體し、黽勉努力以て善美なる校風の樹立と、其の健全なる發達とに努め、眞に師範敎育の使命を全ふせられむことを聊か所懷を敍て告辭とす。

次に來賓總代下國良之助氏の祝辭、生徒總代の答辭ありて閉式せり、因に第一回より入學志望者三百十五名の多きに達し試驗の上特科生三十八名、講習科生二十八名、合計六十六名を收容せりと。

○學校組合會議員改選成績

曩きに各府に於て執行したる學校組合會議員改選成績、京城、木浦、馬山、平壤、新義州、元山府、の分左の如し

府別	有權者數 大正九年	有權者數 大正十二年	有權者數 比較增	投票者數 大正九年	投票者數 大正十二年	投票者數 比較增	有效投票 大正九年	有效投票 大正十二年	有效投票 比較增	無效投票 大正九年	無效投票 大正十二年	無效投票 比較增	棄權者數 大正九年	棄權者數 大正十二年	棄權者數 比較增	議員定員 大正九年	議員定員 大正十二年
京城	七、八四〇	一三、四七九	五、六三九	六、二六四	九、五三六	三、二七二	六、二三五	九、四八四	三、二四九	二九	五二	二三	一、五八六	三、九四三	一、三[illegible]	一八	一八

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

木浦	四六一	七七四	三二一	三九八	六七六	五七六	—	六七四	—	—	五	—	六三	九六	三三	一二	一二
馬山	二六七	八一三	二四八	四九九	一三八	二三九	—	—	—	—	—	—	四四	[illegible]	一三	一〇	一〇
平壤	一、一三四	三、三一六	一、三八三	九六九	一、九七五	一、〇〇六	九六三	一、九三一	九八九	七	三四	一七	一三五	四三八	二〇五	一四	一四
鎭南浦	三〇六	七一七	三一一	四三五	五六三	一三八	—	—	—	—	—	—	八一	一五四	七三	一三	一三
新義州	三三〇	七五七	二二七	一九一	六六六	四七四	—	六六五	—	—	五	—	三四	七〇	三七	一〇	一〇
元山	八六五	一、三八一	五三五	六七六	一、一六三	四八九	—	—	—	—	—	—	一八四	三三〇	三六	一三	一三

而して之を當選者の新舊別、及其の職業別より見るときは

京城府當選者の新舊別　新一四　舊四
官吏、請負業各三、會社員、私立學校敎員各二、銀行員、辯護士、理髮業、質屋業、印刷出版業、旅人宿業、製造業、庶業各一名なり。

木浦府當選者の新舊別　新六　舊六
會社員二、貿易商、新聞記者、醫師、回漕業、酒商、雜貨商、米穀商、宿屋業、辯護士、運送業各一名なり。

馬山府當選者の新舊別　新五　舊五
新炭商二、會社員、吳服商、請負業、雜貨商、公吏、金貸業、質屋業、金物商各一名なり。

平壤府當選者の新舊別　新一三　舊一
會社員四、官吏、醫師、商業各二、公吏、金貸業、農業、電信機械業各一名なり。

鎭南浦府當選者の新舊別　新九　舊三
會社員四、官吏、雜貨商、書籍商、湯屋業、銀行員、精油製造業、廻漕業、酒類製造業各一名なり。

新義州府當選者の職業別　新六　舊四
會社員二、精油製造業、運送業、官吏、雜貨商、醫師、彫刻業、新聞記者、酒造業各一名なり。

元山府當選者の新舊別　新六　舊六
會社員三、官吏二、醫師、請負業、運送業、商業、酒造業、金貸業、信託業各一名なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

副業品共進會開催の趣旨

朝鮮總督府殖産局技師　石塚峻

全鮮副業品共進會は、來る十月京城景福宮内に大規模に開催される。既に京城には其の協賛會も成立し、着々準備中で、副業奬勵の結果が如實に現はれ、其の將來に多大の效果が期待されて居る。玆に同共進會の實際的方面に執掌して居られる石塚技師の談を掲げて同會開催の目的を紹介します。

近時大いに高唱せられつゝある副業政策の一大眼目とすべきものは、食糧の充實である。それに次いでは農家經濟の向上、貿易の進展である。食糧の充實は、即ち産米の增收、雜穀の改良增殖を圖ることに依つて、其の目的を達し得る譯である。農家の經濟を向上せしむるには、色々の方法があるけれども、先づ米作の增收を圖ることである。米の收穫が增加すれば、自然農家の收入が增加することになり、隨つてそれに依つて、農家の經濟が豊になつて來るわけであるが、更に夫等米作に依つて收入を得るばかりでなく、更に一歩を進めて、農作以外のものに依つて、農家の收入を增すことを圖るのが必要であ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る。これ即ち副業の必要なる所以てある。

　從來朝鮮に於ける副業としては養蠶があつた。朝鮮の氣候風土は、內地のそれよりも更に養蠶に適するとまて言はれて居る位てある。それて、將來大いに改良增收の餘地があるから、これに努力したならば將來相當效果があると思はれる。又畜產なども、觀方行り方に依つては一種の副業てある。其の他の副業としては、養豚、養鷄、養蜂等があるが、是等のものは、勿論朝鮮に於ては大いに行はれなければならぬものてある。又行るべき餘地があるのてある。

　又農業の原料品を以て謂ゆる副業品を造つて、其の收入を圖るといふことが、曩に申述べた如く、農業經濟の向上を圖る大眼目てある。所が悲しいかな、農村生活の原料品を以て造つた所のものは、未だ朝鮮に於ては微々たるものてあつて、これを內地の現狀に比すれば、甚だ劣つて居ると言はなければならない。併し、これは從前其の方面の指導、或は獎勵方法が充分に行屆いて居らなかつたに基因するものてある。とは言へ、從來副業の必要を認めなかつたのではなく、唯其處まて充分に手を廻すだけの餘力がなかつたのてある。併しながら、時勢は彼等を驅つて、農家に於ける副業の必要缺くべからざるものなることを感ぜしむるに至つた。幷て從來甚だ姑息退嬰的てあつた指導獎勵の方法を改善して、將來大いに發展せしめむと企圖せらるるやうになつた。是等の氣運に促されて、總督府當局に於ても來る十月副業共進會を開催することになつたのてある。

　此の副業共進會に依つて、今後著しく朝鮮の副業は發達するものと私共は信じて居る。其の一例としては、從前極めて微々として振はなかつた一二の副業が、少しく指導獎勵の途を講じただけて、可なり發達を遂げたものがある。即ち叺、繩、莚等は極め

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て短期間の間に朝鮮各道に擴り、其の產額又夥しきものである。これを統計によつて見るに、これは大正十年度分であるが、叺が三百四十萬枚で、其の金額八十七萬八千圓、繩三百九十五萬二千斤、其の金額二十萬圓、莚は九十四萬枚、金額五萬七千圓、其の他の藁類製品九十四萬六千圓、合計二百八萬圓といふ巨額に達して居るのである。斯かる次第であるから、今後我が朝鮮に於ては、將來大いに副業の興るべき餘力を有つて居るのである。

それでこの副業奬勵は、內地から見れば餘程立遲れの姿であるけれども、此の儘に放置するならば、何時になつても到底發達する時期はないから、此の際朝鮮の民狀竝に各種生產狀態に適する凡ゆる副業に付いて、研究調査の歩を進めて、積極的にこれが指導奬勵の計畫を立てるべく、其の前提として、前にも述べた如く、今秋十月副業共進會を此の京城に開催し、各道に亘つて大いに副業熱の鼓吹に努める積てある。(完)

朝鮮の特殊部落

朝鮮總督府內務局　李覺鍾

目次

白丁の緣起——白丁の解說
二、白丁の生活狀態
白丁の部落と戶數——白丁の職業——白丁の氏族——白丁の歌
青案歌——白丁の約束

一、白丁の由來

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三、白丁の待遇
　制度上の差別——社會上の虐待——李朝の白丁制治策——白丁の組合本部——白丁の解放——吉永洙の事例

四、泮　人
　泮人の稱號——泮人の由來——泮人の職業——泮人の生活狀態——泮人部落の改善と洪泰潤の事績

五、鞋　匠
　鞋匠の稱號——鞋匠の由來——鞋匠の生活狀態

六、衡平運動
　大勢順應の衡平——衡平促進の要件

朝鮮で特殊部落として認むべきものは、第一は白丁、第二は泮人、第三は鞋匠である。

古來階級差別の甚しい朝鮮に於ては、兩班から見れば、庶民七賤は皆是特殊部落であつた。吏屬官隷も、市井の輩も、驛卒も、僧侶も、才人(倡優)も、其の水平線以下の待遇を受けて居ることとやこれが傳統的に限定されて居ること、並に各々特別の部落を作つて他と平等な交際の出來ないところ等は、全く特然部落に相違ないけれども、此等の部類よりも、より以下の待遇を受け、四民平等の今日に於ても容易に浮び上らないと云ふ哀なものは、第一に白丁、次に泮人、鞋匠の三種である、玆に調べ得たるところの概略を述べて見よう。

一、白丁の由來

白丁の緣起　白丁の由來に付ては正吏に據るべきものが乏しい、丁茶山の「雅言覺非」によれば、有楊水尺者、本柳器匠遺族、其種落素無貫籍、好逐水草、遷徙無常、唯事畋獵販鬻柳器、高麗李義旼之子至榮、以楊水尺編干妓籍、徵貢不已、自玆以降、男生爲妓、女生爲妓、此吾東有妓之始也、水尺之名蓋本於此、今庖奴名日刀尺、庖丁、必治柳器、皆古俗之流傳者」とあり。

此れに由つて觀れば、今の所謂白丁は楊水尺から始まつたと云ふとが解るのである。楊水尺と云ふのは背韃靼族　一種て、高麗の國に流亡して來た、此の種族は由來殺生を好て畋獵を事とし、又常に水草を

逐つて移りつゝ杞柳の細工を爲し、其の妻女をして春を賣らしむると云ふ文化の低劣な種族てあつたから、當時佛敎國の高麗人から賤しまれ、容易に一般民庶と混合融合することが出來ずして、一種特殊の生活を爲す樣になつた譯てある。然し今日の白丁が悉く楊水尺の遺物てあるとは云はれない、麗朝來七八百年の歷史を經て來る間には、楊水尺と境遇を同じうする幾多の劣等種族があつたてあらう。此等が一般民庶と同化が出來ずして、楊水尺の群に投じたものもあつたことは想像に難くない、又偶には立派な名門の子孫て、政變其他不慮の運命て、誤つて白丁の

元山露國避難民收容狀況（其一）

部類に落下した者もあつたてあらう。李朝の文臣李長坤が、燕山君（第十三王）に罪を得て妻女を殺し尙州の白丁村に亡命した時、白丁の娘に戀して白丁の女婿となり、中宗反政の後徵召されて顯官に復し、白丁の娘も、勅旨を以て正妻貞敬夫人となつたことは野史の傳ふるところてある。

白丁の稱號　白丁と云ふ言葉は字義から稽ふれば必ずしも卑しむべきものでも無い。古來「無學文盲の男」又は「官職なき者」「靑雲の志なき者」等を白丁と云つた例もある、楊水尺一族を白丁と呼んだのは何時からのことてあるか詳かてない。けれども白丁を輕蔑する事實

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に比すれば、白丁の稱號は寧ろ尊稱云はねばならぬ。今日白丁と云ふのは屠殺、製革、杞柳細工を業として來た種族の一般的名稱となつて居るが、之を職業的に見て輕蔑した名稱には屠漢、屠牛坦、庖奴、庖丁、刀尺、皮匠、皮漢、柳器匠等の名稱がある。

二、白丁の生活狀態

白丁の部落と戶數　白丁は市街地の場末や村落の外れに部落を爲して、多きは數百戶、少きは十數戶同類聚團して居る、最も多いところは慶尙、江原地方て、昔の雲中道が其の根源てある、大體三南地方に多く、西北地方に少いのてあるが、職業の關係上全鮮に遍く分布されて、一郡に一二部落のないところは殆どない、全道を通ずれば尠くとも十萬戶はあるてあらう。

白丁の職業　白丁の職業に就ては從來と雖も特別の制限はないが、由來の沿革上自然一種獨占的職業が出來て來た、一は屠殺、二は製革、三は柳器てある。

(イ)屠殺業　就中屠牛は白丁の獨占てある、白丁は通常數人組を爲して屠具を携へて牛肉店や民家の招聘に應じ、其の報酬として牛の血、內臟及尾、足(食用として販賣)又は牛皮を受くるのが例て最も有利な仕事てある。若し常民が密かに白丁に代つて屠牛をする時は、白丁等は隊を組て押掛け、之を白丁仲間呼ばりして色々强談に及び、侮辱を加ふると云ふ始末てあるから、普通の人は皆之を避ける。現今屠獸場は府面の經營に屬し、白丁は屠殺人夫として雇はれて若干の日當を受けること、普通日稼勞働者と異なるところがない樣になつたけれども、普通の人は尙之を肯じないのてある。其他馬、羊、犬、豚類の屠殺に至つては常民も手を下すことがあるけれども、此れ又白丁の手を借るのが普通てある。

(ロ)製革業　屠殺業と相關聯して牛馬の皮を鞣すこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とも亦白丁の獨占事業である。地方に依つては鞋匠の職業になつて居るところもあるけれども、大體は白丁の專業である。近年牛皮が朝鮮の輸出品として重要視されてから、牛皮の製造は多く牛肉商等の資本家が經營する樣にはなつたが、實際の從業者は專ら白丁が之に當つて居る。

(ハ)柳器匠　是又白丁家庭の獨占的副業で、隨處に河邊叢生の杞柳を材料として柳行李、箕等を製造し、白丁の家族が之を賣つて步くのが例である。從つて河邊に自然生の杞柳も白丁の爲めに一種占用の緣故が認められる位で、普通の人は恥て之に手を出さぬのである。

又白丁の獨占事業ではないが、牛骨、牛脂の採取、蠟燭の製造、獸肉の行商、犬肉汁屋等も白丁の副業として行はれ、斃牛馬の處置や、野犬撲殺等も白丁の仕事となつて居る。

以上は白丁の獨占又は特に白丁としての仕事を擧げたのであるが、彼等の普通の生業は矢張農業である事は勿論であるけれども、現今の民籍には大概職業「屠漢」と登錄されて居る。

白丁は賤しいとは云ひ乍ら、斯ふ云ふ有利な職業があるから、彼等はよく孜々黽勉、家業に勵んで案外裕福な生活を營んで居る、中には地主や金持て、土地の兩班を凌駕する者も尠くない。

白丁の氏族　白丁の氏族は概ね其の系統が明確を缺く、是れ又其の歷史の然らしむるところで、來歷を明かに爲し得ないのであらう、從つて姓名があつて貫鄕がなかつたり、他の貫性の冒稱と思はしき者があつたりする、白丁にも矢張り全州の李や、金海の金と云ふ樣な各種の姓があるが、就中、卞、吉、洪は白丁の三大名門として算せられて居る。卞氏は東邦の儒賢卞季良の後裔、吉氏は高麗の遺臣吉再の遺類を、洪氏は李朝の叛逆洪景來の末孫であると稱するのであるが、勿論保證の限りではない。又其の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名は「小介」とか「今卜」とか「武守」とか云ふ樣な奴婢僮僕の呼び名に類するものが多く、仁、義、忠、孝の樣な立派な文字を用ゐたのはない、行列等は勿論無いのである。

白丁の教育　白丁は一般に無教育である、白丁部落の大なるところでは別に書堂を設け、儒者を迎へて子弟を教育するところがないではないけれども、一般の人々と平等な交際が出來ない關係上、白丁の子弟は從來一般の子弟と共に受學する機會が得られなかつた。現今普通學校に於ても一般子弟は往々白丁の子弟と共學を嫌つて、袂を連ねて退校するので已むなく白丁子弟を拒んだと云ふ例は尠くない。

白丁の宗教　白丁は由來無宗教である。其の職業の性質が仙佛の教と相容れないのは致方もないが、自由平等を説く耶蘇教も、兎角白丁には受け入れ難いものと見え、白丁の耶蘇教信者も、白丁部落に這入り込んだ布教者のあると云ふ例も聞かん。唯儒道の精神に至つては周圍の文化に感染されてか、白丁の頭にも孔孟の教は深く入つて居て、倫常の正しいところは庶民にも讓らぬ位である。

白丁の結束　白丁は同類の團結力がなか〳〵强い、是れ永年社會から虐げられ排斥されて來た結果同病相憐底の心地は常に同情を同類に求むるの外なく、彼等は事あらば必ず徒黨を嘯聚して對抗奔走する、從來外部の無理な迫害は此の手段によつて免れることが多かつた。從つて彼等同類間の相愛は一種特別なもので、男女老幼よく相扶け、如何なる凶年にも白丁部落からは乞食や行路病人を出さないと云ふ程である。

三、白丁の處遇

白丁は上述の樣な歷史の關係からして、其の處遇に於て從來非常なる虐待を受けて來た、制度の上に於ける差別は

第一　戸籍に編入されないことである。即ち白丁

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は國民として取扱はれない、奴婢の賤民と雖も皆戸籍あり人民としての分限があるに拘らず獨り白丁のみは人間の數にも入れなかつたのだ、詰まり歴代の法典には、特に取締上の規定の外白丁の身分に關しては何等の規定がない、從つて入學も科擧もあらゆる公權も得ることが出來なければ、國法上の保護を受くることも出來ない、其の反面に於ては兵役も納税も免かれたのである。

第二　居住の制限である。　經國大典刑典中「白丁團聚」の條に「京外白丁、盡刷分保各坊村、成籍、刑曹、漢城府本部、本道本邑、各藏一件。每年考其生産、物故、逃亡、啓聞置簿、逃亡者依徒流付處人逃亡例論（三度逃則斬）」と規定して居る、即ち楊水尺の種族は生來獰猛で、殺生を好み文化が劣等であるから、京城は勿論京外も雖も、之を普通の人と雜居を許すことは當地の治安上又風教上有害と認めて、村外一定の地域に集團せしめ、之を徒刑者同樣の扱ひを爲した譯てあらう。後に白丁も一部分農業に落付いてからは漸次溫良淳朴となつて來たので、禁制は緩された、けれども、此の規定は李朝の終まで存在して居た。

社會の虐待　右は白丁が今日の樣な特殊部落を形成しなければならなかつた主なる模樣であるが、一般社會上の差別待遇は更に甚だしいものがある。

第一　衣食住を人並にすることが出來ない。白丁が普通人と同樣の生活をすることは、普通人から見れば僭越であると云ふので、社會は色々制裁を加へて之を許さない、即ち白丁は瓦家を造り、又は瓦家に住居することが出來ぬ、絹帛の衣服を許さず、而かも周衣以上の禮裝を許さない、頭には笠子、網巾、宕市等を許さず、足には草鞋を許さぬ、外出の時は只平凉子と稱する荒竹編みの小笠に、革片か紙捻の紐を付けて束髮の上に之を被り、上衫下袴に草鞋を穿いて、一見如何にも粗末で賤しい風體をして出掛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

けなければならぬ。若し普通人の前で煙草を喫つたり、兩班の眞似をして色酒杯盤を列べて盛宴を張るものあらば、以ての外なりと咎められたのである。

第二　冠婚喪祭に禮法を用ふることが出來ない。

朝鮮の冠婚喪祭は禮記、朱禮に由ることを原則として、若し叛反する者は國法に依つて處罰されたのであるが、獨り白丁には此の法を適用しない、のみならず白丁が若し普通人に倣つて禮法の形式を用ふる時は、是又僭越な振舞であると云ふて咎められる、殊に衣冠輿車の類は絶對に許さなかつた、然し白丁と雖も禮義を知らぬ譯ではない、孝子もあれば節婦もある、親喪三年の間は殺生も飲酒食肉も愼み、父兄長上を敬ひ親族婚姻を避ける等、褒むべき美風もあるのである。

第三　一般人と交際が出來ない。　白丁は社會の如何なる階級よりも低い、謂ゆる水平線以下の者とされて居るから、如何に傑出しても一般の人と肩を比べることが出來ない、小兒奴隷の前でも常に屈伏し自から卑下して小人と號し、他に最敬禮を表して居なければならなかつた、詰まり白丁は普通人の居るところに立入ることも出來ず、用務の爲め民家に來れば庭先で用を辨じ、椽の上に昇ることが出來ぬ、常民にも途を讓り其の通過するまで手を組みて立禮すること、最も恭順にせねばならぬ、若し恭順を缺く時は村民合同して種々の私制を加へて之を懲した。又田舍の兩班等は、一寸氣に障れば何時でも白丁を捉へて勝手に監禁、笞刑を加へて居たのである、但し賣買、貸借、雇傭の契約や訴訟等は、相手方が普通人でも平等の關係に於て之を認められてあるが、若し爭ひが起れば大體は白丁が泣寢入をするが、普通人が白丁と折衝を重ぬることを屑しとせずして讓歩するのが常である。況んや普通の人と婚姻を通ずる等は殆ど無かつたのである。

以上によつて見れば、從來白丁が國家社會から如

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

紛議を裁決し其の取締に任じて居た。其の頭目を領位と云ひ、第一から第五までの領位が居て總支配、公役、裁判、營業、書寫等の任務を分掌する、又此等は臥食と云ふて、部下の所得から分配を受けて生計を維持して居た、平壤には「於可廳」其他の地方には「都中」と云ふて各其の部落に領位が居て、京城の都家と聯絡して居たが、李太王更張と共に自然消滅して仕舞つた。

李朝の白丁は斯くして治められ、幸に白丁からは大した犯人も出さなかつた計りか、時には國難に際し身を挺して君王の避難を助けた勤王家を出したと云ふ美談もあるのである。

白丁は大體斯樣に處遇されたものであるが、時勢の進步と共に其の待遇は次第に變化して來た、卽ち白丁も其の業態が進步して來て農を主業とする樣になると、其の性慣も生活狀態も普通一般の百姓と異るところが無く、之を何時迄も特殊部落に居住を限定して置く譯には往かなくなつて來た。

白丁の解放　そこで李太王初年には大典を改正して「白丁團聚」の條例を廢止し、次て甲午更張（明治二十七年）の時は四民平等の詔書を出したので、白丁の法制上の差別は、玆に全く撤廢された。以來白丁は居住にも、戶籍にも、納稅にも、徭役にも、制度の上では一切平等となつて仕舞つた譯である、然れども其の社會上の待遇に至つては、なかなか早急には改善が出來ない、永年の習慣は一朝一夕にしては改まるべくも無かつたのだ。

吉永洙の事例　往時光武年間に於て、尙州の白丁吉永洙は李太王の寵愛を受け一躍尙州郡守に任命されて、白丁の爲め萬丈の氣焰を揚げたけれども、永く鄕黨の尊敬を受くることが出來ずして、自から白丁部落を脫出して善心に移任し、勅許を得て吉治隱（高麗の遺臣本名再）の家系を繼いで餘生を送つて居たことは、世人の記憶するところである、因龍の力も思ひ半に過ぐるてはないか。（以下次號）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

面吏員の内地委託講習

京畿道内務部長　佐藤七太郎

面の吏員をして内地の優良町村を見學せしむることは、面治の振興上頗る緊要のことと認めらるるのみならず、内地の山川に親み、内地人の温情に接して、廣く之を面民其の他一般に紹介することは、所謂内鮮融和の上に於ても非常に效果あるを認め、本道に於ては一昨大正十年度初めて地方費の事業として、管下面吏員中成績特に優良なるもの十五名を選み、往復に要する旅費の外、講習中相當の手當を給して、之を靜岡外四縣の管内に於ける優良なる町村に派遣し、約三ケ月間町村並郡事務の見學を爲さしむると同時に、産業團體は勿論、青年團處女會等の活動狀況を視察せしめたるに、歸鮮後に於ける成績頗る優良なるものあるを認め、昨十一年度に於ては更に五名を増加し、各郡一名宛、全部二十名の外、振威郡に於ては別に面事業として五名を加へ、合計二十五名、之を佐賀外四縣の管内に派遣し、尚本年度に於ても同樣地方費の事業として、各郡一名宛の外振威郡面事業として四名、合計二十四名を茨城外五縣に派遣し、既に町村に於ける事務の練習を終り、前月末より何れも郡役所に移りて目下夫々郡事務の見學中にして、近く本月下旬を以て豫定の講習を終り歸任すべき豫定なり、今本施設の大要を述ぶれば次の如し。

一、講習員の選定

講習員は成績優良にして、永く面事務に從事する見込あるものより之を選定し、當初の大正十年度

は殆ど試驗的施設として、僅に十五名に止めたるも、其の成績の良好なるに鑑み、昨十一年度及本年度に於ては、各郡各一名宛二十名の外、振威郡內に於ける面事業として昨年度五名、本年度四名を同時に派遣し、道派遣の講習生と同樣の講習を受けしめたり、各年度別の委託町村及講習員の勤務地並其の氏名等別表の如し。

二、講習期間

往復日數共約三ケ月間とし、內二ケ月を町村に、殘餘の期間を郡に於て見學せしむ。

三、講習方法

町村に於ける諸法規、關係簿册の研究

町村に於ける產業敎育、其の他施設事業の視察及產業團體、靑年會、處女會、其の他各種團體の活動狀況並其の町村との連絡の狀況等を視察せしむると同時に、町村に於ける各係に分屬して、親しく實際の事務に携はらしめ、町村吏員をして之が指導に當らしむるは勿論、町村長自らも亦其の指導の任に當り、一面又郡縣に於ては時々其の狀況を報告せしむるのみならず、屢々吏員を派遣して指導監督に當らしめ、講習上遺憾なきを期し居れり。

四、經　費

地方費の支辨にして、初年度に於ては一人月手當五十圓、三ケ月分として百五十圓の外、往復旅費五十圓、合計二百圓を給したるも、地方に依り多少不足を感ずる嫌なきに非ざりしを以て、昨大正十一年度及本年度に於ては、往復旅費五十圓の外、三ケ月分手當として二百圓、合計二百五十圓宛を支給しつゝあり。

五、講習員派遣の效果

本事業が進步したる內地の地方行政を研究し、其の朝鮮に應用し得べき事項は採りて以て之を面行政の上に實行し、其の開發上稗益する所大なるも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のあるは勿論、比較的長期間麗しき內地の山川に親しみ、溫情ある母國民と相接し、眞の內地人を諒解して、歸鮮後之を面民其の他一般に紹介するに於て非常なる效果あるは、今更謂ふ迄もなき所なるも、尙本講習員の派遣は、一面朝鮮の事情を內地に紹介し、朝鮮の事情に暗き多くの內地人の誤解を解き、其の間非常の親しみを生ずる點に於て、一層の效果あるを信じて疑はず。

由來內地に於ける朝鮮人は多くは低級なる勞働者にして、其の言動は未だ朝鮮の實情に通ぜざる內地人をして、直に一般の朝鮮人を想像せしめ、一種侮蔑の眼を以て之を見つゝあるは事實にして、延いて內鮮融和の上に於ても遺憾とせず、然るに一度本講習員の如き、相當の經歷あり人格ある朝鮮人と相接觸するに於て、始めて眞の朝鮮人を知り、且朝鮮の事情を諒解するを得べく、實に本事業の施設は內地の事情を朝鮮に紹介すると同時に、朝鮮の事情を內地に紹介し、內鮮融和の上に於て著しき效果あるを認め居れり。

內地町村委託面吏員配置表（地方費施設）京畿道

大正十二年度

委託縣郡町村	在職郡面	職	氏名
佐賀縣藤津郡古枝村	廣州郡北內面	書記	柳志徹
	始興郡西二面	同	愼庚宅
	金浦郡陽村面	同	閔元植
	振威郡北面	同	△李圭燾
宮崎縣北諸縣郡高城村	加平郡下面	同	徐丙觀
	富川郡吾丁面	同	卞榮謨
宮崎縣東臼杵郡北方村	江華郡河岾面	同	尹灌
	振威郡芙蓉面	同	鄭英燮
岡山縣小田郡金浦町	開城郡臨漢面	同	閔泳麟
	龍仁郡外四面	同	李性珪
	長湍郡內面	同	韓相元
	振威郡玄德面	同	△李漢徹
	安城郡元谷面	同	李銘元

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正十一年度

委託縣郡町村	在職郡面	職	氏名
奈良縣生駒郡富雄村	水原郡陰德面	同	洪弼和
	坡州郡瓦石面	同	李圭復
	振威郡浦升面	△同	李[illegible]憲
滋賀縣甲賀郡宮村	廣州郡南終面	同	韓毅錫
	振威郡古德面	△同	邊東煥
滋賀縣滋賀郡堅田町	高陽郡崇仁面	同	趙源國
	利川郡清溪面	同	韓範錫
茨城縣結城郡西豊田村	漣川郡郡內面	同	洪淳郁
	抱川郡新北面	同	趙炳澤
	揚州郡榛接面	同	李瀰永
	陽平郡古邑面	同	禹相駿
佐賀縣東松浦郡七山村	加平郡上面	書記	李昌勳
	揚平郡龍門面	同	梁思[illegible]
	江華郡府內面	同	高濟夢
	振威郡松炭面	△同	李承達
	振威郡靑北面	△同	朴勝均
滋賀縣蒲生郡鎌掛村	廣州郡中部面	同	李吉載
	揚州郡州內面	同	朴鍾[illegible]
滋賀縣甲賀郡宮村	漣川郡旺澄面	同	權泰璣
	富川郡文鶴面	同	李元弘
奈良縣生駒郡北倭村	長湍郡津東面	同	宋祐源
	龍仁郡二東面	同	呂文鉉
	抱川郡西面	同	吳永[illegible]
	[illegible]州郡州內面	同	權重晩
	開城郡大聖面	同	李成雨
三重縣阿山郡小田村	高陽郡龍江面	同	林奉奎
	安城郡邑內面	同	朴興均
三重縣阿山郡鞆田村	利川郡邑內面	同	鄭純澤
	金浦郡陽村面	同	趙永萬
三重縣阿山郡玉瀧村	振威郡丙南面	△同	黃智燮
	坡州郡月龍面	同	閔載贊
千葉縣東葛飾郡新川村	水原郡峰潭面	同	李止範
	始興郡南面	同	金鍾璘
	振威郡西面	同	張澤鎭

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

委託縣郡町村	在職郡面	職	氏名
	振威郡梧城面	同	△朴喜秉
	振威郡北面	同	△金秉濟

大正十年度

委託縣郡町村	在職郡面	職	氏名
廣島縣加茂郡廣村	高陽郡漢芝面	書記	金在奎
	抱川郡一東面	同	沈戰就
	加平郡外西面	同	柳錫晶
靜岡縣駿東郡沼津町	水原郡水原面	副長	崔義相
	始興郡永登浦面	同	李鶴秀
	開城郡松都面	書記	石有根
岡山縣淺口郡三和村	楊州郡白石面	同	金東煥
	漣川郡百鶴面	同	陸榮爾
	利川郡柏沙面	同	任永淳
福岡縣筑紫郡大野村	驪州郡介軍面	同	韓相夏
	龍仁郡水餘面	同	趙炳詰
	振威郡古德面	同	文璣燮
佐賀縣藤津郡古枝村	富川郡桂南面	同	柳泰鳴
	坡州郡絛里面	同	宋秉德
	長湍郡津南面	同	吳震根

備考　本表中姓名に△印あるものは振威郡に於ける面施設の派遣員とす

元山に於ける露國避難民

浦潮政變の結果元白軍に屬したる軍人其他は各地に逋竄避難せしが、大正十一年十月二十三日夜汽船トングス號（四三〇噸）は、「ボールオズスキー」少將引率の下に、兵士四百九十八名（内重傷者六十三名輕傷者百九十三名、女子九十二名）を搭載、元山港に入港救護を求めたるに依り、二十四日元山府に於て不取敢重傷者應急處置の爲め、醫師二名看護婦二名を該船に派遣せしが、船内狹隘にして慘澹言語に

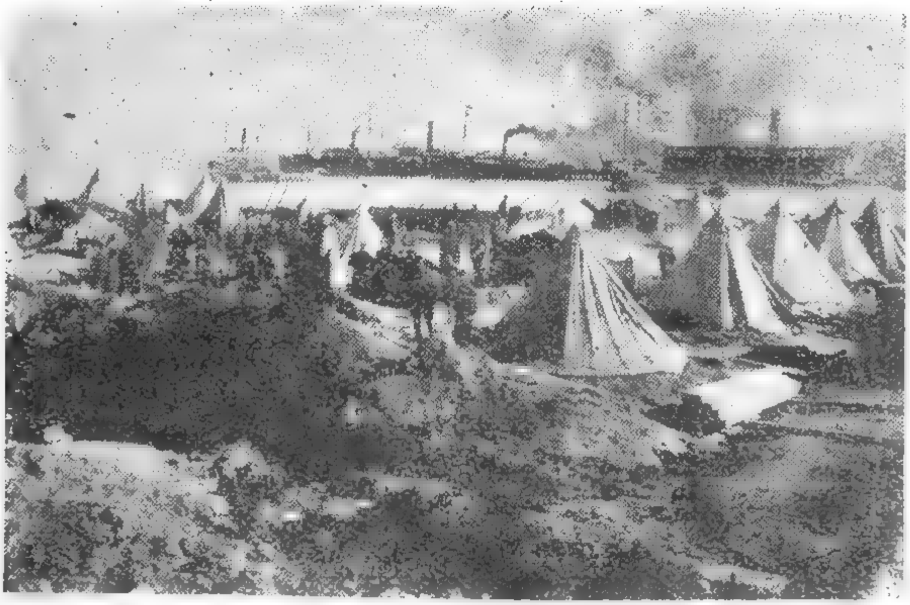
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

絕せり。

同二十五日午後四時、白軍所有船スメルチャック號(六七五噸)入港、スパスカヤ激戰に慘敗したる「ボルシロウスキー少將の部下パルミン大佐以下負傷兵八十四名、女三十七名、小兒五十一名、船員四十四名、計二百十六名を搭載せり、食糧盡き悲慘の狀況トングス以上なり。

此日初めて假上陸收容を開始し、舊稅關旅具檢査場に百名を收容、元山府內開業醫師、府立病院醫員等全部出動、施療に從事せり、當時收容人員二船を合せ二百八十三名あり。

其後十月二十七日、同二十九日、同三十日、同三十一日、十一月一日、同二日、同三日の數回に、汽船總計二十六隻引續入港、此搭載人員七千七百七十六人を算せり、右の內傷病者、傳染病患者、婦人小兒等は何れも上陸せしめ、舊稅關倉庫に之を收容救護せり。



元山露國避難民收容狀況(其二)

十一月二十一日、碇泊中の露國艦船の內十四隻、乘組員千五百人、海軍々人及家族幼年學校生徒三百三十五人、家族百二十九人は、海軍中將スタルク提督の指揮の下に釜山に向け出發せり。

右の外上記の如く十月二十三日以來、元山に入港せる露國傷病兵中、重傷者は約一週間滯在治療を受け、他の避

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

難民は、遠に奉天長春方面に向け出發したき希望を有せるも、旅費を携帶せざる者多きを以て、總督府に於て滿鐵と交渉の結果團體割引とし、旅費ある者は自辨せしめ、無き者は赤十字社に於て負擔することゝし、輸送せしもの自費出發六百二十五名、給費輸送千四百三十七名、計二千七十二名あり。

右同樣の方法に依り、避難民入港者の全部輸送の計畫なりし處、支那內地の通過を許さゞる旨同國官憲の故障あり、種々折衝を重ねたるも、絕對に拒絕せられ、送還する能はざる結果、當分收容救護するの止むなきに至り遂に今日に及べるものなり。

上記の如く四千餘名は夫々出發せしも、其の他は總て八棟の倉庫及天幕に收容せり。

元山收容所狹隘人員過剩の爲め、松田灣（文川郡明孝面元山港を距る海上十三哩）元海軍防備隊不用建物の使用承認を得て、約千名の避難民を同所に移送し、十二月五日より第二收容所を開設せり。

右の如く避難民の一部を松田灣に移したるも、尙第一收容所に於ける各倉庫狹隘、人員充溢の狀況を呈し、收容室增設の必要を認め、新にバラック五棟を建築し、內三棟は十二月二十七日、二棟は同三十日落成と共に、各倉庫より避難民を分ち收容せり。

避難民は成るべく早く適當の職業に就かしめ、自活の途を得せしむべく、元山及其附近並京城方面に於て之を雇傭せむとする者には相當便宜を與へ、之に應ぜしむることゝし、雇傭願書を受理したるもの八十三件あり、之に對しては雇傭者の身元、雇傭目的の適否等を調査し承認を與ふることに取扱居れるも、實際に於て雇傭に應ぜむとする者極めて少なく、右八十三件中個人及會社等の雇傭に應じたる者は、寫眞師の徒弟一人、私立病院の看護婦一人、農場の器械職工の三人、金鑛會社の三人のみなり。

江原道鐵原に、新に中央水利組合認可せられ、之れが水路開鑿工事人夫として、千五百人乃至二千人

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の避難民を雇使せむとする出願に對し、之を許可し三月三十日其の輸送を開始し、六月十九日迄に一千八百八十八名を同地に送遣せり。

咸鏡南道端川に於て、京城土木請負業盛陽社が請負たる鐵道線路工事に、避難民を雇使したしとの出願に對し之を許可し、四月十三日及同二十日の二回に三百四十名を送遣せり。

松田灣に收容せし避難民は、元山に於ける收容人員漸次減少の趨勢に鑑み、且火災警防其他監督取締上不便なる爲、四月七日全部元山に移轉併合し、第二收容所は同日限り閉鎖せり。

客年十二月新築したるバラック五棟は、單に防寒の目的を以て建造したるものにして、採光換氣不充分なるのみならず、床土常に濕潤し、衛生上不良なるを以て、本年五月以降其使用を廢止せり。

元山露國避難民收容狀況(其三)

前に記する如く勞働に堪へ得べき强壯の男子は、殆んど土工人夫に就職し、現在避難民の全部は老幼婦女病者等のみなり。

避難民收容以來親戚其他の緣故を賴り、又は病氣治療者は就職の爲め、支那滿洲地方に退去せしもの千四百八十四人あり。

鐵原水利組合及端川鐵道工事に、土工人夫として送遣せしもの丶內、勞働に堪へずして滿州里方面に退去せし者七十八人あり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

避難民中元白軍々人に屬せる、將校下士兵卒等は各其所屬部隊を異にせる處、少將レベデフは其の部下に屬せる將卒五百五十名、傷病兵十名及婦女子五十名、計七百五十名と共に露船エルドラー號に搭乘し、支那浙江省鎮海に向ひ退元せり。

七月十七日現在收容人員別表の通にして六棟（內一棟病室）の倉庫、艦船四隻（オホツク號八〇五噸モングガイ一、四〇〇噸、ザツ・シトニツク一、〇〇噸、プリシカ一六〇噸）に收容せり。

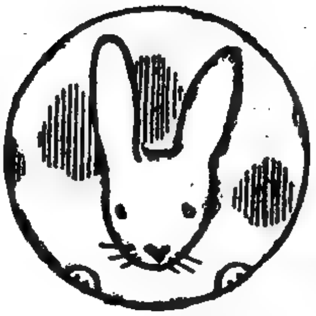
鐵原中央水利組合に出役中の人夫現在九百四十六人、端川鐵道工事同三百八人なり。

收容人員	二十歲以上			八歲以上			八歲以下			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
陸上	二〇三	三一〇	五一三	一三二	一一四	二四六	六〇	六八	一二八	三九五	四九二	八八七
船中	九四	一五	一〇九	七	四	一一	二	四	六	一〇三	二三	一二六

貧乏な百萬長者

「アイン・ミリヨン」はドイツ語の一百萬で、「百萬といふ數はどんな數か、これも伯林に來るまでは知らなかつた。ところが今伯林で日本金百圓持つて兩替屋に行くと、手の切れるやうな新しい紙幣一百萬マルク受取つて、一躍して「百萬長者」になれるのであります。日本に居る時、一生の中「百萬長者」になれるなどと、ただの一度だつて考へたことはありませんでしたが、何等の幸運ぞ僕も「百萬長者」の仲間入りをしました。しかし此頃のやうに物價が箆棒に高くては矢張りもとの「一萬長者」位であつた時の方がどれ位暮しよかつたかしれません。「百萬長者も吾輩の經驗からいふと、滅多になるもんぢやございません。」と伯林から

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



○黃海道面吏員選獎事蹟概要（二）

新溪郡赤余面長　朴　周　鉉

明治十六年八月五日生

一、略歷

（一）明治四十四年六月余面長に任じ同四十五年三月迄在職

（二）大正六年四月赤余面長（面廢合の際赤面と余面と合して赤余面となる）に任じ爾來今日に至る

二、人物性行

資性溫厚篤實廉直公平にして內外の信望厚し

三、勤續年數

大正六年四月二十七日本面長任命今日に至る五年十一ヶ月

四、事績

（一）面事務

面長就職以來鋭意面事務に鞅掌して整理刷新を圖り常に能く部下吏員の指導誘掖に力を致すと共に規律を嚴正ならしめ事務處理敏速正確文書帳簿は能く整理され成績良好なり又面民に對しては懇切指導に努むるを以て面長の命令示達等行屆き面民悦服し諸般の施設は殆ど遺憾なきまでに實行せられ內外事務整頓し優良の成績を舉揚せり

（二）農事其の他產業の改善

道郡の獎勵に基き孜々として實行に努め良成績を舉げ就中蠶業の普及發達大豆の改良增殖等は最も力を注ぎて數年來其の面目を一新せり又畜牛の改良增殖に努め數年來部落に牛楔を設置せしめ益々之を奬勵し其の他水稻小麥の優良品種普及に盡瘁して其の成績良好なり

（三）學事の獎勵

本面長は從來教育に熱心にして近年に於ては諺文講習會の開設に努力して相當の成績を舉げ殊に大正十一年赤余公立普通學校の新設せらるゝや校地の寄附校舍建築工事に關し斡旋盡力生徒の募集につき盡瘁せり

（四）道路橋梁其の他土木事業

面內道路の維持保全は常に能く行屆き又新溪新幕間の三等道路より分岐して本面に通ずる等外道路を改修して一層交通の便を致せり

（五）租稅公課及驛屯土小作料の徵收

常に納稅思想の涵養を圖り納期に際しては自身出張督勵に當る等納稅成績の舉揚に不斷に努力する結果一人の滯納者なく納期內に完納せしめ內部徵收事務の如きは關係帳簿書類等常に完全に整理せられ居れり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

黄州郡黒橋面長　權　寧　穆

明治十六年四月十一日生

一、略歴

明治四十五年六月黒橋面書記に任命大正九年九月黒橋面長に任命せられ今日に至る

二、人物性行

性質温厚篤實意思强固にして命を受けたるものは勿論自信の在る所は能く建策實行するの素性々有し部下の統御面民の指導上最も親切叮嚀を旨とし篤行一般に尊敬を受くること厚きのみならず警察官及驛員小學校普通學校職員とも能く聯絡を保ち公私共互に援助しつゝあり

三、勤續年數

明治四十五年六月七日黒橋面書記に任命引續き大正九年九月九日本面長に任命今日に至る十年六ケ月

四、各事項の成績

（一）面事務

同人は會計員在職當時より事務の整理に一層の注意を拂ひ大に見るべきものあり而して大正九年九月面長就任以來は一層其の熟練せる手腕を以て所内各地の事務に就き進んで刷新を圖るべく努力したる結果其の進捗圓滑にして報告回答等常に澁滞なく事務の整頓其の宜しきを得文書の編纂等は客年本郡開催、簿册展覽會に於て第四等賞を受けたり

（二）農事其の他産業の改善

常に農事改良の必要を痛感し水稻日之出種小麥カリフオルニヤ種の如き郡の指示に從ひ普及に努め大正十一年現在普及數量日之出種作付反別百二十五町歩の收穫高千三百五十石小麥カリフオルニヤ種作付反別四町歩收穫十六石を得たり其の他諸般の事項他面に比し優秀の方なり

（三）民心安定其の他

同人は新政に對し確乎たる信念を抱き常に内鮮融合を唱導し卒先内鮮人の交際に努め機會ある毎に一般に自信のあるところを説き來り、が大正十年本郡主催内地視察團に加はり三週間に亙り内地を視察して其の後は益々内鮮融和の必要を唱導し大正十年七月面内を五ケ所に區劃し面内有力者二百十四名を會して駐在警察官學校長等の立會を求め内地に於ける風俗、産業、道路、教育、衛生、納税等の實際狀況を紹介し專心一意施政の方針に恭順し内地同樣の發達を圖るべく力說して民心の安定を圖ると同時に各人の自覺決心を促したり

面長は部分的に實施を期すべく大正十一年中左記事項の決行を爲したるが如きは稱揚するに足るべし

(1)　面内等外道路の改修

面内各里間の通路は甚だ不備なるものにして雨雪の季節には人の通行さへ至難なりしが之が改修を一齊に行はしめ現在は面内何れの地を通るも人の通行は勿論牛馬車の通行上敢て至難ならざるに至れり

(2)　農家の便所を肥料舍兼用に改造の件

先づ龍淵、高井二ケ里を選び各農家に便所兼用堆肥舍を各戸に建

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

設せしめ順次他の各里に建設せしむる豫定なり而して右二ヶ里は殆ど完成せり

斯の如きは堆肥製造の奬勵は勿論衛生思想の奬勵に所謂一擧兩得の美蹟を擧げたるものと謂ふべし

(3)　共同浴場設備の件

由來朝鮮人は入浴の風習なく近來都市附近居住者は湯屋營業者ありて保健上差支なきも村落に至りては全く此の設備なく衛生上有害たるべきを憂へ先づ同面龍淵里を選び左記方法に依り共同浴場の建設を爲さしめ向後各里共是に倣ひ實行せしめむとする計畫なりといふ其の方法は一部落毎に一ヶ所宛建設し之が費用は住民の共同負擔なり

(4)　私立養蒙學校に官報及新聞購讀の件

村落各地には官報は固より新聞を購讀するもの稀なれば各地を通じて同一の狀態なるのみならず村落に於ける學校は所謂文化の中心として敎育の外一般父兄に法令の周知等を爲すにも重要機關たることを思ひ同校長と協議をなし朝鮮總督府官報竝每日申報の購讀を爲さしめ一般父兄にも兒童を通して相當の法令の周知世事の紹介を爲すこととしたるが如きは時勢に對する一方法として認むるに足るべし

(5)　消防組の設置

黑橋市は戶數百五十にして市街地を形成し比較的祝融の災害多きに鑑み同市に消防組設置の必要を認め駐在巡査とも協力し大正十一年中面內より六百餘圓の篤志寄附を受け消防組設置の業を終へたるが如きは其の間同人の奮闘努力の多大なるものあるを認む

(四)　地方發展上の努力

黑橋市の住宅敷地は鐵道用地を借受けたる一部を除き全部黃州面居住吉尾金治郎の所有に係り年々借地料增高し爲に住民の苦痛一方ならず新に移住せむとする希望者も自然躊躇し地方發展上にも至大なる影響を及ぼし來り各人に於ても之が買受を希望するも容易に協議纏らず多數の歲月を經なり面長就任と同時に之が買受に盡力すべく意を決し公務の餘暇自費を以て往復し所有者に對し年餘に亘り懇談又は事情を具陳し所有者も亦面長の誠意に動かされ遂に三千百六十一坪を一坪四十五錢に賣買成立せられ各建物所有者に買受せしむるに至りたるは全く同人の努力の結果にして現時價坪六七十錢のものを四十五錢に買受くるに至りたるは所有者吉尾金治郎の好意に依るべしと雖も亦以て面長の熱誠なる公共的心掛は之を稱揚するに足るべし

(五)租稅公課の徵收及共助組合貸付金回收

本面は郡內を通じ面積廣く從て租稅公課金額多き爲自然之が徵收上常に困難を感ずる所なり殊に一般に納稅觀念乏しく既往に於ける成績惡しかりしが同人就任後納稅觀念の涵養に努め彼の民心動搖の際に於ても不屈不撓萬難を排して納稅義務の說示適宜の督勵により既往四年間の地稅制戶別割徵收成績左の通にして郡內を通じ其の成績第一位を占む

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

地税調定額

年度	調定額	納期內收納額	未收入額	徵收步合
大正八年度	一、七四二 九三〇	一、五七二 〇五〇	一七〇 八七〇	.九〇二
大正九年度	二、三六五 三五〇	二、一九七 七三〇	一六七 六二〇	.九二七
大正十年度	二、九五五 二六〇	二、九五五 二六〇	— —	一.〇〇〇
大正十一年度第一期分	二、一一一 五八〇	二、一一一 五八〇	— —	一.〇〇〇

戸別割

年度	調定額	納期內收納額	未收入額	徵收步合
大正八年度	四二五 三五〇	四一三 六三〇	一一 六三〇	.九七一
大正九年度	一、七〇九 〇〇〇	一九三 五〇〇	一、五一五 五〇〇	.一一二
大正十年度	一、三五七 九一〇	一、二五八 一五〇	九九 七六〇	.九二七
大正十一年度	一、八八九 二四〇	一、八二六 二〇〇	六三 〇四〇	.九六六

六月三十日完納

共助組合貸付金　五千圓

大正十二年一月末現在償還額四千六百五十一圓四十六錢

同　償還未濟額三百四十八圓五十四錢

郡內を通じ成績第一位

(六) 教育

大正九年黒橋面に公立普通學校設置の議起るや平素の宿望を達したりと喜び早速面內有志と協議の結果進んで一般有志より臨時費補充として二千二百餘圓の寄附金を募集し學校設立上多大の便宜を與へ其の後も學校事業に對し陰に陽に援助するは同人の性格が教育に熱誠なるを證すべし

瑞興郡龍坪面書記　李　夏　遠

明治二十三年九月三日生

一、人物性行

資性温厚篤實にして勤勉なり幼時より漢文私塾に於て漢學を修むること十年餘素養淺からず人に接するに正直叮嚀にして而かも面內に於て上流の階級に屬し一般に信用厚く名望高し

尙本人は研究心に富み職務に關聯せる事柄に付研究を怠らざる結果事務に精通し國語を自習して能く普通の會話を辯じつゝあり

二、勤續年數

大正六年三月一日龍坪面書記に任命せられ今日に至る勤續五年十月

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三、主管事務の成績

大正六年三月面書記に採用せられてより財務に關する事務を取扱ひ同年十月一日面制施行と同時に會計員を命ぜられ以來專ら會計及出納事務に從事し今日に至りたるものなるが前後約六ケ年の間一日の如く事務に精勵し毫も倦怠の色なく職務に忠實なる結果成績見るべきものあり優良書記として郡内第一位を下らず其の成績を擧ぐれば左の如し

(1) 會計及出納事務

本人は性來頭腦精緻にして算盤に長じ常に研究を怠らず而も會計及出納事務は多年の經驗と不斷の注意と相俟て能く正規に叶ふ取扱を爲しつゝあり所定の帳簿を完備して記帳整理を怠らず細密なる注意を以て收支の適確を期し金品の保管取扱最も鄭重にして曾て過誤失態を釀したることなし證憑書類完備しありて手續を誤りたることなく殊に各帳簿の記載方叮嚀明確なるのみならず關係帳簿及書類編綴其の宜しきを制し整理行屆けり

尙面經費現金の狀況は預金機關たる金融組合は同面を距る一里なる璟興邑内にありて貯金の勵行に稍不便なるに不拘常に郡の指示を體し貯金と手許保管金との調和宜しきを制し毫も遺憾なし

(2) 租稅公課の徵收成績

本面は他面に比し總ての徵稅額多く是が徵收には常に困難を當めたる所なるも本人會計員就職以來專心徵稅成績の舉揚に力を注ぎ地方稅面費の徵收成績は未だ充分とは謂ひ難きも稍其の成績を改むるに至れり又大正十一年度地稅の徵收成績の如き一般經濟不況の際而も同面は大正十一年夏大洪水の際面民の被害夥しく徵稅極も困難なりしにも拘らず第一期は納期前四日第二期は納期前二十日に先ちて完納するを得たり是れ郡の督勵あり他の面職員の援助に俟つところ固より不尠に依るとは謂へ本人の努力に依ること最も多きを認む

四、其の他參考事項

前項に所述の如く主管事務に對し精勵する外尙上席書記として能く面長を補佐し同僚を指導誘掖し一般面事務の成績向上に意を用ひつゝありて面の施設事項計畫の如きも同人の力に俟たざるものなき有樣なり

長淵郡候南面技手　崔　能　完
明治十九年十月二十七日生

一、人物性行

資性剛毅篤實頭腦明敏にして事に當りて熱心なるのみならず人に接する懇切叮嚀なるを以て同僚間は勿論面長及面民の信望厚し

二、勤續年數

大正五年五月候南面書記を命ぜられ次で大正十一年十月同面技手に轉命引續き現今に至る六年

三、事績

面書記任命以來勸業及土木の事務を擔任し執務に當り忠實に勤勉且つ敏活なるのみならず常に法規の研鑽に努め同僚と共に克く面長を補佐し優良なる成績を擧げ而して大正十一年十月技手を命ぜらるゝや一意專心產業の指導奨勵に盡瘁し其の功勞尠からず

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

眞實に生くる爲めに

米村青波

一

一週に一度廻つて來る日曜日は、彼の荒んだ生活にどの位の潤であるか判らない。七日の間あの殺風景な、學校の教室で、西も東も判らない小供に、此の世のせち辛い生活の第一歩を教へる爲めに、身も心も疲れ切つてしまうのであつた。小供は此の世の寶である、どんな立派な人間が、自分の足らない教へ子の内から出るかも知れないと思うと、疲れ切つた心も蘇生して、自分の天職を盡して居るのであるが、夕方になつて其日の務を終つて家路に就く時は、疲の感じが一層甚しくなつて、全身を襲つて來る、時としては輕い眩暈すら起るのであつた。

それが七日目に一度宛神から與へられた休憩日の日曜は、謂ひ知られない慰藉であつて、總ての疲勞も惱みも皆んな忘れて、のび〳〵と休む事が出來るのである。雪國の此處にも春は間近く忍び寄つて來るのであつた、鳥の聲にも何となく朗かな音が聽くことが出來る。

今日は彼の待に待つた日曜である、せめて今日だけでも寢床に綴る〳〵と半日を過ごしたいと昨夕心を決めて眠たのであつたが、朝になると裏の鶏小屋から晴れを告げる聲や、東の窓の白み行くのを見て

は、とても彼は身を寢床に横たへて置くことが出來ないのである。隣の部屋から六時が靜かな朝の部屋部屋に響き渡ると、臺所の方では宿の細君が朝の仕度に水汲む音が聞える。いつもなら六時が鳴ると起るのであつたが、今日一日は身分の自由な身體だと思うと、もつと眠て居てもよい、もつと眠て居ようと心を決めて見たが、やつぱり眼は眠らうとしないそれでも起きる勇氣もない、思ひはそれからそれへと、飛んで今日一日をどうして暮さうかと思ひ煩うのであつた。

彼はとう／＼たまりかねて、ガバと飛起きて、手早く寢床を片付け、着物を着替えて廊下傳ひに庭に降るのであつた。其處には久しい間の寒さにすつかり霜枯れのした廣くもない庭が朝の日影にキラ／＼と照らされて、如何にも氣持ちのよい朝であつた。

二

樹と謂ふ樹は、今にも暖い風が吹けば芽を吹き出さうと夫々準備して居る。名も知らない草の芽がつく／＼と地面から頭を出して居る、彼は足元の地面を見るとなしに見ると、其處に思懸けないものを發見した、それは黑い土の中から一本青い柔いフリジャの芽が出て居るのであつた、昨日までは氣付かなかつたが、確かに彼が昨年此處に埋めたフリジャの球根からら出たものに相違ない。

同じ小學校に敎鞭を採つて居た、若い美しい女敎員Ｆ女が、東京の學校に轉任するので、其紀念の爲めに、彼の爲めに贈くつたフリジャの一鉢は如何はかり、彼の心を慰め、心を靜めたか知れない、日が經つと花が落ちて、葉が凋んでも彼は机の上から其鉢を取去らうとはしなかつた、全く枯れた樣になつたのにも拘らず、彼には其鉢に愛情の念があつたのであるが、宿の細君に注意されて、とう／＼或日の休みに鉢は机の上から運去られて、鉢から拔取つた球根を庭の地中深く埋めて置いたのであつた、それ以

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

來と謂ふものは彼は一層淋しい感じがすると共に、心は益々荒んで行くのを自分自身でも知ることが出來た。それから永い／＼寒い冬が來て、何時とはなく彼の念頭からフリジャの鉢の事が去つてしまつて居つたが、今端しなくも全く枯れてしまつたフリジャが蘇生つて新しい生命を吹返したのであつた、それと同時に彼の念頭には一度は全く消えてしまつて居た、F女の姿や言葉が新しく彼の意識に上つたのであつた。

彼は最初謂ひ知れぬ嬉しさが胸の中に湧てくるのを感じた、なぜそれが嬉しいのかは彼自身も判らないが、唯やたらに嬉しい、生き／＼として而も常に潤を持つたF女の目が面前にちらつく、それが消へると、燃る樣な血を漲らした唇を持つた、F女の耳縮た口から、彼に注がれた慰めの言葉は、今も耳に響いて居る、彼は彼女の最後の言葉を胸の中に今一度思出した。

『この花が來年咲く時は、私はきつと高等師範の寄宿舍からあなたの爲めに祈つて居ります』

これがF女と同じ小學校の門を潜つた最後の日の夕方、態々一鉢のフリジャを携へて彼を尋ねて來た時の言葉であつた、多感な彼は此の言葉にひどく感激してそれから何の話しがあつたのか、今は皆忘れてしまつたが、此言葉丈は明確と耳に殘つて居る。

三

彼女が彼れと同じ敎員生活を此處でして居た事は極めて短かい間であつたが、不思議にも彼とは一番心安くなつて居た、彼が病身で中等敎員になれない事を非常に悲しんで居た時に、慰めてくれるものは彼女一人であつた、彼女には立派な親や親戚があつて。彼女の希望を滿足せしめてくれるに不足はなかつた。勝ち氣の彼女は中等敎員の資格を得る爲めに東京の高等師範に這入る考へを持つて居た、その準備のために、この草深い田舍の學校から、あの華や

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かな都の學校へ轉校の運動が其效を奏して、遂にこの地を去つたのであつた。彼女と彼とは唯同僚としての知り合ひに過ぎない、このフリジヤは今新しい生命を吹き返して幾許もなくして去年の樣に花が咲くてあらう、而し彼女は彼女が最後に謂た樣に果して自分の爲めに祈つて吳れるであらうか。これが彼の胸中に今懸つて居る疑念であつた。又事實祈つて吳れても蝕食はれた自分の肉體はあの峯の白雪が知らない間に消えた樣に、此の片田舍に知る人もなく朽ち果てるのであらう。彼の思が此處まてくると、今までの喜ばし想な面影は、直ぐにうな垂れていつも淋しい悲しい顏になるのであつた、彼はもう庭に立つて居ることが出來ないので、急いで彼の部屋に這入つて、机の前に腰を落したまゝ呆然として居るのであつた。宿の細君が置いて行つた朝の食事に手を付け樣ともせずに、唯だ東の空を窓越に打眺めて其目には淚さへにじむで居た。

四

彼は北國の一農村の小學校教員として、彼の故鄕から出て來たのは、彼の中學校を終へて、高等學校へ這入ろうとして、身體の惡い爲めに醫者に注意せられたからであつた、彼は每日〳〵小作人の小倅や小娘を敎へて居るのであつた、今日しも彼の受持の尋常四年の女生徒等『みんなが不思議と思ふ事』『一番いやな事』に就ての綴方の題を課したのであつた、この問に對して一女生の書いた答へは、又しても彼の懊惱を增させる種となつた。

『私たちは、どうして此の世の中に生れて來たのてせう、私等は每日〳〵おなし事をくり返しながら、しまひには死んでしまう、私はをかしくてなりません』

『びんぼうになつたり、ふくしくなるのは、どうしてなるのてせう、私はいやて〳〵なりません』

一小女の答はこうてあつた、此の答に對して、先

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生てある彼に、何と謂ふて其疑を解いてやるべきてあらうか、否彼れ自身が自分の頭を惱まして居て而も解決の出來ない問題もこれてあつた、彼は自分の煩悶を無邪氣な小女達の慰めの答を期待して居たのてあつたが、反對に其答は深刻に生活苦に惱まされた、いぢらしい言葉てあつた。

『小さい子供は何も心配するな、安心してあそべ。』

そんな空虚な答えて小女の心を滿足させることは出來ない。

『貧乏などは氣にするな、富貴をうらやむのはいやしい事だ』

と謂ふて誤魔化すことは出來ない、彼自身てさえ、彼の小女が謂た樣に、貧乏になつたり、富貴になつたりするとは、どうしててあらうかと常々疑問にして居るのてあつた、彼の同僚てある先輩は、この小女の答を見て、鼻て『フヽン』と解決する丈けて、好い知慧を與へて與れない、彼が中學校や師範學校位ゐて敎えられて來た倫理や、心理のそれては、どうして始末にをへないのてある。後はどうして好いのか判らなくなつて、其目に涙がにじむのを覺えた。

五

この小女は此の村端れの小作人の娘てある、小女の親は今てこそ小作人に落ちぶれて居るが、其祖先はこの村の草分けてあつた、先代までは山から海までに他人の土地を踏まないて行ける位の豪農てあつた、それが今の父親が小供の時に、小女の祖父は山に手を出して家も畑も人手へ渡してしまつた。おまけにこれが因て此世を去つた、手車日傘て育てられた小女の父親は、其家運を挽回するには餘りに弱い肉體と精神との持ち主てあつた。漸く以前自分の使つて居た、小作の者の力添えて、他人の田畑を小作しては其日を暮らすのてあつた。昔ありし日の事を思出してはつい愚痴が出る。而して其に先立つものは涙てあつた、こんな家庭に成長した小女はいつも

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

淋し想にして居るのであつた、他の娘達が無邪氣に遊び廻つて居ても、彼の小女丈は何時でも學校の片隅に友達もなく、何か考へて居るのであつた、彼の小女の胸に秘められて居た考へが端なくも、多感な彼の話題を得て、切口から逆る血潮の樣に、鮮かに而も雄辯に人生の苦惱を叫んだのであつた。

『私たちは、どうしてこの世にうまれて來たのてせうか』

小女の家庭では二人の親達が其日を過ごすにも中々であるのに、小女と、今年やつと學校に上る弟とが產れて來たのであつた、小供の生れて來た事は確かに親達には謂ひ知れぬ苦痛である、さりとて生れて來たものには罪がない、苦しい內にも立てば步めと次第に愛が出てくる、こうして親達の苦痛は益々多くなつて來て、其負擔はとても負ひ切れない、そこで惡ひとは知りながらも、地主に對抗して小作米の五割減を言ひ出す樣になつた、これが爲めに地主からは嫌はれ、お上からは睨まれ、せめて小供でもなければ、知らぬ他國へても行つて働きも出來るのてあると、常に口癖のやうに謂ふて居るのを聞かされては、小女が『どうして私たちは此の世の中に生れて來たのであるか』と嘆くのも無理はない。

而しも少し考へて行くと、其處には悲みも喜びもない、をかしくて、馬鹿らしくなるのである。『私等は毎日〳〵ななじことをくりかへし、くりかへしながら、しまひには死んでしまう、私はをかしくてなりません』と哲學者の謂ひ想な言葉をこのいぢらしい尋常四年の女生徒の口から叫ばれたのであつた。

（つゞく）

常夏の國より

守屋榮夫

―他の追從を許さぬ英國の政治的手腕―文化的施設の完備―

常夏の國は英國の統治する所です。或人はこれを英國の牝牛だといひました。乳を搾りとつて本國を養ふの義でありませう。英國が印度に手を入れたのは一七五〇年頃からであつて、それから數ふればもう百八十年である、尋で一七八六年ペナンを買收し、一八一九年には新嘉坡をとり、同一八二四年にはマラッカを收めた。これ等の地はもと或は葡萄牙に又或は和蘭に屬したものであつたのを、英國の新進氣鋭な人才が、其の巧妙なる政治手腕によつて自國のものと爲したのである。かくして英國の手は倚東にのび、一八四三年の南京條約に依つて香港を其の掌中に收めたのである。是に於てか埃及より印度、海峽植民地を通じて支那に到る沿岸樞要の地は英國の領有に歸した。爾來英國は此等の地方に對して如何なる政治を施したか、私は現に親くし英國政治の下にある此等の地方を視察して實に英國人の政治的手腕の侮るべからざるものあるを見たのであります。英國人自身が世界第一の人を以て任じ、決して他に頭をさげぬといふ自慢は、今では各國人の鼻つまみになつて居る姿であるが、それにしても是等の瘴煙蠻霧の地を化して一大文明的市街を作りつゝある政治的手腕は、決して他の追從を許さないものがあると思ふのであります。

此等植民地に對する施設は大同小異であつて、所謂文化的施設が完備して居るといへば足りるやうに思ふのであります。詳しくいへば、

一、道路・港灣の設備の完整せること
一、水道・下水の完備せること
一、學校・博物館・植物園等を設置せること
一、運動場・倶樂部・ソーシャルホール等の完備せること
一、壯公會の寺院を有すること

等であります。

一　道路・港灣

上海へ足を入れたゞけでも、私は先づ其のアスハルト道が市街の中心地はいふまでもなく、サバーブの果てに到るまで完成されて居るのを見て驚いたのであるが、香港から印度に亘つても矢張りそれと同じ樣に道路が實に立派に出來て居るのに驚かされました。香港の市街地は勿論、其の島をめぐつて廿五哩の周遊路が谷

を渡り峯を越え海岸に沿ふて設けられて、僅に一時間餘にしてこれをドライブするやうになつて居りました、新嘉坡・コロンボ・ペナンも其の通揩サバーブを周遊する自働車道が開かれて居ります。カンデーへの七十二哩の道は谷を渡り峯を越えて行くのでありますが、坦々たるマカダム式の道路がつゞいて、自働車で七時間半で往復が出來るやうになつて居ります。これ等に對しては、不斷の修理が行屆くと見えまして殆んど橋の破れたものとか路面の凸凹といふものがありませぬ、そして道々でローリングエンジンを動かして一部の修理をして居るものを見ますのに、道路の片側のみを直して、故國で見なれて居る樣に全部の往來止をして居りませぬ。此等も誠に用意周到なやり方であると思ひます。故國などでは迚も問題にされぬやうでありますが、香港あたりの新地區の開拓には、先づ政府は道路を貫通せしめる、そして其の地方へ建物其の他の施設をなすことを獎勵するのです。從つて市街の體裁も、其の他水道・下水等の設備もよく出來るといふことです。故國ではタウンプランニングはいつでも住民の後から追ひかけて行きます。出來た市街を破壞して道路を作るといふやうな風で、三角の家とか五角な家とかゞ、其の無樣な記念として街頭に醜體をさらして居るではありませぬか。これ等は歐米に行かずとも、既に我等は啓發をうけてよいものゝやうに思はるゝのでした。香港も新嘉坡も天然の良港であつて、埠頭の外には殆ど施設の要がありませぬ。横濱や神戸などゝ比べまして、こうした天然の良港を持つて居る事が、實に英國の無限の强味だと思はせられることが多かつたのです。コロンボ港は英人が全然、海洋中に其の努力に依つて港を築いたものであつて、印度洋の澎湃たる怒濤を遮ぎる爲の防波堤は實に十數年の歳月と二千五百萬圓の巨費を投じて完成したものときゝました。之が眞の防波堤といふものでせう。水面から三十呎も高く、宛も一城壁の如く海にむかつて其の威容を示して立つて居りました。築設後數年ならずして、沈下し、龜裂し、海浪の飜弄する所となつて居る故國の防波堤のみじめさが、しみ〲情なく思はるゝのでした。

二　水道と下水

水道と下水とは私の立寄つた港ではいづれも完備して居りました。海峽植民地にしても錫蘭島にしても、嶋嶼又は海岸地であつても水流に乏しいのであります。從つて彼等は巨費を投じ雨水又は天然水を利用して貯水池を作り、其の水を濾過して供給する方法を講じて居ます。供給の方法についても文明的の遣方を用ゐまして、香港の如きは一千三百尺の山顚まで水道の水が自由に供給されるやうになつて居りましたのには一驚を喫しました。下水の施設も行屆いて、潮の干滿を利用して海洋に吐き出されるやうに作つてありました。

三　學校・博物館・植物園

本國人の子弟を敎育する爲の學校についても相當のものがありました。併し英國人は傳統的な方針として家庭敎育と私立學校とを重んじ、パブリツクスクールは殆んど貧民學校といつてもよいといふことです。これは日本と全く相違した現象であります。それでも植民地に居れば又相當の施設を爲す必要があると見えまして、コンモンスクールとか中等學校等相當なものが建てあるのを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

見らけました。其の外に彼等が必ず持つて居るものは植物園と博物館とであります。常夏の國は植物園を作るには最好の適地であります。彼等は非常に廣い地域を開放して樹木・花草を植ゑしめ、ビロードの如き芝生を作り、其の間に縱横の通路を拓いて自働車のドライブに便にし、其の中に又はそれに隣して運動競技の施設を爲して居るのです。植物園は繁華な市街の中に在つても宛然たる田園であつて、此處には街路の塵垢も飛來せず又喧騷も傳はつて來ませぬ。白日の光さへも繁茂する樹葉に遮られて居ります。ですから一度車をドライブして此處に入れば、身は全くの自然界に入つた樣に感ぜしむるやうになつて居りました。新嘉坡の植物園でありましたらうか、透き通るやうな池の面に目もさめるやうな睡蓮の花が咲いて、其のあたりに色形の鮮かな鳥が好音を弄して居りましたのは、佛教の所謂極樂が偲ばるゝ程でした。カンデーのペラデニア公園が其のうちにも規模宏大でよく出來たやうに思はれました。

博物館には土人に關係のあるものが多く集められて居りました。土人の住宅・衣服・家具・農具から武器・彫刻等の果てまでならべられてあり、一方には此の地方に於ける動植物の模型とか剝製とかゞ陳列されてありました。博物館を見て歩く間に、私の注意をひいたものは、土人の使用する面が日本の能の面に似て居ること、猿の種類の多いこと、殊に天狗鼻を持つた猿や鰐や蛇の數々、蛇のうちには紅いのも、黄色のも黑と紅とのまじつてるものもあり、多種多樣でありました。殊に毒蛇の種類の多いのに驚かされました。此等の外に其の土地の開拓に從事した總督や高官の記念物を蒐集して居る所が多くありました、新嘉坡のは其の開拓者のラッフルスの記念館だけあつて、四十五歳で逝去された植民地開拓者の若い寫眞や、其のむかし海岸の一枯邸にすぎなかつた新嘉坡と對比して現在のスバラシしい發展と其の苦心とを物語る幾多の資料を集めてありました。コロンボの博物館には佛教全盛時代の壁畫・彫刻等の蒐集があつて、これも頗る珍らしいものでありました。

四　寺院

香港では總督府の前、老樹鬱蒼たる所に聖公會の寺院がありました。其の木蔭に寄添ふて頑是のない子供等が樂しげに遊んで居りました。新嘉坡には政廳より程遠くない所で、廣い運動場の彼方に儼然として聖公會の寺院が建つて居りました。その日は丁度二月の五日(日曜日)の午後でした。私は物好きに其の中へ這入つて見たのです。番人も誰も居ないが扉をあけ放してありました。入口の左側にテーブルを置いて、其の上に會報とか雜誌とかゞ並べてあり、代價を記してあつて金さへ拂へば自由に求め得る樣になつてありました。それに隣して掲示板があつて、サーヴイスの日程が示されてありました。十錢を投じて會報を購ひ、這入つて見ると、是は京城の聖公會と同じ建方で總計八百人位も容れ得るでありませうか、兩側にテーブル付の椅子が竝べてあり、其の上に扇風機が天井からブラ下がつて居りました。聖壇の側にある大きなピアノ、牧師の乘る臺などが目をひきました、會堂の側面には此の教會に屬して既に天國へ入つた人のメモリアルの彫刻が多く見られました。私は聖壇の前にぬかづいて此處を去りました。其の後會報を讀んでみますと、毎月の集會に出で來るものが三四百

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人位で從來とあまり變らないことや煽風機について會衆の方から苦情があるから、リウマチスとか風邪にかゝつて居る人には申込によつてまわさぬやうにもするなど書いてありました。四千人も在留する英人のうちに三四百人位しか出席せないのを見れば、寺院の敎化はどれ程深いのか疑はれないこともないですが、併し政廳のある所に必ずこうした寺院を置いて官民の敎化に資しやうとして居る心掛は、これ〻看過することが出來ないと思ひます。

其の他我等旅人の目を驚かすものは、必ず立派な運動場の設置されて居ること、競馬場の設けられてあること、ホテルや倶樂部等の完備して居ることとでありました。ペナンやマラッカの如き小都市にしても、其の運動場の如きは數哩に亙る廣さで、ローンが美はしく觀覽席・休憩場の設備等實に整頓したものでした。

――統治機關と成功の原因――

香港・海峽植民地・錫蘭島は皆英領植民地であつて其の政治の方法を一にして居ます。即ち文官として總督があり武官として軍司令官あり、共に親任で、權限は兩立し、從屬の關係に立たない。總督府に事務官等を配置して居るは勿論でありますが、其の下に行政參議會と、立法參議會とを有して居ります、參議會は官吏と民間の人物とより成るのです。行政參議會は官吏側五名、民間二名、立法參議會は官吏八名、民間六名であつて、民間の人物は總督の上申に基き政府の任命にかゝるものであります。香港・海峽植民地では、民間側に支那人の有力者をあげて居りました、參議會は總督の諮問機關であります。（つゞく）

畫題

西小門人

（四）

Hは默つてYの所作を見て居つたが……

『君、情ないね、立派な畫題と、微温湯の交換では……何とか、君、渇きの止るやうなものを出せよ、無いか？』

『分つた、君の話は麥酒を出せと云ふのだらう、夫れなら夫れと早く云へばいゝに、咽が渇たとか、畫題と微温湯との交換だとか……明瞭に云はないから……僕のやうな表裏を縫ふて歩くことを知らないものには、廻り遠い謎は禁物だよ……よし、之れだろ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

う』

と、Yは立つて、後ろの押入から繩にからげた半ダスの麥酒を出した。それを机上のナイフを取つて、結へた繩をすた〳〵と二三箇所切つた。

『夫れだよ、君は理解があるね、同情の所有者だ‥‥實はね、僕は二、三日前に、麥酒瓶が斯ふ繩て捕縛されて居る所を鳥渡見て居つたよ、ハッハッ‥‥此頃の陽氣ては麥酒が一等だね、有り難ふ‥‥』

Hは自ら立つて呼鈴を押した。

俗稱二郎と呼ばるゝ朝鮮人の給仕が、ドン〳〵と梯子段に音をたてゝ上つて來た、トンと襖子をあけて立つた儘

『何てすかッ‥‥』

二郎は、無愛相に大きな聲で物を言ふ男であつた。

『オイ二郎君、コップを二つとね、栓拔を持つて來て呉れ、‥‥それから俺の部屋へ行つて‥‥よし、待て、コップ栓拔だけていゝ、持つて來て呉れ』

Hは恁う云つて自分にも立ち上つた、そして二郎の後を追ふて

節　序

夏もやう〳〵ふかくなりぬれば、木としてしげらざるはなく、草としてさからざるはなく、日々に物を引きのぶるやうに見えて、ひたすらに、綠の色深き夏木立こそ、花にもをさ〳〵おとるまじけれ。春の花はところ〴〵にさきてまれなり。夏は山も里も、あるとしある草木ごとに打はへて、皆、綠のいろなれば春にことなるながめなり。やちくさにうゑあつめてなづきひし前栽の草木ども、雨を帶びて、各其の梢をあらはし、所得がほに、心にまかせておひしげれるも、うれしと見ゆ。むかしおぼゆる花たち花のかほれる夜は、おひかぜもいとなつかし。早苗とるころ、田家は、雨をまつ得て、いそがはしくにぎはし。此のごろ、やり水のほとりにとぶ螢の、おともせですだくを見れは、なく蟲よりいとあはれむべし。夏山のけしき、青みわたりたるたかき峰、おほそらにつらなりて、雲の外にそびえたるをあくまで見るこそ、ことにすぐれて、心を快くするなかめなれ。白樂天が眼を放にして青山を見るといへるがごとし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

梯子段を下に行つた。

Ｙは一人取り殘されて、今迄のＨとの對話も些も念頭に無いと云つた風に、しげ〳〵と先きの屛風を見て居つた、下宿のお神さんの瘦形な、そして昔の名殘を包むでどこか艶かな姿て、茶の間に在る火鉢の前に座つて居る有樣が、屛風の上に浮き出して居るやうに、旨く書かれたのを飽かず眺めて居つたが、今一、二加筆すべきの所があるので繪具を入れて居つた。

二郎は聽て、陰の禿げた丸盃に、コップ二つと栓拔とを添へて來た、Ｙは振り向いても見なかつた。

哀れなるＹのアトリエには、雜然として物が散らばつて居つた、屛風の横にはビールが六本立ち並んで、繩切れが無雜作に散つて居る。繪具皿もあれば、筆洗もある、硯、筆筒、下繪の紙片新聞の讀みさし等が、思ふさま取り散らしてある。

雜然たる部屋の中は、窓硝子を越して夕日影が暖く流れ込むて、柔かい鮮かな春の光線が、屛風の繪を一層美くしく見せて居た。

Ｈは暫くして、罐切りと、何かの罐詰二三品を胸に抱へてもつ

みな月の頃になりぬれば、はし居の風したしく、わらふだしきてをるも心よし、池の心ふかく、蓮葉のにごりにしまずして、花ならで夕かぜにほひわたるだにも、ことくさにすぐれたり。ことに、花のゑみのくちびるひらけたるは、所ぜまきまでかほりみちて、世ににたるものなくきよらなり。涼を遂ひて木陰にやすらひ、木々の下風なづかしきに、清き泉をむすび、夏をわするゝ心地するも、いさぎよし。光明らけき夜半の月を、清き水にやどして見るはさらなり、やり水のをとなどきくも、いみしう心ゆくばかりなり。日ごろへて、あつさたへがたきに、夕立のしぐれわたりて、などりすゞしきも、いと心よし。清少納言は、夏は夜といひつれど、ゆふべは蚊と云ふ蟲、人をさして、年老いては、ことさらいみじうたへがたければ、只、このねぬる朝けの風のすゞしきこそ、きよくして心にかなひ侍りつれ。

志士惜㆓日短㆒と、傳玄いへり。然れば、人皆苦熱我愛㆓夏日長㆒と柳公權がいつるも、うべなるかな。くれかたき夏の日は、ものまな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

で來た。そして散らばつて居る座敷の一部に、自ら座布團を敷いて座つた。
『いゝものが有つたよ、罐詰が、之れで一杯飲むことにしやう、……もう繪をよせ、明日にし給へ、夫れより一醉を買つて、僕の畫題を説明しやう……』
『ウム、鳥渡待ち給へ、今止めるから、先に初め給へ』
Yはまた繪筆を離さなかつた。

（五）

Hは持參の果物罐を切つたり、コップを穢な相に紙で拭いたりして、Yの筆を止めるを温柔く待つて居つた。
『アヽ、今戻つたよ、御馳走があるな、之はよい處だ』
と云ひながら、痩形の好男子S君が這入つて來た。
S君は東洋協會出の若い美男子である、未だ歳は二十八九歳であるが、卒業後官廳の木葉役人から勤めて、もう六七年にもなるのである、國元が相當の資産家であるから、卒業後の收入は、自分の下宿生活費と道樂費とに費消するのであつた、だから酒も飲

び、わざをつとむる人のために、まことに賞すべし。されども、炎暑のさかんなる時は、萬國紅塵の中にあゝ如く、すゝろに汗あゆるはがりにて、身の力よわりて、いとたへがたければ、夏のすぎゆくは、春秋のくる日、冬のをはりなど、名ごりをしむるにかはりて、みな月ばらひする比になれば、心よし。只年の半までにすぎゆくこそ、いとをしむべけれ。

さては畫舫ならぬ木の葉の小舟に、日のとつぷり暮れはてたる川邊を靜かに河下へ行り行けば、月清ふして、露の寂寥いと滋く、兩の袂に深い思ひを秘めて、些少停めば、何處の家に吹くや、切々の笛の音風に飄りて。餘音嫋々と思は更に深うなりゆく。

げにうたてくも夏は深うなりて、肌吹く風のいと冷かに、秋の色は何處からともなく立ちそめけり。

めば女の噂も多かつたやうだつた。

Sは、今日朝早くからHに連れ出されて、終日飛び歩いた擧句、Hと別れて一人で馴染のバーに這入つて、固い肉と、色の附いた酒とを味つて、女と笑談を云ひ合ひして今歸宿したのであつた。

『今迄何處をぶら〳〵して居るのだ、亦例の金松亭か、お鶴さんを見に行つたのだろう、止せよ、八重子に云つて遣るよ』

Hは先づSの話相手となつて饒舌をつゞけた。

『お鶴つて何だよ、フフ‥‥僕はそんな女は知らないね、全くだ、友人の所へ寄つて居つたよ』

『嘘、‥‥嘘を云つつてら、チャンと顔に書てある、酒くさい呼吸を出してさ‥‥若い者は、どうもならんね、Y君そうだらう』

HはYの應援を求めた。

『二人共同様の罪人だね、兄たり難し弟たり難しの方て、よつく揃つて居るね』

とYは最後の筆を納めて、そこらを片附けながら言つた。

『まあ何れにしてもいゝ、ビールを拔かう、その栓拔を借し給へ』

Hは、Yの押しやる盆を引きよせて、手際よく栓を拔いた、二つのコップに波々と焦茶色の泡立つ麥酒を注いだ。泡立つビールは微かにコップの縁を傳ふて盆の上に溢れた。YとSとはHの所作を見て居つたが、盆には二つの洋杯よりなかつたので、Yは横手の呼鈴を押して更に二郎を呼んだ。

二郎は、メリヤスの古ぼけたシャツの上に、誰かに貰つたらしい一枚ぎりの單衣物を着て居た、この薄汚い身姿を下宿人が嫌ふので、お神さんが白の上つ被りを一枚奮發して着せて居つた、が、それももう大分汚れて居た、間拔けて大きな聲をする十八九の若者て、足まめに使ひ走りするので皆なに可愛がられて居た。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二郎は早速上つて來た、コップの追加と、夕食の三人前を此部屋に持て來るやうに命ぜられて出て行つた。

二郎は間もなく第三の洋杯を持つて來た。三人は貪るやうにビールを呑みながら更に話しつゞけた。

(六)

Sは、偶然思ひ出したやうに恁なことを云つた。

『今日、奬忠壇で見たKさんの連れの女……』

SはYとHとが先きから、破天荒の畫題だの、お茶の代りの話題には惜しいのと云つた交渉を知らなかつたから、ましてHが之を煎汁にして飲むべく謀計むで居るとは知るよしもなかつたから、今日見た事件の披露をしやうと思つて居たのであつた。

Hは驚いてSを制した。

『S君、待ち給へ、その話は鳥渡待つて呉れ、僕が說明する責任がある、此麥酒の代償として、僕が話さなければならないから』

『Kさんの……』

『夫れだよ、その話は待ち給へ……今僕が……』

『何だか薩張り分らないね……』

SとHとは、今Yの前でKさんに關する女問題でその發言權を爭ふて居つた、Yは、その爭から推して考へて見た、それは先きからHが大事相に惜しむて居て、ヤレ麥酒の代價だとか、破天荒な畫題だとか云ふ意味の內容が、整然と分つて居つた。

『いゝてはないか、誰が話したつて同じだよ、ビールの代價なら二人とも話す責任があるとも云へる、けれど……ね、ハハ……K君の側の女なら僕はもう見て知つて居るよ、騷ぐほどのことはないさ』

『え、Y君は知つて居るのか、困つたな、噓だろう知つて居るのは……』

Hは、自分のみが知つて居ると思つた祕曲を、他にも知つて居るものがあるかと驚かざるを得なかつ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たのである。

『アフ…嘘なものか、僕はその女と話までしたことがあるは。その面會がまた偶然でね… 鳥渡面白かつたよ、或るとき僕がKの部屋に突然這入つたと思ひ給へ、いゝか、そうすると其所にKと一人の婦人とがあつたよ、僕は何だか工合が悪くつてね、…坐ることも出來ずさ、出て行くわけにもならず、…まあ惘然と立つて居つたさ、するとその女の人がさ、火鉢の側に座席を作つて呉れて、…さあ何卒、妾はKの家内で…何分ともよろしく…とか何とか云つたね、僕は勿論、Kも面喰つたと見えて苦い顔をして居つたよ、… ね、僕の方がよつく知つて居るよその女なら』

Yは、先日Kの部屋で惹起した一場の喜劇を思ひ出して皆なに話した。

『或る程、それは見物だつたろうね、Kのどぎまぎした樣子、Yの惘然した顔付、洒然たる女の態度、それは面白かつたろう、然しそれは曾我の家式の喜劇の一幕だね、繪にはならないね、其の點になると、僕等の今日見た場面は、全く美的と謂ふべしだ…ねS君』

『では、あの女の人は、Kの奥さんかね…』

Sは不思議そうな顔をしてHとYとを見た。

『そうだよ、奥さんだよ、Hは何と云つてもいゝ、あれは奥さんだよ、…て…今日奬忠壇を連れ立つて歩いて居つたのか…え…H君』

『そうだよ、僕等は丁度松の木の下で腰を卸して煙草を吹かして居つた、するとその前を若い燕が並んで喃々私語しながら歩いて居つた、それがK君とその女だつたよ、SはKさんと呼びかけたが僕が止めたよ、二人は親密そうに話ながら歩いて、僕等には氣附かずに居たらしかつた』

『ではK君は君等の居たのを知らなかつたな…』

『勿論、カメラがあるとよかつたけれど、惜しいこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とをしたね、あの親密らしい工合を鳥渡撮影して置くとよかつたけれど』

『それでK君を強制(ゆする)る種に……』

『そうではないさ、君に見せる畫題の粉本にさ……ハッハッヽヽヽ』

『ハッハッヽヽヽヽ』

『ハッハッヽヽヽヽ』

三人は笑ひ興じた。

間もなく、二郎が例の姿て、夕食の膳を三人前運んで來た。膳の上のお菜は、新にビールの下物となつて、洋杯の數が更に重ねられた。

× × × × ×

Yは四、五日してから、例の屛風に、若い男と女の連れ立つた繪を書き加へた。(終)

不老不死の藥

亞米利加印度人中に、一つの口碑がある。彼等が靈の神として崇むる大アカノスタは何程年を重ぬるも老ひず、常に壯年の容貌と元氣を有ち、數百歲の後に死んだ。彼の生活は只だ異とすべきは、每年時を定めて其姿が見えなくなることで、歸り來る時には彼が元氣に滿ちて居ることである。同種族のものが、彼に對つて其秘密を尋ねたところが、彼は答へて、何の秘密もない、只自分は多忙の生活を離れて山奧に分け入り、鹿や兎や猿を侶として快く遊び、松林の中に眠り、溪間の清流を掬つて飲むのだと云つた。併し俗人等は之を信ぜず、彼が山間に於て不老不死の靈泉を發見したのだと思つて居た。此口碑が米國及び加奈太に於て國立公園を設定するに至つた主なる動機だと云はれて居る。要するに不老不死の藥は適度の運動と、榮養的の食物と、淸冽の水と、山間若くは海邊の空氣と、而して一定期間其常職を去り、一切の係累を忘れて閑地に休養することである。(アウトルック)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

錦心繡腸

岩溪　裳川選

（丙賞）

大同江畔

桂田　李慈仁

吟屐探春興不窮。大同江畔彩霞中。清流岸暖迎朝日。浮碧樓寒送晩風。千古無情芳艸綠。百年有恨落花紅。山鳥一聲蕭寺近。滿天細雨下濛々。

三和花園

綠楊如雨洞天深。滿逕蒼苔屐底侵。紫蝶黃蜂團作隊。碧桃紅杏簇成林。形々色々眞堪賞。曲々方々更欲尋。唱到新詩奇絕處。百花叢裡一啼禽。

裳川曰。明淨整齊、佳語霏々、如吐玉屑、七律正宗。

春日幽居

崔璟俊

草堂春雨掩柴扉。萬事悠々一笑揮。生憎簾外新歸燕。似向幽人說是非。

裳川曰、細心巧筆。

夜歸

獨步月三更。石程杖有聲。家人猶未寐。燈影隔溪明。

裳川曰。語意高簡、迥出塵外。

夕陽

遊絲萬緒盡斜飛。撫笛漁歌次第歸。群動定巢當寂々。細書對眼轉微々。雨過東峽虹双架。水近西樓月半扉。己矣難同今日盡。惜陰何事古來稀。

裳川曰。情中有景、景中有情、隨處散彩。

夏夜吟

金炳達

露華滴々夜清空。萬物如眠不動風。最愛庭邊楊柳影。般勤隨月入堂中。

裳川曰。語簡而靜、紙上有涼氣襲人。

美人

爲君姿色惜年催。紅暈初生卯酒盃。兩家未了孤山約。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

迨吉窓前忽到梅。

裳川曰。嬌[illegible]逼來、讀者[illegible]。

綠陰　　洪淳一

赤帝騎龍來不遲。花陰薄々綠陰垂。日長値此秀葽節。
葉密非前喬木枝。竹裏碁明局宜對。林間遊客席頻移。
願將一秣清涼氣。欲遍四方我自知。

裳川曰。綠陰半欄、詩客碁友、有此清興、超拔可喜、又可羨。

觀巖島　　申泰鎮

一幅青山海上開。雲濱霧麓總樓臺。會應此境群仙住。
被奪人間幾歲回。

裳川曰。人一遊此地、眞有羽化登仙情、余亦忘歸者。

偶成　　菊畦　西川光

我心笑比玉壺清。眼底乾坤寵辱輕。落々誰憐貧處士。
陶々自喚醉先生。百年天地風流事。十里江山笑傲情。
閉戸所親惟筆硯。有時吟屐訪花行。

裳川曰。貧處士、醉先生、有此風流、可見此笑傲。

夏日　　星海　入島古

潺湲只聽石泉音。花後山村興趣深。庭有百千竿綠竹。
清風戛玉韻干琴。

裳川曰。詩亦韻于琴。

初夏偶成　　醉溪　喜多澄

溪泉洗耳響淙々。望入千峰又萬峰。臥讀南華經半卷。
茶煙一片上長松。

裳川曰。幽情得趣。

三月三十日輓本田退庵　　驥山　川村愼

久交呼爾汝。青眼有斯人。把酒吟花月。論書慕漢秦。
雲霞今范謝。膠漆古雷陳。死別吾長記。風流頓蠹春。

裳川曰。字々靈動、句々響應、久交二字、領起下三十八字、雲霞膠漆、何等適合、人皆知告之于目睫間。

夫漢詩者、東洋之一精華而關風敎、陶冶性情甚大也、今奚要喋々呶々哉、吾誌這回特設漢詩欄、冀大方諸彥、乘忙中小閑、投高什佳篇、其規定則記在卷末焉。

編輯局敬白

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會告

本誌は朝鮮地方行政に關し大方各位の御投稿を歡迎します、殊に各道内に於ける民心の歸嚮、內鮮人の社會狀態、教育産業の振否、民間の起業、官廳の諸施設等本誌に掲載して自他の參考となり資料となるものは、乍御手數續々御寄贈あらんことを冀ひます、其の特に調査に勞費を要する事項は相當の原稿料又は謝禮を贈呈することと致します。

懸賞募集

本會編輯局選

◎論　文（一千字以內）

題　隨意　一原稿は十行二十三字

主として朝鮮地方行政、殊に制度、教育、産業、社會に關する時事問題の得失を着實穩健に論評し、輿論の嚮ふ所を代表的に解明すること。

賞金　甲七圓　乙五圓　丙三圓

◎漢　詩　一人三首を限る

題及體　隨意

應募の作は當代知名の詩宗に託し選評を請ふものとす

賞金　甲五圓　乙三圓　丙一圓

注意　一　原稿の末尾に住所氏名を明記すること之れなきものは沒書とす

一　賞金は發表より一ケ月以內に郵送す

大正十二年七月二十八日印刷
大正十二年八月一日發行　定價金參拾錢

編輯者　東京市京橋區加賀町九、十、十一番地　大橋政治

發行者　東京市京橋區加賀町九、十、十一番地　井狩孝太郎

印刷者　東京市京橋區加賀町九、十、十一番地　井田耕治

印刷所　東京市牛込區河五軒町五十二番地　行政學會印刷所第二工場

發行所　東京市京橋區加賀町九、十、十二番地　帝國地方行政學會
電話京橋特長　六六〇番　六六一番　六六二番　六六三番

發賣所　朝鮮京城府長谷川町九十三番地　同朝鮮本部
電話　九七三番　九七四番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社會局部長　田子一民序

山根幹人著

再版

社會教化と活動寫眞

四六判全一册
定價金壹圓六拾錢
送料拾八錢

近來社會敎化、社會事業等の宣傳に活動寫眞が盛に使用される樣になつた。或一部の人は一時の流行に過ぎないと云つて居るが、吾人は決して一時的のものでなく寧ろ將來盛んに利用され進歩發達すべきものであると思ふ、然し現在の如く御座なり主義で何等の研究、何等の改善もなく此の儘進んで行つたなら、或は寄を追ふ流行の常として、必ずや沒落すべき時期が到來するだらう。然るにこの活動寫眞に就ては特殊の智識と研究とを要するが故に文獻未だ多からず、爲めに社會敎化の立場から活動寫眞を眺めむとする者は多くの不便を感じて居る。

本書は十年敎化活動寫眞生活によつて獲た著者が尊き體驗を基礎とし先進諸國の實例を參酌して敎化宣傳事業に於ける活動寫眞利用の樣々な問題を提起し研究し解說したもので社會事業家が必讀すべき唯一の著書である。

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三

朝鮮京城府長谷川町九三
同　朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

田臺灣總督題
後藤東京市長題
加來臺灣總務長官序
川村拓殖局長官序
下村法學博士題並閲
天鷄杉山靖憲著

賜天覽

臺灣歴代總督の治績

菊判天金一冊
總督長官肖像
コロタイプ八葉入
定價三圓
送料（内地廿七錢 臺灣五十五錢）

忽四版

著者は久しく臺灣に在りて深く臺灣を研究し且理解せるの人、觀察の透徹到底漫遊觀光の客と同じからず、其の能く大局を觀て而も核心を摑むもの素より其の處、章を樺山、桂、乃木、兒玉、佐久間、安東、明石、田總督の八代に別ち重要施設九十餘項に亙り、時代別に事象を説くと共に各原由と沿革とを明かにし、最も鮮明に、最も簡潔に且つ最も痛快なる批判を下せり、之を一部の臺灣文化史と見るも可、將た活きたる殖民論策と謂ふも亦可なり。

石川芳太郎著

サガレンの文化と富源

定價一圓八十錢
送料十八錢

著者久しく北海に渡つて親しく山を觀川を察べ民情行政の機微を探つて爰にこの一卷を得た、鑛業に、林業に、漁業に我等が開拓を俟つや切である。

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三

朝鮮京城長谷川町九十三
同 朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

内務省土木局編
港灣協會發行

自由港の考察

世界大戰後歐洲の諸國にては漸次自由港設置の氣運を釀成し既に西班牙瑞西、獨逸、葡萄牙等は自由港制度を實施し、佛蘭西亦之が實施の計劃中にあり米國に於ても自由港設置の實際運動起り他國貿易地帶法案は上院の委員會を通過して居る。我國も亦近時民間識者の間に自由港設置の論議頗る盛んなるものあるも自由港を設置すると否とは其の影響する所甚大にして愼重の上にも愼重の調査研究を要する問題である。本書は當局が多年行政及術の兩方面より港灣に關聯して調査研究したる材料を蒐集したもので自由港の特別研究者は素より自由港に關する概括的知識を得んとする者にも極めて良好の參考書なるを失はない。

◆四六判全一冊、定價壹圓貳拾錢、送料拾八錢◆

東京市京橋局私書函第八號

發賣所　帝國地方行政學會

振替口座東京一一三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

公民教育調査委員
社會局部長 田子一民新著（忽三版）

心の跡

四六判全一冊
特別版參圓
普及版貳圓五十錢
送料 內地十八錢 朝鮮三十錢

眼前に徂徠する社會の事想は著者をして或は時に演壇上に或は時に筆硯裡に其の折々の所感所信を披瀝せしめた・過去十年間の思想の變遷の跡を辿るには好箇の參考資料で多大の興味を感ぜずには居られない・

―內容大意―

第一編 社會諸問題

(一)皇室と社會事業家の御奬勵、(二)社會事業家の使命、(三)社會診察と社會事業家養成、(四)勞働爭議雜感、(五)母子扶助法の制定、(六)直に實行すべき社會教育の考察、(七)都市生活と教育、(八)職業紹介所の眞使命、(九)國民生活保障の五大綱領、(十)住宅組合に就て、(十一)社會政策より觀たる補習教育。

第二編 地方開發

(一)地方開發者の信條、(二)地方改良の要訣、(三)官公吏の社會的地位、(四)新自治主義、(五)篤農石川翁の九舛田、(六)助役は下役にあらず、(七)自治と社會教育、(八)生活の單純化、

第三編 警官の修養

(一)警察官の責任心、(二)巡査の七省、(三)巡査の家庭、(四)自治の精神と警察官、(五)選擧に對する思想と警察官、(六)巡査に對する雜感、(七)年若き巡査の修養、(八)選擧取締の任に當る警察官に寄す、(九)水火災と警察及自治行政との關係、(十一)警察と自治との交錯。

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京十三
朝鮮京城長谷川町九三
同朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

司法省 池田民事局長序文
司法省 長島参事官校閲
司法省 民事局戸籍主任 原田良實著

新刊

四六判全一冊
新鑄ポイント活字組
定價二圓八十錢
送料十八錢

司法書式大鑑
戸籍寄留編

從來屆書の記載動もすれば缺陥あるを免れず其の形式亦區々に渉りて齊一を缺く、屆書の模範を掲示し其の樣式を一定するは刻下の急務にして從來の弊害を匡濟するの道之より先なるはなし。
本書は戸籍寄留事務に從事せる著者が之に關する各般の場合を細大網羅して模範的書式數百通を輯集し各之を懇切に說明したるものなり。

東京市京橋局私書函第八號 帝國地方行政學會發行 振替東京一三番一六一番
朝鮮京城長谷川町九十三番地 同 朝鮮本部 振替京城一〇七五四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

地方行政叢書

第二卷 目次

地方改良の研究 第一

● 訓示……床次竹二郎
● 地方當局の心得……小橋一太
● 地方自治の本義……塚本清治
● 地方事務一斑……長岡内務監察官
● 社會行政要領……田子社會局長
● 社會教育に就て……赤司普通學務局長
● 實業教育に就て……山崎實業學務局長
● 青年團に就て……田澤協調會理事

金二圓廿錢 送料十二錢

第三卷 目次

地方改良の研究 第二

● 神社に就て……吉田書記官
● 道路行政……松本事務官
● 自治と警察……松井博士
● 自治と都市計畫……山縣局長
● 地方行政に於ける統計の活用……二階堂保則
● 大戰後に於ける國際の趨勢……伊藤書記官
● 外來思想批判一斑……深作博士

金二圓廿錢 送料十二錢

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三

朝鮮京城府長谷川町九三
同 朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

宮内省藏版
文部省發行
印刷局印刷

明治天皇御集

菊版形和紙和裝
定價壹圓五拾錢
送料拾八錢

御集發行に付鎌田文部大臣の辭に曰く

「今日宮内省に於て 明治天皇の御集の編纂成り、思召を以て夫々へ下賜せられたり。此の御集は 明治天皇の御盛德を仰ぎ御仁慈の大御心を偲び奉るに最も適當なるのみならず、又實に國民として修養の鑑たるべし、教育上にも極めて有益なるを以て、宮内大臣と協議の上刊行して廣く之を頒布することとせり。

此の御集が普く國民に捧讀せられむことは予の切に希望する所なり。」

御集は實に金玉の響て、國民一般が 天皇の御盛德を仰ぎ奉る資料として、又日常修養の鑑として七千萬國民が日常躍誦服膺すべきものであります。

東京市京橋局私書函第八號
發賣所 帝國地方行政學會
振替口座東京一三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内務省社會局長 田子一民著

改訂 青年公民讀本

菊判全一冊
定價三十八錢
送料四錢

改訂
卅八版

今日、世には自治讀本青年補習讀本と稱するもの多々あるがそれ等の多數は或は文章を學ばせ或は自治立憲の形式上に重きを置き其の本質を説くに甚だ迂なるの感がある故に余は此の缺陷に對し十分に意を用ひたが發刊以來世の識者の注目を惹き多くの補習學校の教科書となり又多數の同志を得た事は聊か以て喜びとせざるを得ない。今衆議院議員選擧法及地方制度、産業組合、戸數割規則の改正制定に伴ひ全部之を改訂し且つ「思想問題」の一章を加へた。‥‥（著者）

三版

改訂 青年公民讀本 教師用

菊判全一冊
定價一圓五十錢
送料十八錢

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一三
朝鮮京城長谷川町九三
同 朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

内務大臣　水野錬太郎閣下序文
法學士　松村松盛氏著

民衆之教化

忽五版

◆四六判　定價貳圓五拾錢◆
◆全一册　送料（内地三十錢 朝鮮十八錢）◆

華盛頓會議の結果世界の平和確保せられ歐米列强皆文化の進展と經濟力の復興とに努力せざるはなし、我國に於ても夙に世界の大勢に順應して教育の進歩發達に努めつゝありと雖一般民衆の社會教育的施設に至りては猶遙に彼に及ばず幾多施設經營を要すべき事項尠からず、然かも我國に於ては動もすれば社會教育を等閑に附し、一般民衆の教化を顧慮せざる傾向なしとせず、著者深くここに鑑みて社會教育の概念を解説し一般民衆の覺醒を促すの趣旨を以て本書を著す。其の説く所社會教育の理論及施設方法に亘り論旨穩健記述亦平明能く現代民人の琴線に觸れ、社會教育の振興に貢献する所大なるべきを信ず。

東京市京橋局私書函第八號
帝國地方行政學會發行
振替口座東京一一三

朝鮮京城府長谷川町九三
同朝鮮本部
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第三種郵便物認可 大正十一年五月二十四日
朝鮮地方行政
大正十二年八月一日發行（毎月一回十五日發行）
第二巻第八號

朝鮮總督府參事官室校閲
帝國地方行政學會編纂

大好評

朝鮮法規類纂

（菊判加除綴全拾綴）

● 特價 全十綴 金參拾貳圓

●通則	金四圓	送料廿五錢
●内務	金四圓	送料廿三錢
●財務（四版）	金三圓五拾錢	送料廿一錢
●殖産	金三圓	送料十九錢
●法務	金四圓五十錢	送料廿七錢
●學事宗教（再版）	金二圓	送料十七錢
●警察衛生	金二圓五十錢	送料十九錢
●土木交通	金二圓五十錢	送料十七錢
●遞信	金四圓	送料廿一錢
●會計	金三圓五十錢	送料廿一錢

各編購入は部數の多少に不拘割引せす

● 月賦特賣 官廳在職者は三ケ月賦にても差支無之候

朝鮮京城府大和町二丁目十四番地
帝國地方行政學會朝鮮本部
電話九七三番 九七四番
振替口座京城一〇七五四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

RETURN TO→ **BIOLOGY LIBRARY**
3503 Life Sciences Bldg. 642-2531

LOAN PERIOD 1	2	3
1-MONTH MONOGRAPH		
4	5	6

EAL

ALL BOOKS MAY BE RECALLED AFTER 7 DAYS
Renewed books are subject to immediate recall

DUE AS STAMPED BELOW

DUE		
MAY 2 1 1987		
REC'D		
NOV 03 1986 Subject to Recall Immediately		
EAL		

FORM NO. DD4
UNIVERSITY OF CALIFORNIA, BERKELEY
BERKELEY, CA 94720

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

U. C. BERKELEY LIBRARIES
C070264440
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

UC-NRLF
B 4 391 584

Google